

米子市公会堂のあり方検討報告書



米子市公会堂耐震問題等対策本部

平成22年11月18日

目 次

はじめに	1
1 米子市公会堂の歩み	2
2 耐震調査について	4
(1) 耐震調査結果	4
(2) 耐震補強工事について	8
(3) 建築物の耐用年数について	10
(4) 追加詳細調査について	15
(5) 他の耐震調査方法及び耐震補強方法について	17
(6) まとめ	20
3 文化財的価値について	23
(1) 村野藤吾について	23
(2) 村野藤吾作品群における米子市公会堂の位置づけ	24
(3) 米子市公会堂の文化財的価値	24
(4) まとめ	25
4 文化活動への影響について	27
(1) 利用状況について	27
(2) 活動への影響と代替利用について	31
5 都市機能上の位置付けについて	34
(1) 都市機能としてこれまで果たしてきた役割	34
(2) 使用停止の及ぼした影響	35
(3) 大型商業施設・周辺商店街への影響	36
(4) まとめ	37
(5) まちづくりへの影響	37
6 財政面からの検討について	39
(1) 米子市の財政状況について	39
(2) 公会堂の改修・維持管理費用について	40
(3) 公の施設のあり方検討	41

7	公会堂に関する市民アンケートについて	44
	(1) 市民アンケート調査結果	44
8	総合的検討について	53
	米子市公会堂耐震問題等対策本部設置要綱	56

資料編

資料 1	1階平面図	1
資料 2	2階平面図、楽屋棟0通り軸組図	2
資料 3	3階平面図、楽屋棟鉄筋コンクリート造外壁仕様	3
資料 4	4階平面図、E・4・5～9通り軸組図、鉄骨トラス ・鉄筋コンクリート柱仕口部	4
資料 5	屋根伏図	5
資料 6	ホール棟屋根伏図	6
資料 7	ホール棟0・1・2通り軸組図	7
資料 8	ホール棟3・4通り軸組図	8
資料 9	ホール棟7・8通り軸組図	9
資料 10	ホール棟9・10・11通り軸組図	10
資料 11	ホール棟A・B・C・D通り軸組図	11
資料 12	ホール棟E・F・K・L通り軸組図	12
資料 13	ホール棟1階平面図	13
資料 14	楽屋棟1・2階床伏図	14
資料 15	楽屋棟3・R階床伏図	15
資料 16	楽屋棟0・1・3通り3階軸組図	16
資料 17	楽屋棟A・B・D通り3階軸組図	17
資料 18	免震工法と制震工法	18
資料 19	建造物の文化財指定の現状	19
資料 20	村野藤吾作品年譜	20
資料 21	大ホール目的別利用回数・利用人数	31
資料 22	利用団体アンケート・聞き取り時の意見	33
資料 23	だんだんバス調査	40
資料 24	中心市街地通行量調査	41
資料 25	歩行者等通行量調査	44
資料 26	米子市公会堂に関する市民アンケート	46
資料 27	市民アンケート意見欄の記述一覧	50

はじめに

平成21年度におこなった耐震診断の結果、米子市公会堂（以下「公会堂」という。）大ホール・楽屋棟が大地震で倒壊する危険性が高いと診断された。

米子市は市民の安全安心を確保する観点から、ただちに新規の使用申込みを受付けないこととし、原則的に使用についても中止と決定した。

また、「米子市公会堂耐震問題等対策本部」を設け、検討を行った結果、すでに使用申込を受付けている皆様に、この状況を説明し、その上で使用について再検討していただくよう取り組むこととした上で、公会堂の大ホール・楽屋棟は平成22年9月末日をもって使用停止することにした。

この結果、多くの使用申込者の皆様にご理解をいただき、発表時点で129件中51件が中止、65件が会場・日程を変更され、変更困難な13件が引き続き使用されることとなった。また、それに伴う損失補填を発表し、現在7件の協議を行っている。

市民の間で公会堂の存廃論議が高まる中、本対策本部は引き続き、公会堂のあり方を検討するための材料を収集、調査、整理をすることとし、利用団体や周辺商店等の聞き取り、また無作為抽出の市民3,000人へのアンケートを実施した。

最終的に、公会堂のあり方について、市長が総合的な判断をするための検討事項をまとめ、ここに報告するものである。

1 米子市公会堂の歩み

・公会堂建設の経緯

米子市制30周年を迎えるに当たって「総合文化の象徴で、産業都市の殿堂である公会堂を持つことは必要」だとし、昭和30年10月1日には推進運動の母体となる「公会堂建設促進協議会」をスタートさせ、建設計画を決定した。

自治連合会は、定例総会で、公会堂建設運動を推進することを決議し、その資金づくりに積極的に努力することを申し合わせた。基本的に市民一世帯一日一円、年額百円を拠出するなど、一般寄付金の目標額2,500万円のうち、2,000万円程度を自治連合会が募金することにし、各校区の募金依頼目標額を決めた。

市の建設予算は、当初5,000万円となっていたが、各方面から「同じ造るなら後世に残るものだし、時代に遅れることのない立派なものに」との意見が続出し、先進地などを視察して協議した結果、建設費総額を8,000万円に増額し、付属建物を充実させることになった。ところが、昭和32年2月に設計事務所の説明で、山陰地方第一の大公会堂となることが明らかになったものの、工事費総額も1億3,300万円にふくれ上がることがわかった。さらに観覧席の施設や照明、放送設備など当初計画に含まれていなかった整備費が加算されて、最終的に当初の予算を大幅に上回って、当時としては巨大な事業となった。

一方、建設募金は、全市内で活発に展開され、大きな成果を上げた。校區別に募金した一般寄付は1,672万8,065円、法人寄付が230件で2,645万500円、県外寄付が103件の256万7,012円など総計5,242万7,592円だった。

こうして総合文化の象徴と産業振興の殿堂として、角盤町の旧角盤校舎跡に公会堂が完成し、昭和33年4月12日、設計者・市選出の国会議員・県議会議員・山陰の各市長・市議会議員・市功労者・工事関係者ら約700人を招いて、新装になった公会堂大ホールで、市政30周年と合わせて公会堂落成の記念、祝賀会が催された。

工事報告によると、敷地は約1万1,468平方メートル、建物の延べ面積は約3,706平方メートル、地上4階、地下1階の鉄筋鉄骨併用コンクリート構造で、当時の近代建築の粋を集めたものとなった。大ホールと付属建物に別れ、大ホールは延べ約2,561平方メートルで、収容定員は固定いすが1,178席、補助いすが250席で合計1,428席ある。また、オーケストラボックスが設けられ、音響効果も特に留意されているなど、舞台装置も十分だし、換気装置や暖房装置も完備し、保健衛生

の面からも申し分ないものになった。

この事業にかかった経費は建築工事費が1億4,613万円、内部施設費1,042万円、用地買収と前庭整備や事務費などの経費2,016万円、合計は1億7,671万円だった。

・10億円かけて大改造

建設から20年も経つと、設備などあちこちに不具合が目立ちだした。特に外部の騒音がホールに入ったり、舞台道具や機材の搬入施設がなかったり、座席の通路を歩くと音が出る、音響や照明設備の老朽化など舞台公演に致命的ともいえる欠陥も表面化してきた。市には文化運動を支える米子市文化協議会などから改修の強い要望が相次ぎ、消防法の改正に伴った改修が必要になったこともあって改修が決まった。

総事業費は10億1,000万円で、昭和54年11月から工事が進められ、昭和53年5月に結成されていた「米子市公会堂の改造を市民参加ですすめる会」からも改造について具体的な提案もあり、改造の重点は舞台や音響、照明などのホールと楽屋で、新たに舞台両わきと上の三面に音響反射板を取り付け、音がすべて客席へ響くようにした。スピーカーの出力も500ワットから2,500ワットと5倍にし、これまで講演会程度の音響でしかなかったものが、あらゆるニーズにこたえられるようになり、楽屋にも聞こえるようになった。これまでなかった映画室とワイドスクリーンも備え、16ミリ、35ミリのいずれの映画でも上映できるようになった。楽屋はこれまで1室だったが、7室にし、105平方メートルあるリハーサル室も設けて、冷暖房を完備した。そのほか、ホール内のドアを2重にしたり、一般入口の新設、座席の取替え、床にはじゅうたんを敷くなど面目を一新し、昭和55年9月1日竣工した。

(新修米子市史より抜粋)

2 耐震調査について

阪神・淡路大震災の被害を契機として、地震による建築物の倒壊等の被害から国民の生命、身体及び財産を保護するため、建築物の耐震改修の促進のための処置を講ずることにより建築物の地震に対する安全性の向上を図り、公共の福祉の確保に資することを目的として、平成 7 年 12 月 25 日に建築物の耐震改修の促進に関する法律(耐震改修促進法)が施行され、特定建築物(昭和 56 年 5 月 31 日以前の基準で建築された建築物であって、階数が 3 以上かつ床面積の合計 1000m² 以上の耐震改修促進法で定められた用途のもの)の所有者は、建築物が現行の耐震基準と同等以上の耐震性能を確保するよう耐震診断や改修に努めることが求められることとなった。

これに基づき、公会堂の耐震調査業務については、平成 21 年 8 月 28 日から平成 22 年 3 月 29 日までの約 7 か月の期間に、耐震診断、診断結果の判定(評定)及びこれに基づく概略的な補強案の提案を業務内容として、設計事務所に委託し実施した。

(1) 耐震調査結果

(財)日本建築総合試験所(*1)に設置された既存建築物耐震診断等判定委員会(*2)において、上記の業務期間内に、3 回の判定ワーキンググループと 2 回の判定委員会を経て、平成 22 年 3 月 17 日、設計事務所が行った耐震診断は妥当であると判定された。判定結果は、以下のとおりである。(資料 1 ~ 5 参照)

(*1) (財)日本建築総合試験所：昭和 39 年(1964 年)に設立された国土交通省・経済産業省共管の公益法人。建築全般に関する試験、評価、開発研究等を行うことにより、建築物の質の向上、安全性の確保を図り、国民生活の向上に貢献することを目的として設立された。

(*2) 既存建築物耐震診断等判定委員会：(財)日本建築総合試験所内に設置され、耐震改修促進法を適用して実施した既存建築物の耐震診断及び耐震改修計画等の妥当性について判定を行っている。

現在、同委員会の構成委員名は公表していないが、国立大学・私立大学の教授等、外部の建築構造技術者団体、及び(財)日本建築総合試験所の内部委員の計 6~7 名程度の建築構造の専門家で構成されている。

文教施設の耐震改修に係る補助金等の交付申請に際し、耐震

診断及び耐震改修計画の判定を受ける必要があるが、その対象判定機関として文部科学省から認められている。

ア 公会堂（ホール棟）

（ア） 耐震診断法

耐震安全性は、（財）日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」に従い、次のとおり判定されている。

耐震安全性の判定要件： $I_s \geq I_{s0}$ かつ $C_T \cdot S_D \geq 0.338$

ここに、 I_s ：構造耐震指標、 C_T ：累積強度指標、

S_D ：形状指標

I_{s0} ：構造耐震判定指標(=0.675(避難所として))

a 鉄筋コンクリート造主体架構

耐震診断は、地上階が上記耐震診断基準の第2次診断法、地下階が第1次診断法により行われている。ただし、張間（X）方向の主架構の保有水平耐力は、梁の耐力を考慮して算定されている（第3次診断法）。

3階増築部については、架構が隣接する楽屋棟と一体であるため、その荷重のみを考慮し、同部の耐震診断は、楽屋棟で別途行われている。

b 鉄骨造屋根構面

地震時水平力の伝達能力の検討は、文部科学省大臣官房文教施設企画部「屋内運動場等の耐震性能診断基準（平成18年版）」に従い行われている。

（イ） 診断結果

最小 I_s 値及び最小 $C_T \cdot S_D$ 値

張間（X）方向 $I_s = 0.15$ $C_T \cdot S_D = 0.06$

桁行（Y）方向 $I_s = 0.19$ $C_T \cdot S_D = 0.57$

したがって、両方向とも、耐震安全性の判定要件を下回っている。

a 鉄筋コンクリート造主体架構

張間（X）方向の1階～4階は、鉄骨造トラスと鉄筋コンクリート造柱との接合部の耐力が期待できず、鉄筋コン

クリート造柱脚の曲げ耐力が小さいため、各通りともに耐震安全性の判定要件を満足していない。併せて、鉄骨造トラスは、屋根モルタルスラブと緊結されておらず、圧縮軸力を受ける上弦材の座屈が拘束されないため、上下方向の地震力に対しても、所要の耐震性能が不足している。

桁行（Y）方向の1階は、壁量が少なく、保有水平耐力が小さいため、耐震安全性の判定要件を満足していない。同方向の2階～4階は、耐震安全性の判定要件を満足しているが、舞台背面（通りF～K軸）にある6本の独立柱は、曲げ耐力が小さく、柱に作用する地震力を支持点まで伝達できない。

地下階は、X、Y両方向ともに、耐震安全性の判定要件を満足している。

舞台上部に増築されたR1階は、上増築された壁脚部の接合部耐力が期待できないため、両方向ともに耐震安全性の判定要件を満足していない。

なお、下記の点については、詳細調査を行い、その結果を踏まえて補強計画を立案する必要があるとしている。

- ・ ホール両側E通り、L通りの柱脚部配筋
- ・ E通り、L通り1階耐震壁と基礎梁の配置
- ・ ホール両側E、L通り外側の2階増設壁の接合詳細
- ・ 1階増築部及び舞台屋根増築部の接合筋

b 鉄骨造屋根構面

客席部屋根については、屋根モルタルスラブと鉄骨トラス上弦材とのコネクタが存在せず、屋根ブレースが全面に配置されていないため、判定要件を満足する地震力の伝達能力を有していない。

イ 楽屋棟

(ア) 耐震診断法

耐震安全性は、(財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」に従い、次のとおり判定されている。

耐震安全性の判定要件： $I_s \geq I_{s0} \text{かつ} q \cdot S_t \geq 0.28$

ここに、 I_s ：構造耐震指標、 q ：保有水平耐力に係る指標

S_t : 構造方法に応じて定まる数値

I_{s0} : 構造耐震判定指標(= 0.675(第 2 次診断法、
避難所として)
= 0.9 (第 1 次診断法、
避難所として))

a 鉄筋コンクリート造主体架構

耐震診断は、上記耐震診断基準の第 1 次診断法により行われている。

b 鉄骨造主体架構

耐震診断は、(財)日本建築防災協会「耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断および耐震改修指針・同解説」により行われている。その際、ホール棟 3 階に増築された鉄骨造架構を含めて診断が行われている。

(イ) 診断結果

最小 I_s 値及び最小 $q \cdot S_t$ 値

長手 (X) 方向 $I_s = 0.73 (< 0.9)$

短手 (Y) 方向 $I_s = 0.18 (< 0.675)$ $q \cdot S_t = 0.18$

したがって、両方向とも、耐震安全性の判定要件を下回っている。

長手 (X) 方向の 1 階及び 2 階は、鉄筋コンクリート造階段室の保有水平耐力が小さいため、耐震安全性の判定要件を満足していない。

短手 (Y) 方向の 1 階及び 2 階は、接合部によって鉄骨造架構の変形が制約されるため、耐震安全性の判定要件を満足していない。

3 階の鉄骨造架構は、X、Y 両方向ともに増築接合部の靱性能が低いため、耐震安全性の判定要件を満足していない。

地下階は、X、Y 両方向ともに、耐震安全性の判定要件を満足している。

ウ 管理棟

(ア) 耐震診断法

耐震安全性は、(財)日本建築防災協会「2001 年改訂版既

存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」に従い、次のとおり判定されている。

耐震安全性の判定要件： $I_s \geq I_{s0}$ かつ $C_T \cdot S_D \geq 0.338$
ここに、 I_s ：構造耐震指標、 C_T ：累積強度指標、
 S_D ：形状指標
 I_{s0} ：構造耐震判定指標（ $= 0.675$ （避難所として））

耐震診断は、上記耐震診断基準の第2次診断法により行われている。その際、鉄骨造エレベータシャフト及び鉄筋コンクリート造機械室については、その荷重を考慮している。

（イ） 診断結果

最小 I_s 値及び最小 $C_T \cdot S_D$ 値

桁行（X）方向	$I_s = 0.7$	$C_T \cdot S_D = 0.73$
張間（Y）方向	$I_s = 1.35$	$C_T \cdot S_D = 1.41$

したがって、桁行（X）張間（Y）両方向の各階は、耐震安全性の判定要件を満足している。

ただし、増築された鉄骨造エレベータシャフト及び鉄筋コンクリート造機械室の接合部については、詳細調査を行い、補強の要否を検討する必要があるとしている。

（2）耐震補強工事について

ア 概略補強案

上記の耐震診断結果に基づき、耐震安全性の判定要件を満足していないとされた公会堂（ホール棟）及び楽屋棟について、設計事務所が一例として作成した概略的な補強案は、以下のとおりである。なお、この補強案は、（財）日本建築総合試験所に設置された既存建築物耐震診断等判定委員会の耐震診断判定時に供覧され、その時点において想定される補強案としては、妥当なものであるとの見解を得ている。

なお、耐震診断時点では、避難所に指定されていたため、第2次診断法の構造耐震判定指標（ I_{s0} ）を 0.675 としていたが、現在は避難所の指定を解除しているため、補強後の第2次診断法

の目標 I_s 値は耐震改修促進法で定められた 0.6 以上とした補強案としている。ただし、再度避難所とする場合は、桁行 (Y) 方向 ~ 通り間上部の鉄骨柱・梁の取替えなども必要と想定される。

(ア) 公会堂 (ホール棟) (資料 6 ~ 13 参照)

a 主体架構

張間 (X) 方向

・鉄骨トラス大梁と鉄筋コンクリート柱の接合部を剛接合に改修し、かつ、柱・梁の耐力の増強を図る。

・通りの 1 階、
、通りの 1、2、4 階に R1 階鉄筋コンクリート造耐力壁を増設する。

・通り 1、2 階の柱の曲げ耐力を増強する。

桁行 (Y) 方向

・1、2 階、L 通り ~ 間に鉄筋コンクリート造耐力壁を増設する。

・通り F ~ K の鉄筋コンクリート造独立柱の保有水平耐力の向上を図る。

R1 階増築部

・X、Y 両方向とも、鉄筋コンクリート造増築耐力壁 (昭和 55 年増築部) の下部と既存部の接合部耐力の向上を図る。

3 階鉄骨造増築部

・楽屋棟 (昭和 55 年増築部) との接合部を切り離し、かつ、壁ブレースの増設等により、保有水平耐力の向上を図る。

b 屋根構面

屋根構面に作用する地震力を、主体架構へ伝達できるように、下記の補強を行う。

・R1SL (既存部) の屋根構面の屋根ブレースを改修及び増設する。

・R2SL (昭和 55 年増築部) の屋根構面の鉄筋コンクリートスラブ及び端部接合部を改修する。

・荷重軽減及び鉄骨トラス大梁の耐力増強のため、屋根スラブを撤去し乾式工法に改修する。

(イ) 楽屋棟 (資料 14 ~ 17 参照)

公会堂(ホール棟)と完全に切り離し、別棟の建物とする。
 ・楽屋棟は純粋な鉄骨造の建物とし、靱性型の耐力の建物とする必要がある。よって、階段室部分は鉄骨造に改修し、外壁も乾式工法に改修する。なお、公会堂(ホール棟)の3階部分については、鉄骨ブレース補強を計画する。

イ 概略補強案に基づく概算工事費

上記の概略補強案に基づき、設計事務所が算出した概算工事費は表1のとおりである。

表1 概略補強案に基づく概算工事費

耐震補強工事 (耐震補強に必要な撤去・復旧を含む)	
公会堂(ホール棟)	404,250,000円
楽屋棟	68,250,000円
小計	472,500,000円
内外装改修工事 (管理棟を含む全館、舞台装置・映写機改修及びエレベータ改修を含み、耐震補強に必要な撤去・復旧及び構造体の劣化改修は含まない)	315,000,000円
設備改修工事 (管理棟を含む全館、電気設備改修(ホール客席以外、受変電・幹線設備更新)、消火設備改修、舞台照明改修、空調設備改修(全体更新、機器設置スペース工事)、給排水改修)	577,500,000円
合計	1,365,000,000円

上記の概算工事費については、本市においても、前例からの経験値や、業者からの見積・聴き取り、また可能な限り、各種単価表・刊行物・カタログなど、参考となる単価資料と照らし合わせて試算してみたが、項目ごとには若干の違いはあるものの、合計としては、ほとんど差異がなかったため、概算としてはほぼ適正と考えられる。なお、再度避難所として耐震補強する場合は、更に1億円程度必要になるものと考えられる。

(3) 建築物の耐用年数について

現在、建築物の耐用年数として一般によく知られているものとしては、社会的耐用限界(*3)に基づき物理的耐用限界(*4)を考慮して設定したとされる「減価償却資産の耐用年数」(昭和54年大蔵省令

第 16 号) があり、法定耐用年数として固定資産算出用の減価償却費を定める場合に用いられている。(表 2 参照)

(*3) 社会的耐用限界：経済性、機能の低下などにより、建築物またはその部分が使用に耐えなくなる状態。

(*4) 物理的耐用限界：材料の経年劣化に伴う構造耐力の低下などにより、建築物またはその部分が使用に耐えなくなる状態。

表 2 大蔵省令による主な建物の耐用年数 (抜粋)

構造又は用途	細目	平成 10 年 (1998 年) 改正 (現行)	平成元年 (1989 年) 改正
鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造のもの	事務所、美術館等	50 年	65 年
	住宅、学校等	47 年	60 年
	劇場、演奏場、映画館等	41 年	50 年
金属造のもの (骨格材の肉厚が 4 ミリメートルを超えるもの)	事務所、美術館等	38 年	45 年
	住宅、学校等	34 年	40 年
	劇場、演奏場、映画館等	31 年	35 年

公会堂の場合、鉄筋コンクリート造の公会堂 (ホール棟) と管理棟が昭和 33 年 (1958 年) 完成で 52 年経過、鉄骨造の楽屋棟が昭和 55 年 (1980 年) 完成で 30 年経過しており、現行の法定耐用年数で考えると、前者は既に耐用年数を 11 年も過ぎ、後者についてはあと 1 年で耐用年数を迎えることになる。

しかしながら、建物の耐用限界を考える場合、社会的耐用限界と物理的耐用限界に、陳腐化・視覚的条件などを考慮した意匠的耐用限界を加えた 3 つの耐用限界が混在したものであることが予想されるが、この内、社会的耐用限界と意匠的耐用限界については、その予測が困難な場合が多いことから、必要な修繕や更新を行いなが

ら、建物の構造体の限界が来るまで使用を続けるという観点で考える場合は、物理的耐用限界を検討することになると思われる。

ア 耐用年数の推定

ここでは、公会堂においても、その床面積の大部分を占める鉄筋コンクリート造建築物の耐用年数の推定を考える。

耐用年数の推定は、鉄筋コンクリート造建築物の劣化要因に基づくことになるが、劣化要因としては、以下の現象が挙げられる。

- ・ コンクリートの中性化(*5)
- ・ 鉄筋の腐食（塩害を含む）
- ・ コンクリートのひび割れ（アルカリ骨材反応を含む）
- ・ 漏水
- ・ コンクリートの強度劣化
- ・ 大たわみ
- ・ コンクリートの表面劣化
- ・ コンクリートの凍害 など

これらの劣化現象は、各々が独立しているわけではなく、相互に関連している。いずれも、耐力低下に至るプロセスとしては鉄筋の腐食、コンクリートのひび割れ・剥離を伴いながら進行していく。

鉄筋コンクリート造建築物の耐用年数を考える場合、塩害・凍害・各種ひび割れといった要因も無視はできないが、海岸地域・寒冷地などと違い、その影響を直接受けることが比較的少ない一般的な地域においては、中性化による影響が大きいと考えられる。

- (*5) コンクリートの中性化：コンクリートは、pH 値 12～13 の強アルカリ性であるが、空気中の二酸化炭素がセメント水和物と炭酸化反応を起こし、pH 値を 11.5 以下に低下させることで、鉄筋の腐食が促進され、コンクリートのひび割れや剥離、鉄筋の断面減少（耐力の低下）を引き起こす劣化現象。

コンクリートが中性化しただけでは、鉄筋は腐食しないが、ひび割れ・浮き・剥離などにより、鉄筋が空気や水と触れる

ことで腐食が始まる。

(ア) 目標耐用年数

鉄筋コンクリート造建築物を新築する際に想定する目標耐用年数の算定式((社)日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」)では、コンクリートの種類・セメントの種類・水セメント比(コンクリートを作る時の水とセメントの比率)・かぶり厚さ(一番外側の鉄筋の表面からコンクリートの表面までの厚さ)、外壁仕上材の種類、コンクリートの施工方法、建物の維持保全の程度、地域の別により定められた係数を掛け合わせて算出することになっている。

これによれば、一般的な地域における打放し仕上げ(屋外側に15mm以上の増し打ちがあるとした場合)を含む建物では、約76年を目標耐用年数としているものが多いと考えられ、公会堂の目標耐用年数もほぼ同様と考えられる。

(イ) 中性化速度に基づく耐用年数

次に、中性化速度の面から考えた場合であるが、中性化深さは上記のかぶり厚さに大きく影響され、最も一般的に用いられる次式(ルートt則)によって、算出することができる。

$$C = A \sqrt{t}$$

ここに、C：中性化深さ、A：中性化速度係数、t：時間

中性化速度係数(A)については、古くから種々の研究がされているが、岸谷式が広く使われており、公会堂の耐震診断において、耐震指標(T)を求める際に、中性化深さの基準値を求める式として採用している。ちなみに、耐震診断時点で、51年経過しているため、2.66cmが基準値となる。

建築基準法施行令第79条には、このかぶり厚さの規定があり、「耐力壁、柱又ははりにはあっては3cm以上(直接土に接する部分にはあっては4cm以上)」とされている。ルートt則を変換して、tを求める式とした場合、混和剤を含まない普通コンクリートについては、

$$t = 7.2 C^2$$

となる。これに、 $C = 3 \text{ cm}$ を代入して t を求めると、64.8 年となり、建築基準法施行令どおりの最低基準で建築した場合、約 65 年でかぶり厚さ分の中性化が進むことになる。

中性化速度に基づく耐用年数は、屋外側及び屋内水周り部分の大半が鉄筋表面まで達した時点、その他の屋内側については、大半が鉄筋表面より更に 1 ~ 2 cm 進んだ時点とされている。したがって、屋内側では、コンクリートの表面から 4 ~ 5 cm ということになる。

しかし、公会堂の耐震診断時に、現場から屋内側のコンクリートサンプルを 26 箇所採取し、中性化試験を行った結果、仕上げモルタルのない箇所で最大 4.36 cm、仕上げモルタルのある箇所で最大 3.56 cm の中性化深さとなっており、いずれも基準値の 2.66 cm をはるかに超え、耐用年数に達し、または達しようとしている。

ただし、26 箇所のサンプルの大半が耐用年数に達するような中性化深さになっているわけではないので、現時点で中性化速度に基づく耐用年数に達しているとは言えないが、時間の問題であることに変わりはなく、劣化改修をしない場合は、目標耐用年数を待たずして耐用年数に達する可能性がある。

通常、人の呼吸や熱器具の使用などにより空気中に占める二酸化炭素の割合が多くなる屋内側の方が、屋外側よりも早く中性化が進むと考えられているが、特に、ホールなどのように、大量の集客があったり、演出効果に伴うドライアイスの使用などがある建物は、二酸化炭素の発生量が多くなるため、中性化の進行も早いと考えられる。

(ウ) 劣化改修による耐用年数の延長について

現在、鉄筋コンクリート造構造物をリフレッシュさせる工法が開発され、アルカリ性の溶剤を塗布することにより、中性化の進行を止めることが可能になってきている。ただし、ひび割れ・浮き・剥離・鉄筋の腐食等を適正に修復した上で表面を密実な塗装等で覆い、空気や水にコンクリートが触れないように封じ込める必要がある。このためには、耐震補強に併せ、劣化改修を行い、竣工後においても定期的な点検を

行い、劣化が進んだ場合は、再度同様の工事を行う必要がある。また、目標耐用年数経過後も含め、建物を使い続けるために、これを定期的に繰り返していく必要がある。

公会堂の場合、全館の劣化改修部分に係る工事費は、5,700万円程度と考えられ、耐震補強時には、概略補強案に基づく概算工事費約13億6,500万円に追加され、合わせて約14億2,200万円になると考えられる。

(4) 追加詳細調査について

追加詳細調査については、耐震診断の判定時に「詳細調査を行い、その結果を踏まえて補強計画を立案する必要がある。」とされた箇所を中心に、耐震補強後の耐久性の確認も加えて行う必要があると考えられる。

ア 調査内容

(ア) 現場推定箇所詳細調査(破壊・非破壊)

a 公会堂(ホール棟)

壁、スラブの厚さ、配筋調査 (非破壊調査、コア抜き調査)

鉄筋の太さ、位置、コンクリートの厚さの状況

基礎梁と耐力壁の位置調査 (ハツリ調査)

鉄筋の太さ、位置、壁の位置の状況

ホール柱の配筋調査 (非破壊調査、ハツリ調査)

鉄筋の太さ、位置の状況

トラス梁と柱頭の接合状況調査(非破壊調査、ハツリ調査)

鉄筋の太さ、位置、鉄骨の位置、アンカーの状況

ホール外部持ち出し部分の鉛直支持構造調査(非破壊調査、ハツリ調査)

支持部材の強度の状況

増築部分と既存部分の接合詳細調査(非破壊調査、ハツリ調査)

鉄筋の太さ、位置、アンカーの状況

b 楽屋棟

柱脚部詳細調査（非破壊調査、ハツリ調査）

鉄筋の太さ、位置、アンカーの状況

公会堂上部増築箇所の柱脚、壁接合部調査（非破壊調査、ハツリ調査）

鉄筋の太さ、位置、アンカーの状況

（イ）劣化調査（公会堂、楽屋棟、管理棟）

外壁仕上げ（コンクリート・モルタル・タイル等）

ひび割れ・浮き・はらみ・剥落・漏水等の状況

目地・建具回り等のシーリングの状況

外部建具の状況

落下危険・漏水等

未改修屋根（屋上）部分の状況

漏水・仕上げの劣化状況等

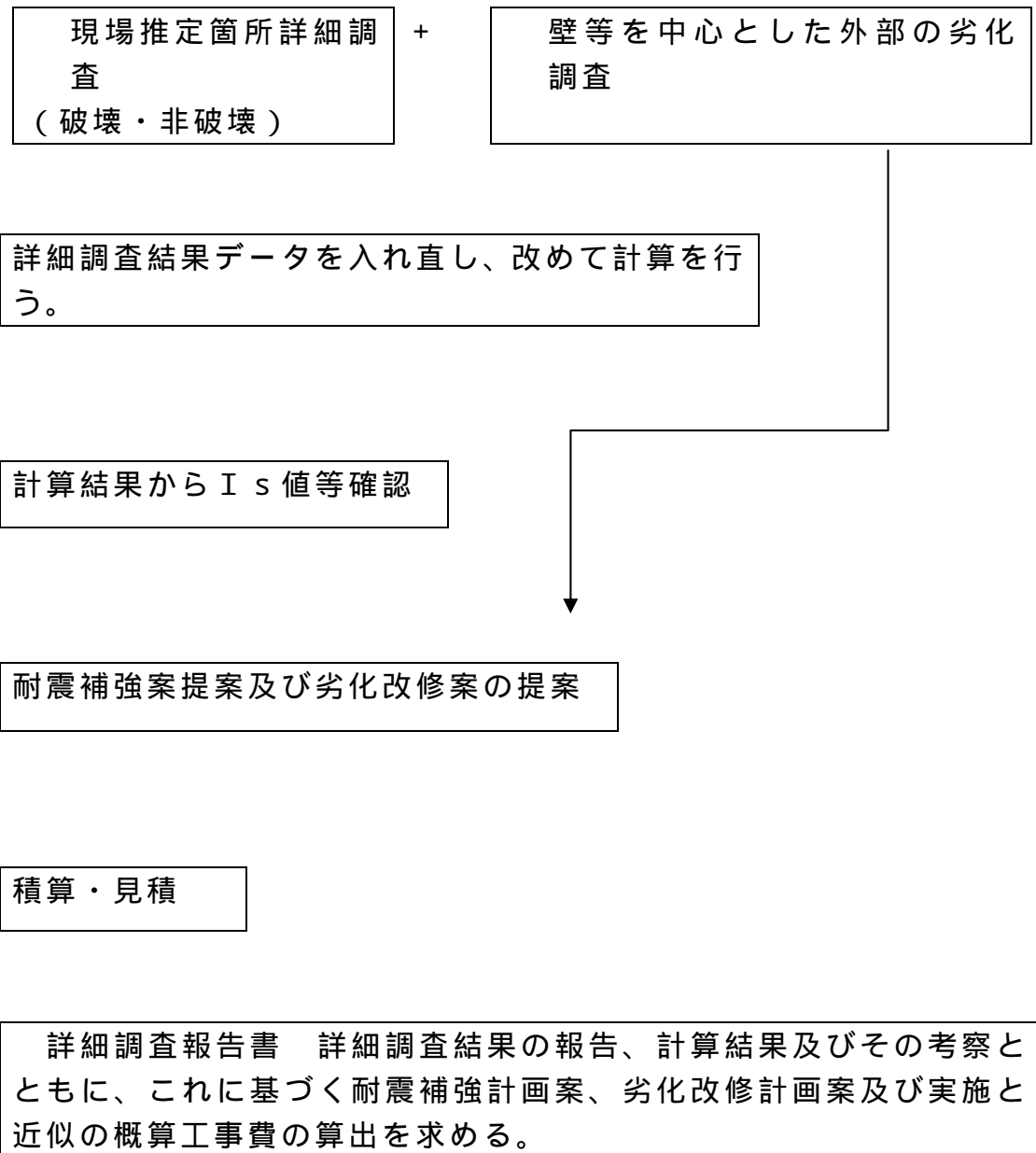
など、建物の構造強度・耐久性などに影響を及ぼす可能性のある箇所の調査。

イ 調査費用

以下の詳細調査のフローに従い、建設業者2社に調査費用の見積を依頼した。

2社から提出された見積額は、平均して約4,500万円であった。いずれの業者も、実施と近似の概算工事費を算出するためには、事実上の耐震補強の基本設計を行うことになるとの見解であった。

詳細調査のフロー



(5) 他の耐震調査方法及び耐震補強方法について

ア 他の耐震調査方法について

公会堂の耐震調査については、5階程度までの鉄筋コンクリート造及び鉄骨造建築物で一般的に採用されている耐震診断基準により行った。一般的には、静的解析という手法である。

耐震診断の手法としては、この他に、動的（振動）解析という手法がある。この手法は、通常、31mを超える建物や免震構造の建物には義務付けられているが、それ以外の建物には義務付けられていない。

静的解析も、本をただせば、多くの研究者が振動解析により、実験や研究を重ねてきた結果をとりまとめたものであり、その成果として診断基準ができています。また、振動解析は、解析をする際の建物の仮定がちょっと違っただけでも結果に大きな差が出ると言われており、振動解析を行う技術者の技量によることも大きいいため、特別な場合を除いて、義務付けは行われていないと思われる。

ホール施設の振動解析の実施例として身近なところでは、鳥取市民会館（鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上3階、地下1階建て、延べ床面積3,693㎡）がある。

同会館については、通常の耐震診断を行い、診断結果の判定も受け、 I_s 値は0.6を超えたため、地震による倒壊の危険性は少ないとされたが、屋根面の水平部材を増やし、耐力を向上させたほうがよいとの意見が判定委員会が出されたため、補強することとなったという。

また、併せて、振動解析による検証を勧めるとの意見も出されたため、約1,530万円の費用を投じて振動解析も実施され、その結果、更に4構面の壁補強が必要になったという。

イ 他の耐震補強方法について

耐震補強の方法については、耐震壁や耐震ブレース、炭素繊維張りなどによる通常の耐震補強の他に、免震工法及び制震工法といった工法がある。

資料18のとおり、制震工法は、高層の鉄骨造などの建物には適しているが、耐震壁付構造には不向きであることから、公会堂については、通常の耐震補強以外の工法としては、免震工法が選択肢となると思われる。

ウ 免震レトロフィット工法の検討

既存建物を免震化する場合、通常、免震レトロフィット工法

が採用されている。

免震レトロフィット工法とは、既存の建物の基礎や中間階に免震装置を設置し、外観や内装及び設備などを損なうことなく建物を免震建物に生まれ変わらせる方法である。

免震化により地震の強い揺れをゆっくりとした揺れに変えてしまうので、基本的に免震化されたフロアより上の部分の補強は不要になるか、もしくは大幅に制限される。

また、建物内の人々の安全を確保するだけでなく、設備機器、什器の転倒、倒壊を防ぐことができ、地震後も建物機能を維持することが可能である。また、施工場所を限定することができるので、日常の使用に影響の少ない施工計画（居ながら施工）が可能であり、次のような計画に適していると言われている。

- ・ 建物の日常使用に影響の少ない地震対策。
- ・ 美術品や精密機器など、建物内部の貴重品や設備、データを地震から守る。
- ・ 外観や内装などのデザインを損なうことなく、建物を保持・保全を行う。
- ・ 被災後にも防災拠点として機能を維持。

公会堂を免震レトロフィット工法により改修すると仮定した場合について、概略的な参考意見として大手建設会社から聴き取りをしたところ、

- ・ 1階客席・ホワイエなどが土間構造となっており、免震化するためには構造床とすることが必要であるが、そのためには、撤去・補強・再構築が必要。
- ・ 免震化（建物の仮受け、免震ピットの構築、免震装置の設置）するために、基礎をつなぐ地中梁を補強又は新設することが必要。
- ・ 建物仮受けのための基礎下掘削では、建物の沈下の可能性が高く、事前に径の小さい杭で仮受けを行った後、本仮受けが必要。
- ・ 地盤柱状図によれば、建物を仮受けするための支持層が - 20 mと想定され、鋼管杭圧入のための費用が増大。
- ・ 地盤の表層については、砂地のため、液状化の懸念もあり、

地盤改良対策も考慮。

- ・楽屋棟、大道具・ピアノ庫などは、隣地境界に極めて接近しており、山留工事が実施できないため、一旦撤去し、免震工事完了後に再構築が必要。これにより、地下通路の再設置はできなくなり、大道具・ピアノ庫の面積は若干減少。また、昭和55年増築時の山留や浄化槽が残されているため、撤去費用が増加。

- ・建物のI s値が低い部分があるため、免震化だけでなく、一部通常の耐震補強も必要。

- ・地下機械室は、地上1、2階に移設。

- ・工事中の管理棟使用のための、電源切り替え、空調工事が必要。

などが想定されるとしている。

このため、免震レトロフィット工法のメリットの1つである居ながら施工は、不可能であるし、過去の実績から、工期は約3年かかり、設計費用を含めた概算工事費は、約26億7千万円（免震化工事のために必要のない内外装・設備の改修、及び構造体の劣化改修は含まない。）見込む必要があるであろうとの見解であった。

（6）まとめ

これまでの耐震調査等に係る検証から、以下のことが考えられる。

【耐震診断】

耐震診断結果は、国が管轄する公益法人に設置された判定委員会によって妥当と判定されたものであり、信頼できるものであると考える。動的（振動）解析を行って、別の角度で検証してみるのもひとつの方法ではあるが、検証の結果、診断結果が改善されるとは限らず、その費用は、床面積が同規模の鳥取市民会館と同様、1,530万円程度必要になるものと推察する。

【追加詳細調査】

耐震診断の判定結果にもあるように、存続するとした場合には、追加の詳細調査は必ず行い、その結果を踏まえて補強計画を立案する必要がある。また追加詳細調査は、事実上の基本設計であり、見積徴収の結果、その費用は約4,500万円が見

込まれる。

【概略補強案】

耐震診断結果を踏まえた概略補強案は、判定委員会で供覧され、判定時点において想定される補強案としては、妥当なものであるとの見解を得ているため、設計段階で補強方法等に若干の修正があったとしても、大きなずれはないであろうと推察される。

仮に概略補強案どおりの補強をした場合、見かけ上目立つ箇所では、ホール棟両側面のタイル張りの外壁は撤去・復旧、正面玄関ガラス張り部分前の独立柱間2箇所に耐力壁を配置することになるため、意匠上の配慮が必要である。その他の部分については、若干、動線上の配慮を要する部分はあるものの客席減少などの大きな影響はないと考えられる。なお、再度避難所とする場合は、正面上部のタイル張りの外壁も撤去・復旧が必要と想定される。

【概算工事費】

概略補強案に基づいた概算工事費については、本市でも試算してみたが、委託設計事務所が算出したものほとんど変わらなかったため、妥当な金額と考えられる。ただし、耐震補強をしても、建物の耐用年数が延びるわけではないので、建物を長く使い続けるためには、劣化改修も併せて行う必要がある。

劣化改修工事も併せて行う場合の工事費用の総額は、約14億2,200万円と想定される。この内、耐震補強工事に係る部分が約4億7,250万円(33%)、劣化改修及び内外装・設備のリニューアル工事に係る部分が約9億4,950万円(67%)となっており、追加詳細調査の結果、仮に診断結果が若干改善され、補強工事費が低減できたとしても、劣化改修及びリニューアル工事部分は変わらないため、極端に、例えば10億円を切るような工事費になるようなことは想定できない。

【耐用年数及び耐震改修後の維持】

物理的耐用限界の観点から、公会堂の目標耐用年数は76年程度と考えてもよいと思われるが、中性化速度に基づく耐用年数で見ると、中性化試験の結果、想定をはるかに超え、耐用限界間近となっており、耐震補強工事に併せて、劣化改修工事も行う必要がある。また更に、目標耐用年数経過後も含め長く使い続けるためには、定期的な点検や改修を行いながら、劣化の

進行を遅らせ、延命化を図る必要がある。

【免震化の検討】

可能な限り現況の建物に手を加えずに耐震化するためには、免震レトロフィット工法が現在の耐震化工法の中ではいちばん有効であると考えられるが、公会堂の当初の設計及び施工、立地する地盤、耐震診断の結果などから、本来、同工法が持っているメリットを十分に活かすことができないと考えられ、設計費用を含めた概算工事費は約26億7千万円で、さらに内外装・設備のリニューアル改修や構造体の劣化改修工事を含めると、30億円程度かかるものと推察される。

参考資料、引用文献

- ・『建築構造計算指針 第11章 耐久設計(案)』
(社)日本建築構造技術者協会 技術委員会 耐久設計部会 2000年6月
- ・『鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・同解説』
(社)日本建築学会
- ・小松幸夫 『住宅寿命について(「住宅問題研究」vol.16 No.2 2000年6月所載)』
早稲田大学
- ・『平塚市公共建築物の長寿命化に向けた考え方』 平塚市 平成20年(2008年)11月
- ・『鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計()』
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻建築材料研究室(野口研究室)
ホームページ
- ・『耐震改修促進法について』 (株)コンクリート診断センターホームページ
- ・『地震動応答解析のおはなし』 (株)構造ソフトホームページ
- ・『免震・制震工法比較』 佐藤工業(株)ホームページ
- ・『耐震ネット/免震レトロフィット(免震補強)』 大成建設(株)TaisinNet ホームページ
- ・『Q&A《'03 建築材料概論》コンクリートの耐用年数、ひび割れパターン、劣化と対策』
名城大学理工学部建築学科寺西研究室ホームページ

3 文化財的価値について

(1) 村野藤吾について

公会堂を設計した村野藤吾(1891～1984)は、近代日本を代表する建築家であり、文化勲章の受章(1967年、現在までに建築家は8名受賞)をはじめとして、日本建築学会作品賞(国内建築家に与えられる最高賞)を3度受賞(丸栄百貨店 1954年、世界平和記念聖堂 1956年、日本生命日比谷ビル 1965年)、また、日本芸術院会員に選ばれるなど輝かしい実績を持っている。

村野藤吾が関係した作品は、現在、下記の4件が国の重要文化財及び国宝に指定されている。

- ・宇部市民会館(宇部市渡辺翁記念会館 1937年建築、2005年国重要文化財指定)
- ・世界平和記念聖堂(1953年建築、2006年国重要文化財指定)
- ・高島屋東京店増築(増築担当、2009年国重要文化財指定)
- ・旧東宮御所(現迎賓館赤坂離宮 改修担当、2009年国宝指定)

昭和の名建築を数多く手がけ、特に商業建築に関して現代の建築への方向を指し示した功績が大きい。

村野藤吾は、その多彩な作風でよく知られている。早稲田大学を卒業後、大阪の渡部節の建築事務所に1918年に入り修業を続け、1929年(昭和4年)に独立し村野建築事務所を開設した。宇部市民会館(1937年建築)は、戦前の代表的作品である。

独立後、村野は、「モダンデザインの先端からの遅れを自認する確信犯的デザインをとっていたため、長い間、評価は限られていた。遅れて来た表現派と見なされやすく、また、先行する初期モダニズムの影響も受けてきており、先陣争いを好む観客の目には、一周遅れのくせにトップの走りを真似る奇妙な走者とし映らなかったからである。たしかに一周遅れだが、しかし、それでよしと覚悟して選んだ遅れである。『遠目はモダニズム、近目は歴史様式』と自分の設計方法を説明し、仕上げの味と細部の面白さが人間と建築をつなぐ回路である、と確信していた。』『日本の近代建築(下) - 大正・昭和篇 - 』。

この確信が村野をして、戦後の建築界をリードしていくことになるが、機能性や均質性、経済性、合理性を重視するモダニズム建築の潮流とは一見反するかののように、細部に手間暇を加えた手工業的な造作を施した作品を多く残している。

(2) 村野藤吾作品群における米子市公会堂の位置づけ

公会堂は、1958年(昭和33年)、村野66歳の時の作品であり、300件以上の作品があるなかで、公会堂関係は17件を数える。同時期の作品には、読売会館、大阪新歌舞伎座、八幡市民会館などがあり、米子市公会堂設計の前年に南アメリカを旅し、その時に見たブラジルの教会堂とグランドピアノのイメージを融合させて設計されたと言われている。

米子市公会堂は、公会堂建築にとって必要不可欠なもののみを抽出し構成する機能性、合理性重視のモダニズム建築の面と、一方では屋根や側壁に見られるカーブの連なり、赤瓦をタイル形に焼成したタイルの使用などモダニズム建築とは一線を画した面が同居する建物となっている。村野の作品は、1960年代、1970年代へと次第にモダニズム建築から距離を置き、独自の展開を示すようになるが、その黎明期の作品として位置付けられている。

(3) 米子市公会堂の文化財的価値

公会堂のもつ文化財的価値は、その意匠、設計者の多くの作品群における位置などの建築史としての学術的価値と、その学術的価値のバックボーンとなる公会堂が建築された経緯、時代的背景、米子市発展において果たしてきた役割などの歴史的価値を総合して検討する必要がある。

ア 学術的価値

学術的な価値は、言うまでもなく、近代日本を代表する建築家である村野藤吾の設計作品としての点である。特に戦後建築界の巨匠村野藤吾の多彩な作風の変容の過程を示す建築作品であり、建築史的価値が高いとされている。

イ 歴史的価値

公会堂の立地は、米子市の東西と南北の大動脈の交差点に位置し、付近には、米子高島屋などの商業施設も多い。米子市の中心市街地の発展を意図してこの地に公会堂が置かれ、周辺の商業施設の展開へとつながり、周辺地域と調和する環境を形づくってきた経緯がある。米子市のまちづくりにおける拠点施設であり、米子市街地の発展の歴史を物語っている。

さらに、公会堂の建築期は、市民が戦後の疲弊した状況からようやく立ち上がり、人々の心の中に少しずつではあるが「余

裕」が生まれはじめた頃である。その「余裕」の表象としての待望された施設であり、建築に際し市民自ら展開した「1円募金運動」や文化活動の中心として開館以来多くの市民が利用してきたことも見逃せない。

以上の点から、「市民手作りの文化の殿堂」として、米子市の歴史を語る上で欠かせない建築物である。

(4) まとめ

昭和期の建築は、明治・大正期に建てられたものに比べ安易に取り壊され続けている状況がある。特に、戦後のモダニズム建築は、その建築的価値を評価される前に取り壊されるケースが多い。装飾的要素の少ない戦後の建築物は、その保存価値について、一般国民も含めた共通認識が形成されているとは言い難い。

そのため、文化庁は、戦後の建物についても、重要文化財の指定に動き出しており、今後、戦後の近代建築(モダニズム建築)についても全国的な悉皆調査が行われ、重要文化財指定が図られていくことも考えられる。

近代建築物は、戦前の近代化遺産、近代和風建築を中心に、年10件ほどのペースで重要文化財指定されているが、戦後の建築物に関しては、重要文化財の指定が緒についたところであり、同一人の作品を多く指定することは現段階では考えにくく、他の建築家とのバランスを考慮しての選定になると推定される。

米子市公会堂の場合、村野藤吾の作品は、既に4件指定されているので、同年代の作品を指定するのであるならば、当面、他の建築家の作品が指定されることとなるであろう。また、モダニズム建築物になると、建築家の意匠より、時代を反映したり、当時の先端的なものが重視される傾向がある。推定の域を出ないが、米子市公会堂に関する国の重要文化財指定は、長期間(半世紀程度)を要する案件と判断をせざるを得ない。

なお、今後、村野作品の取壊しが多くなり、村野作品が残らなくなってくると、指定される可能性は出てくるため、早ければ10数年、遅くとも30年以内に国の重要文化財指定案件として俎上に上がってくるという見方をする研究者や、鳥取県内におけるモダニズム建築の中では秀逸であり、将来の国の重要文化財候補の一番手であるとする研究者もある。

また、市、県の文化財指定に関しては、各々の文化財保護審議

会の判断にもよるが、国の重要文化財指定ほどハードルは高くないと考えられる。

その他、建造物関係には、文化財指定の他に登録有形文化財制度がある。登録有形文化財制度は、より緩やかな規制の下で、文化財を幅広く保護するために設けられた制度であり、大きくは外観(景観)の保存を主目的とし内部の改変は基本的には規制外とするものである。登録により受けられる財政的な優遇措置は少ないが、米子市公会堂については、登録有形文化財の基準は満たしており、登録は可能であると考えられる。

参考資料、引用文献

- ・藤森照信『日本の近代建築(上) - 幕末・明治篇 - 』 岩波新書 1993年
- ・藤森照信『日本の近代建築(下) - 大正・昭和篇 - 』 岩波新書 1993年
- ・藤木竜也『米子市公会堂』 米子工業高等専門学校 藤木研究室 2009年
- ・松本静夫「米子市公会堂についての見解」『米子市公会堂の保存に関する要望書』
社団法人日本建築学会中国支部 2010年
- ・芦原太郎「日本におけるモダニズム建築の保存活用に対する声明」
日本建築家協会 2010年

村野藤吾作品

1928年から1988年までの61年間で332棟、うち現存するものは166棟、一部現存8棟である。

代表作として旧森五商店東京支店1933、そごう大阪店1935、宇部市渡辺翁記念会館(重文)1937、檀原神宮駅舎1940、丸栄本店1953、広島平和記念聖堂(重文)1953、旧読売会館1957、新歌舞伎座1958、横浜市庁舎1959などのほか、高島屋東京店増築(重文)、迎賓館改修(国宝)がある。

近代建築家

文化勲章受賞建築家(8人)

伊東忠太、吉田五十八、**村野藤吾**、谷口吉郎、丹下健三、
武藤清、芦原義信、安藤忠雄、

その他代表的建築家

黒川紀章、清家清、池田武邦、辰野金吾、伊東トヨオ、磯崎新、
吉村順三、前川國男など

4 文化活動への影響について

(1) 利用状況について

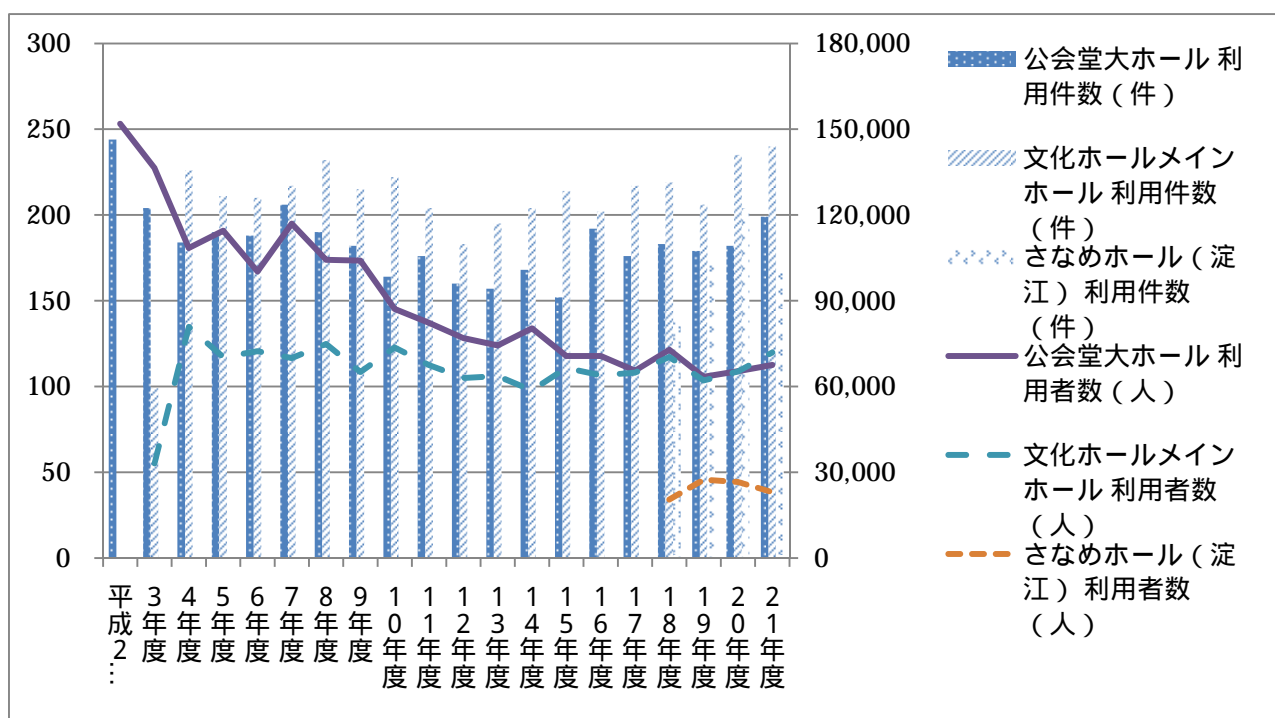
公会堂利用の推移

公会堂の利用は、平成3年に文化ホールが建設され、公会堂の大ホール、文化ホールの中ホールと役割を分離したため、公会堂の利用件数、人数とも減少し、さらに平成9年にコンベンションセンターが建設されたことで、大ホールが競合することになり、公会堂の利用件数、人数とも大きく減少した。

そうした中で公会堂の利用促進を図るため、平成16年から練習使用料を設け利用件数の増加に努めたが、利用者数の増加には至らなかった。

平成17年の合併により、さなめホール（淀江）も加わったが中ホールであった事や立地場所などから利用状況に影響はなかった。

練習使用料：公演の日に引き続かない練習等に大ホール舞台のみを使用するとき（使用日の属する月の前月の初日以後に申し込む場合に限る。）

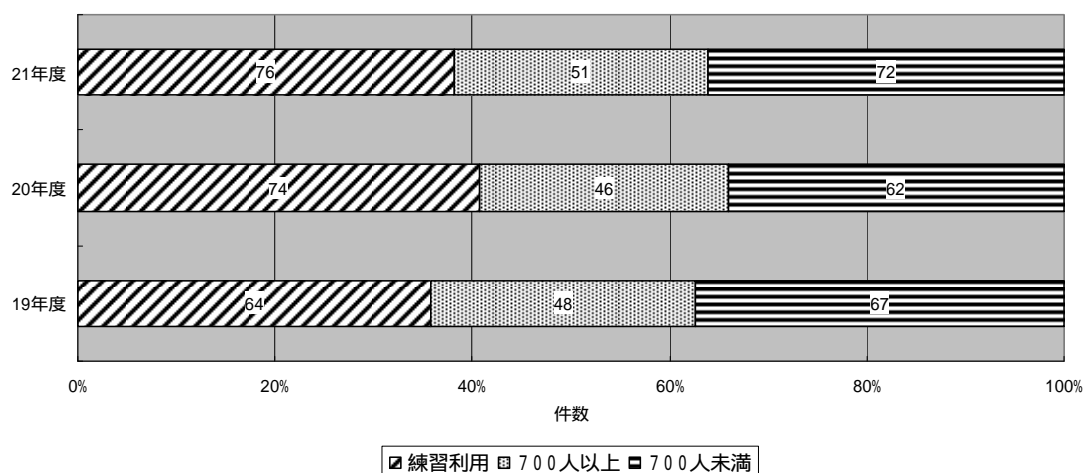


公会堂の平成 21 年度の利用件数は、199 件、利用率 64.6%、67,509 人であるが、「練習利用」という客入れなしの安価な利用が 76 件あり、それを除くと 123 件、利用率 39.9%である。(資料 21)

その内、700 人以上の公会堂のキャパシティーに適應した利用は、51 件であり、残りの 72 件の大半は文化ホールの代替利用と推定している。

平成 19、20 年度の利用は、179 件、182 件、うち 700 人以上の利用は平成 19 年度 48 件、平成 20 年度 46 件である。

米子市公会堂の利用件数

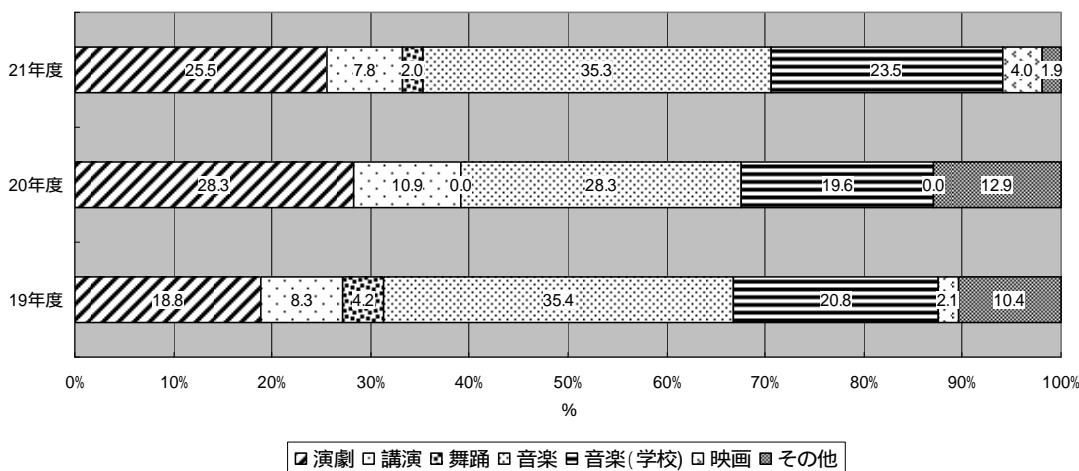


平成 21 年度の利用目的では、演劇 13.6%、講演 2.5%、舞踊 11%、音楽 36.2%、音楽(学校)29.6%、映画 2.5%、その他 4.5%となっている。

その内、700 人以上の利用に限定した場合、演劇 25.5%、講演 7.8%、舞踊 2%、音楽 35.3%、音楽(学校)23.5%、映画 4%、その他 2%となっている。

平成 19 年度の 700 人以上の利用目的では、演劇 18.8%、講演 8.3%、舞踊 4.2%、音楽 35.4%、音楽(学校)20.8%、映画 2.1%、その他 10.4%、同様に、平成 20 年度は、演劇 28.3%、講演 10.9%、舞踊 0%、音楽 28.3%、音楽(学校)19.6%映画 0%、その他 13%である。

米子市公会堂の利用目的(700人以上の利用)

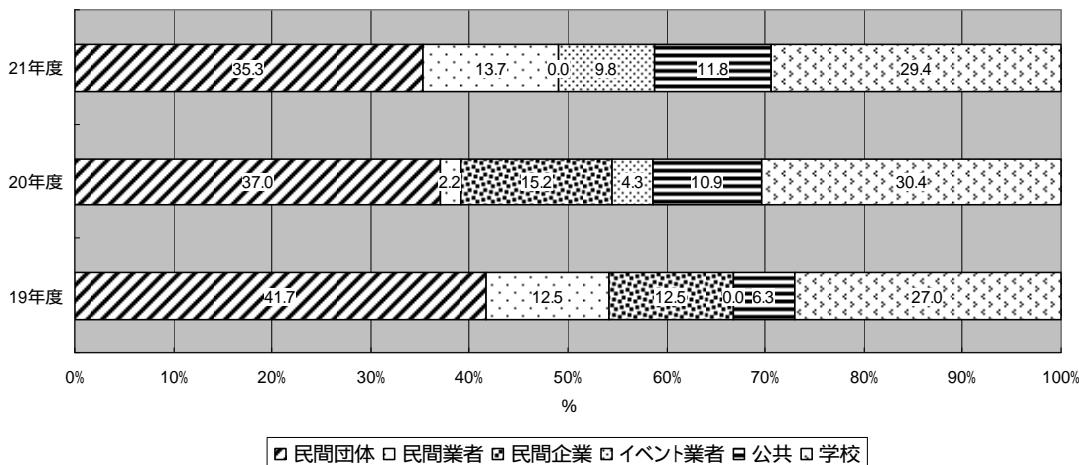


平成 21 年度の利用者（主催者）は、民間団体 37.2%、民間業者 6%、民間企業 1%、イベント業者 2.5%、公共 17.6%、学校 31.2%、個人 4.5%となっている。

その内、700 人以上の利用に限定した場合、民間団体 35.3%、民間業者 13.7%、イベント業者 9.8%、公共 11.8%、学校 29.4%である

平成 19 年度の 700 人以上の利用者（主催者）では、民間団体 41.7%、民間業者 12.5%、民間企業 12.5%、イベント業者 0%、公共 6.3%、学校 27.1%で、同様に、平成 20 年度は、民間団体 37%、民間業者 2.2%、民間企業 15.2%、イベント業者 4.3%、公共 10.9%、学校 30.4%である。

米子市公会堂の使用者(主催者)(700人以上の利用)



施設の特性として、演劇、機械音響のいらない音楽関係に適したホールである。(ただし、全てのクラシック音楽に適しているわけではない)

また一方で、リハーサル室の利便が悪く、利用者からの不満もある。

利用時間帯では、日中の利用者が 41,083 人、夜間の利用者が 31,886 人、うち 5,460 人は昼夜通し利用のため重複している。

米子市文化ホールの利用件数は、平成 21 年度の利用は 240 件 71,900 人、練習利用は 26 件。平成 20 年度では、235 件 65,211 人、練習利用は 27 件。平成 19 年度年度では、206 件 62,078 人、練習利用は 64 件であった。

近年、文化ホールの利用が増加しており、そのため練習利用は減少している。

利用目的では、平成 21 年度音楽 50.4%、講演 17%、平成 20 年度音楽 51.5%、講演 16.6%、平成 19 年度音楽 65.4%、講演 3.4% であった。

利用者(主催者)は平成 21 年度民間団体 47%、民間企業 6.4% であった。

公会堂と比較して、演劇の利用が少なく音楽や講演などの利用が多く、学校の利用が少なく、民間団体と公共の利用が多い。

1000 人以上収容のホールの保有数では、人口 10 万から 20 万人の全国 158 市のうち、138 市に上るが、2 つ以上保有する市は鳥取市、米子市を含めて 13 市に留まっている。

まとめ

公会堂の利用(稼働率)は高く、県内では米子市文化ホール、梨花ホールに次ぐものの、「練習利用」が 4 割弱、規模の小さい 700 人以下の利用が 4 割弱を占めており、700 人以上のキャパシティーに適した利用は 4 分の 1 にすぎない。

他市に比べホールの整備は充実しているため、利用に際して予約が取り易い面もあるが、利用の低下した公会堂については、今後さらに利用を促進するための方策を設ける必要がある。

(2) 活動への影響と代替利用について

米子市文化協議会会員等の内、公会堂利用団体にアンケートを配布し、10月26日から11月4日まで聞き取りを行った。

アンケートの内容については、「使用停止で貴団体はどんな対応をされましたか」「使用停止でお困りのことを具体的にお書きください」の2項目について質問した。

聞き取りでは上記の内容以外にも、代替施設についての問題点や公会堂の必要性等、多くの意見を聞くことができた。(別添資料)

以下、聞き取り時の意見をまとめると

(ア) 代替施設となるホールの特徴

米子市文化ホールは、交通の利便性、舞台設備、音響効果が良く中規模ホールでの使い勝手は良いが、大規模公演になると収容能力、採算性がないなどの問題を考えると十分ではなくなる。

また、従来から利用率が高く公会堂の使用停止を受け、1年前からの予約申し込みをする団体が殺到し、益々、競争率が高くなり希望日が取れない状態である。

米子市淀江文化センターは、舞台設備、音響効果が良く中規模ホールでの使い勝手は良いが、市内から遠く、年配者等自家用車の運転をしない者にとっては交通の利便性に大きな問題がある。

また、客席数が588席と少なく、入場料収入による財源が確保できない。

米子コンベンションセンター多目的ホールは、コンサートホールとしての設計ではないため、座席が浮き上がった構造であり音が座席の下の空間に吸収され、量感や残響時間が保持されず音が貧弱になるなど音響的に劣っている。

(イ) 公会堂以外で代替しにくい理由

舞台公演を演じる団体は、コンベンションで行うと、音が座席の下の空間に吸収され音響が悪くセリフが聞こえない。舞台が狭く、そでの部分もないため役者の出入りが困難で使い勝手が悪い。吊り物が少なく高さが低いなど十分な舞台セットが組めないため、公演内容によっては制限される。

費用については公会堂よりもホール使用料が高く、経費の増加が懸念される。休日は文化ホールの申し込みが多くなり、ホールが取れない場合には、団体の活動に支障が生じる。

舞台公演を企画主催する団体は、コンベンションは舞台転換が困難で、演じる団体に無理を強いており、長年の信頼関係により配慮されている面も推察できる。結局、文化ホールを選択せざるを得ないが、収容人員が足りないことで2回公演を想定すると、費用の負担が増加してしまう。

合唱・ブラスバンドを演じる団体は、コンベンションでは音が床、天井、壁に吸収され、反響しにくいなど音響に問題があり、十分な音が会場全体に伝わらない。このためほとんどの場合、文化ホールを利用せざるを得ない。

しかし、文化ホールは県大会や観客数の多い催し物の場合は、収容人数が少なくなり2回公演をしなければならなくなるが、市民団体では一日2回公演したり、審査が必要な場合や費用面で無理があり開催できない。こういう事態が長年続けば、市内団体の演奏レベルの低下、会員の減少を招きかねない。

クラシック音楽を企画主催する団体は、上記のとおり音響の問題で、コンベンションではほとんど開催されることがなくなった。文化ホールしか選択できず、予約できなかった場合、活動できない事態も考えられる。

その他の団体では、米子市の文化活動団体は活発に活動されており、団体が文化ホールを集中的に利用することで、ホールを取れなければ活動が制限される団体も、今秋には出始めている。

(ウ)まとめ

現在、公会堂が使用停止であるため、多くの団体に無理をお願いしているが、先に述べたとおり米子市は他市に比べて規模の異なる複数の施設を比較的多く有しており、公会堂以外のホール等を利用するなど、それぞれの団体の工夫により現時点では活動が継続されている。

しかしながら、今後も公会堂が利用できないことになれば、文

化活動に影響があり、活動が制約されることで団体（大人数合唱団、舞台芸術関係など）そのものの存続を危ぶむ声もある。

また、米子市や周辺地域を対象とした芸術文化公演が文化ホール、さなめホールでは採算がとれない理由のため招聘できなくなり、身近で質の高い優れた文化芸術を鑑賞する機会や、自らも幅広い芸術文化活動を行い、活動の成果を発表できる場がなくなり、芸術文化への意欲が薄れ、市民の芸術文化レベルの低下を心配する声もある。

5 都市機能上の位置付けについて

(1) 都市機能としてこれまで果たしてきた役割

ア 公会堂から始まった角盤町周辺のまちづくり

昭和33年の公会堂の建設に続いて、周辺では米子高島屋の開店(昭和39年)、国道9号線の拡幅(昭和39~45年)、やよいデパートの開店(昭和45年)、歓楽街の隆盛、国道181号線~県道拡幅、バス路線の集積など半世紀にわたって様々な都市機能の整備が集中的に行われてきた。このように公会堂を核に始まったまちづくりが、本市の中心市街地最大の集客拠点と交通アクセスの整備につながっており、公会堂が今まで果たしてきた役割は少なからぬものがある。

イ 都市機能の相互依存によって成り立つ集客拠点

周辺の各施設は、公会堂により立地、集積され、さらに各施設が相互に依存しながら集客拠点を形成しており、公会堂もそれら施設の存在によりこれまで支えられてきた。例えば、商店街の立体駐車場は公会堂への来客があったために、現在の規模で経営を継続でき、逆に公会堂もこの立体駐車場があったために、自動車利用の来場者に対応することができた。また、イベント前後の飲食、買い物需要への対応も、商業施設、飲食施設の立地があったため、それが公会堂来場者の利便性や快適性を高めてきた。

ウ 公共交通網の形成

米子駅~公会堂前(高島屋前)はほとんどのバス路線が経由しており、他に比べて過密な運行の区間となっている。このことは、公会堂周辺が集客拠点となっているからこそ成立する。つまり、都市機能が集積しているからこそ、効率的で健全なバス事業や効率的な道路整備が可能となるのであって、集積が薄ければ薄れるほど、公共交通機関の維持、道路整備の効率性は大きく低下する。

エ ランドマークとしての存在感

公会堂前交差点は、これまでに交通アクセス網が整備され交通量が非常に多く、日に4万台以上の交通量があるものと推測される。大型の集客施設が集積する中で、公会堂は唯一緑地を備え、その緑に彩られた中に建つ重厚な建築物があり、米子のランドマークとして存在感を発揮している。

(2) 使用停止の及ぼした影響

ア 停留所乗降者数から見た影響

交通の要衝に位置するバス停留所として、市内循環バス・だんだんバスの停留所が高島屋前にある。このうち、だんだんバスの平成21年と平成22年の乗降者数の変化は次の表のとおりである。

【だんだんバス乗降者数の推移（高島屋前停留所）】

	平成21年9月 月間の1日平均	平成22年10月の 2日間の1日平均	前年比
高島屋前停留所	106.7人	106.5人	99.8%

平成21年9月の1日あたりの人数（1カ月間の平均）と、平成22年10月の1日あたりの人数（2日間の平均）と比較してみると、前年比 0.2人、伸び率 0.2%であり、ほとんど変わりがない。

（資料23）

イ 歩行者通行量から見た影響

公会堂は、中心市街地の活性化の度合いを測る歩行者通行量の測定ポイントにもなっている。その公会堂前と測定地域全体で21年、22年の歩行者通行量を7月と秋季（21年11月、22年は10月に臨時測定）に測定し比較した表が、次のとおりである。

歩行者通行量は、1平日と1休日の午前10時から午後5時までの間における正時から30分間の通行者の合計値である。

【歩行者通行量の推移】（7月比較）

	平成21年7月	平成22年7月	前年比（7月）
公会堂前	1,787人	1,146人	64.1%
地域内合計	19,059人	17,562人	92.1%

【歩行者通行量の推移】（秋季比較）

	平成21年11月	平成22年10月	前年比（秋季）
公会堂前	2,274人	1,974人	86.8%
地域内合計	23,275人	人	%

7月比較では、22年の歩行者通行量は、地域内合計で1,496人（19,059人→17,562人）、伸び率は7.9%と前年より減少している。また、公会堂前での通行量も、641人（1,787人→1,146人）、伸び率は35.9%となっており、減少の度合いが大きくなっている。

秋季比較では、22年10月の地域内合計を計測していないため比較できないが、公会堂前の22年の歩行者通行量は、300人（2,274人→1,974人）、伸び率は13.2%と前年より減少している。しかし、7月の通行量の比較時よりも、減少の度合いはゆるやかとなっている。

（資料 24、25）

（3）大型商業施設・周辺商店街への影響

公会堂大ホールの使用制限開始後の入店客数や売上げへの影響を公会堂周辺の大型商業施設や商店街に聞き取りしたところ、さほど売上げには影響がでていないという店舗と大きな影響がでていう店舗があったが、飲食施設については影響がでていうようである。

中心市街地の歩行者通行量調査では、測定ポイントの中でえる・もーる商店街が最も歩行者が多く、本市の中心市街地の賑わいの核となっており、中心市街地の商業活性化にも大きな役割を果たしているが、本年の調査では前年より大きく歩行者通行量が減少している。また、周辺の駐車場の利用台数も、前年の同時期に比して減少している。

える・もーる商店街周辺の歩行者通行量

調査地点	平成21年7月	平成22年7月	前年比（7月）
角盤町郵便局前	1,887人	1,565人	82.9%
ニュー落合前	3,370人	3,088人	91.6%

高島屋東館前(NHK 側)	6 8 8 人	4 6 4 人	6 7 . 4 %
中心市街地全体	1 9 , 0 5 9 人	1 7 , 5 6 2 人	9 2 . 1 %

歩行者通行量 2 4 の調査地点の中で、最も通行量の多いのが「ニュー落合前」で、次に「角盤町郵便局前」であるが、この落ち込みが全体の減少に大きく影響していると言える。(別添資料)

(4) まとめ

公会堂の使用停止は、だんだんバスの乗降者数にはほとんど影響が認められなかったが、歩行者通行量には一定の影響を及ぼしていると推定される。また、周辺の商業施設等の中には、入店客数や売上げに影響があるとする施設とほとんど影響がないという施設に二分された。

公会堂前の休日の歩行者通行量や近隣駐車場のように公会堂の開館に直接連動する項目や施設への影響は当然であるが、周辺商業施設でも影響認識が異なるように、また、郊外の大型店への消費者動向からみると、以前のような相乗効果が周辺の商業施設等で出ていたかどうかは疑わしい。

つまり、公会堂の使用停止の周辺の商業施設等に与える影響は否定できないが、以前ほどの強固な依存関係はない印象である。

なお、今回行った調査は現時点で行える調査のみを急遽行ったものであり、比較する条件が一定でないなど必ずしも科学的とはいえず推定の域を出ない。

(5) まちづくりへの影響

ア 存続する場合

現在地で耐震補強して公会堂が存続することになれば、中心市街地活性化基本計画の大幅な変更は要しないこととなり、周辺の商業施設とともに中心市街地における集客施設としての機能を引き続き担っていくこととなる。

イ 解体して跡地利用をしない場合

休止が一部の商業施設に影響を及ぼしていると推定される中、跡地が放置される状態が続けば、本市のまちづくりに対する影響の範囲や度合いが甚大なものとなる可能性がある。さらに、過去から将来へ市の発展のために最も有効活用を求められる場所であって、防災や景観上にも問題があることから、跡地を放

置することは極力避けなければならないと考える。

ウ 廃止して、跡地利用をする場合

文化施設と周辺の商業施設との相乗効果が強固であるとは必ずしも言い切れないため、ホールにとらわれず、周辺の商業施設等と連携して新たなにぎわいを創出し、将来の米子市の発展の礎となる利活用を模索する必要があると思われる。にぎわいの灯火を消さないよう早期に暫定利用に取り組む必要もある。

6 財政面からの検討について

(1) 米子市の財政状況について

合併当時（平成17年度）の本市の財政状況は、合併のスケールメリットにより一定の効果が認められるものの、市税収入の低迷、生活保護費をはじめとする社会保障費や過去の建設事業で借り入れた市債の償還金（公債費）などの歳出の増加に加え、財政調整基金等の枯渇など、厳しい財政状況が続く見通しとなり、平成18年3月に第1次行財政改革大綱及び実施計画を策定した。この計画により、人件費の削減、事務事業の見直し、市債残高の低減、徴収体制の強化や使用料・手数料の見直しなどによる歳入の確保など、行財政改革の取組を推進してきたところである。

しかし、昨今の世界的な景気動向の後退などにより、本市でも税収が大幅に減少し、社会保障費は増加するなどの状況となっているため、平成22年度からは第2次米子市行財政改革大綱及び実施計画により、引き続き、強固な財政基盤を確立しようと取り組んでいるところである。

また、平成21年度決算において、連結実質赤字比率3.53%、実質公債費比率21.1%、将来負担比率200.1%となっており、いずれの数値も健全化判断基準は下回っているものの、全国の市町村の中では下位に属しており、財政状況は未だ非常に厳しいと言わざるを得ない。

その要因としては、扶助費（生活保護費など）、繰出金（介護保険事業や国民健康保険事業など特別会計に対する支出金）、公債費が類似団体（人口や産業構造などの似通った他の都市）と比較して大きいことがあげられるが、扶助費や繰出金は高齢化の進展や景気の低迷などにより、今後も増えることが見込まれる。

一方、近年、建設事業は抑制を続けており、公債費は19年度をピークに減少基調となっている。今後も、基本的には建設事業の精査を行うことで新たな市債発行を抑制し、未償還残高を低減することとしているが、小・中学校や保育所、橋りょうやクリーンセンターなど、公的施設の老朽化やそれに伴う大規模改修・耐震化工事、また長寿命化を目指した工事など、多くの施設の維持、延命化のための建設事業は増えていくことが見込まれ、市債発行による公債費負担が懸念材料となっている。

歳入が低迷する中で、扶助費、繰出金などの義務的経費は伸びるといって極めて厳しい状況では、財政は硬直化し、市民のニーズ

に適う新規施策等を実行していく財源が捻出できない恐れがあるため、さらなる行財政改革の推進が必要となってくる。そのひとつの柱として、建設事業の精査・抑制による公債費の低減は必要不可欠である。

また、既存施設の維持管理経費は、毎年の固定経費として必要となるものであり、その経費は、施設がある限り減ることはいないばかりか、今後は老朽化に伴って修繕費用が伸びることが見込まれるため、財政の硬直化の一因となってくる。

増えない財源の中で、既存のすべての事業を今までと同じように実施していくことはできない。今の時代に求められる、リアルタイムの市民ニーズ（子育て支援や高齢化対策、雇用対策など）や市の発展（企業誘致など）に適した施策・事業を実施していくためには、既存施策・事業の必要性の再検証、スクラップ・アンド・ビルド等の視点が必要であり、既存施設のあり方もこれらの視点を持って検討していくべき課題であろうと考える。

（２）公会堂の改修・維持管理費用について

ア 施設存続を前提とした場合

・施設改修工事費の財源

施設改修工事費 1,422,000千円の財源として合併特例債を活用した場合、充当率が95%なので、発行額は1,350,900千円となり、計算上、一般財源は差引71,100千円を要することになる。

これを避難所として改修した場合、工事費は1,527,000千円となるが、うち耐震改修部分577,500千円が国の社会資本整備総合交付金（補助率45%）の対象となるため（算定補助金額259,875千円）、合併特例債の発行は1,203,700千円、一般財源は63,425千円となり、実質負担額の軽減になると考えられる。

・今後の施設維持管理費

既に述べたように、公会堂は大規模改修から30年以上を経過しており、これまで必要に応じて補修をしてきている。しかし、施設の老朽化に伴い、雨漏りなどの修繕に要する経費は増加しつつある。今回の改修でそれらの発生がどの程度抑制されることになるのか定かでないので、具体的に算定することはできないが、

ランニングコストの縮減に向けた努力が今後一層求められることになる。

施設維持管理経費等の実績

(単位：千円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
通常管理経費	55,164	47,455	47,511	47,406	48,072
修繕工事費	0	2,106	1,764	0	20,672
計	55,164	49,561	49,275	47,406	68,743

・実質公債費比率への影響

財政健全化法に基づく健全化判断比率のうち、公債費が適正な規模にあるかどうかを示す実質公債費比率が18%以上の場合、「公債費負担適正化計画」を策定することとされており、本市では、平成28年度までに18%未満とすることを目指し、この計画に基づいて投資的事業の適正化を図っているところである。

公会堂を改修する場合、想定される工事費の財源に合併特例債を活用するものとして試算すると、実質公債費比率は0.1%程度増大することになるものと見込まれる。

公会堂の改修事業が市財政に及ぼす影響を考える上で、この数値を大きいと見るか小さいと見るかは、この事業の優先度によって変わってくる。優先度が高いと判定した場合、現時点では、今後の投資的事業全体を計画・管理する中で、調整が不可能なほどの影響がもたらされることはないものと見られる。

イ 施設を廃止する場合

施設を廃止し、大ホールと楽屋棟を解体するとした場合、解体費は概算で103,950千円と見込まれる。

跡地利用の方針が定まるまでの間、前庭を公園あるいは広場等の用途に活用するとした場合の施設管理費は、前庭、公衆便所の清掃や植栽の剪定等に要する経費として、年間1,550千円程度が必要と見込まれる。

(3) 公の施設のあり方検討

ア 公の施設を取り巻く環境

わが国の経済は、昭和30年代から昭和40年代にかけて高度経済成長期を迎え、国・地方ともこぞって公共施設の建設に取り

組んできた。これらの施設は、現在、いよいよ耐用年数を経過しようとしており、老朽化という問題に直面しつつあると言える。

また、いわゆる「平成の大合併」により、多くの市町村は、専ら組織、職員、議員などの数の削減に関し、短期的にスケールメリットが発揮されたものもあったが、一方、膨大な数を抱えることになった施設については、短期間で削減することは容易ではなく、多くの市町村が目的の重複する施設を複数保有することになり、その結果、相当の期間、これらの施設の維持管理に対応していくことを余儀なくされている。

このような公の施設の状況にさらに大きな影響を与えているものが、近年の地方財政の悪化である。

地方公共団体は、もはや高度経済成長期のような好景気を期待することができず、税収が伸び悩む中で、過去の公共施設の建設費用を中心とした巨額の債務の返済や高齢社会を背景として伸び続ける社会保障経費に対する手当を行ってきた結果、非常に厳しい財政状況に置かれている。

更には、国の三位一体の改革により、当初地方が期待していたほどの税財源の移譲が進まない中で、国庫補助負担金の廃止・縮減と地方交付税の見直しは確実に進み、地方財政に追い討ちをかけた。加えて、平成20年秋からの世界的な景気の冷え込みはそれに一層拍車をかけることとなった。

その結果、近年特に苦しい財政状況となった多くの地方公共団体は、住民への負担を伴う厳しい行財政改革に以前にも増して取り組んでいるが、なおかつ不足する財源を基金の取り崩しでしのぐといった状況に至っている。

このような財政状況の中で、今後発生する大量の公の施設の改修に対応することが求められている。

イ 公の施設に係る米子市の現状

米子市の公の施設も他市町村と変わらず、昭和40年代から50年代にかけて建築したものが半数以上を占め、平成20年12月に提出された『米子市公の施設等の在り方に関する検討委員会報告書』（以下、『検討委員会報告書』）によれば、平成19年度から平成33年度までの15年間で、施設構成の数で約49%の建築構造物等が耐用年数経過年度を迎えることになり、同じ期間の大規模修繕等の経費を試算すると、総事業費は240億円、一

般財源では約 8 1 億円が必要であるとの結果になっている。

ウ 今後の公の施設の在り方

現在の厳しい財政状況を踏まえれば、既存施設について、すべてを今までどおり存続していくということは困難であるとの立場から、将来世代に対し、真に必要な施設は良好な状態で残し、逆に不要・過大な負担は残さないという基本的な考え方に基づき、適切な施設の在り方について多方面からの検討が必要であると考えている。

7 公会堂に関する市民アンケートについて

(1) 市民アンケート調査結果

公会堂に対する市民の意識の傾向や意見等を把握するため、アンケートを実施した。実施内容及び集計結果は以下のとおりである。

① 調査対象・調査方法

調査対象 平成22年10月1日現在、18歳以上である米子市民(平成4年10月1日以前に生まれた人)

調査方法 年代別構成人口比率により按分し、無作為に抽出した3,000人に対してアンケート調査票を郵送配付し、郵送提出により回収を行った。

調査時期 平成22年10月～11月

② 回収結果

配付数 3,000

有効回答数 1,452

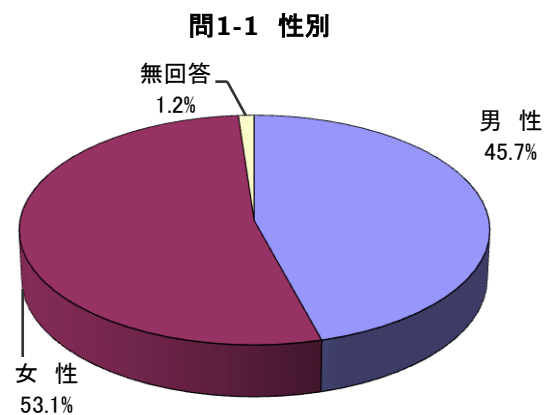
有効回収率 48.4%

③ 集計結果

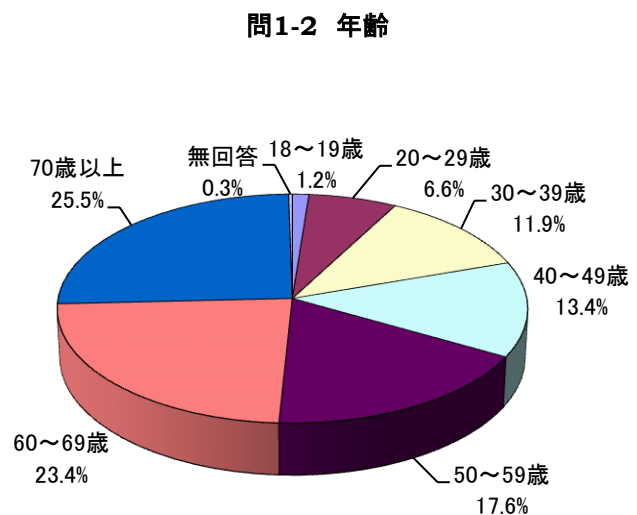
■ 回答者属性について

問1 以下の設問について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

問1-1 性別			
No	選択肢	件数	割合(%)
1	男性	664	45.7
2	女性	771	53.1
	無回答	17	1.2
	計	1,452	100.0



問1-2 年齢			
No	選択肢	件数	割合(%)
1	18～19歳	18	1.2
2	20～29歳	96	6.6
3	30～39歳	173	11.9
4	40～49歳	195	13.4
5	50～59歳	256	17.6
6	60～69歳	340	23.4
7	70歳以上	370	25.5
	無回答	4	0.3
	計	1,452	100.0



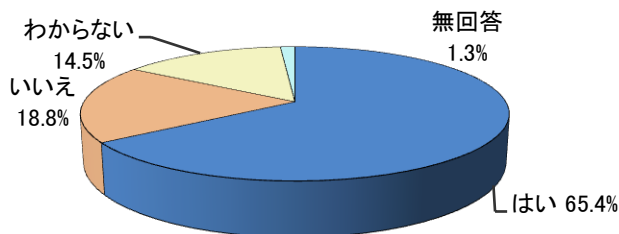
問1-3 居住地区(小学校区)							
No	選択肢	件数	割合(%)	No	選択肢	件数	割合(%)
1	啓成	81	5.6	13	彦名	41	2.8
2	明道	50	3.4	14	弓ヶ浜	90	6.2
3	就将	74	5.1	15	崎津	34	2.3
4	義方	120	8.3	16	大篠津	28	1.9
5	住吉	99	6.8	17	和田	32	2.2
6	車尾	74	5.1	18	五千石	29	2.0
7	加茂	81	5.6	19	尚徳	49	3.4
8	河崎	42	2.9	20	成実	51	3.5
9	福生東	67	4.6	21	箕蚊屋	52	3.6
10	福生西	55	3.8	22	伯仙	66	4.5
11	福米東	96	6.6	23	淀江	73	5.0
12	福米西	56	3.9		無回答	12	0.8
計						1,452	100.0

■ 米子市公会堂について、あなたのご感想をおたずねします。

問2-1 あなたは、公会堂の存廃問題に関心がありますか

	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
件数	1,452	949	273	211	19
割合(%)	100.0	65.4	18.8	14.5	1.3

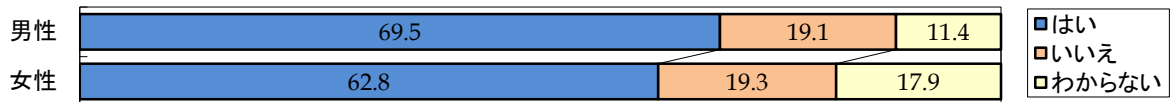
全体集計



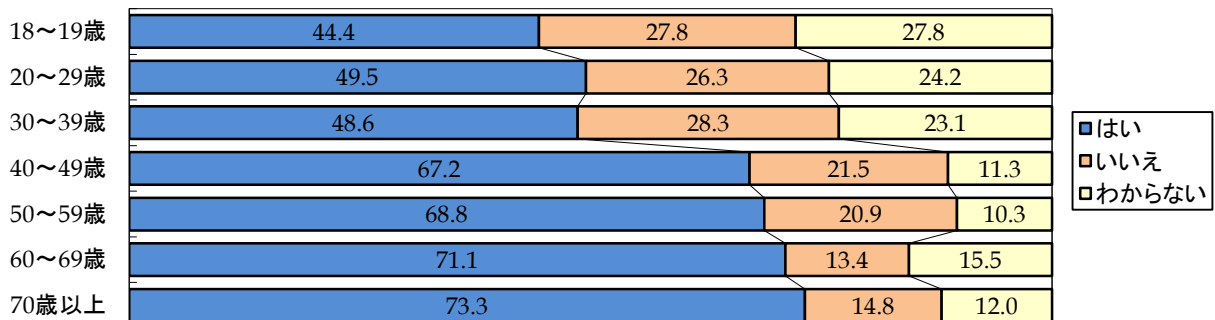
公会堂の存廃問題に関心がある人の割合は、全体では65.4%で、男女別にみると、男性は69.5%、女性は62.8%と男性が6.7ポイント上回っています。年代別にみると、最も高いのが70歳以上の73.3%で、次いで60代が71.1%、50代が68.8%と、年代が低くなるにつれて関心がある人の割合も低下する傾向にあり、最も低いのが、18～19歳の44.4%となっています。



<男女別集計>



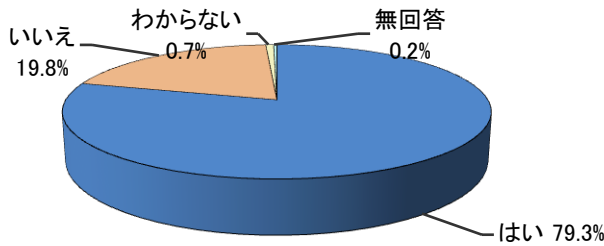
<年代別集計>



問2-2 あなたは、公会堂(大ホール)を利用したことがありますか

	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
件数	1,452	1,151	287	10	4
割合(%)	100.0	79.3	19.8	0.7	0.2

全体集計



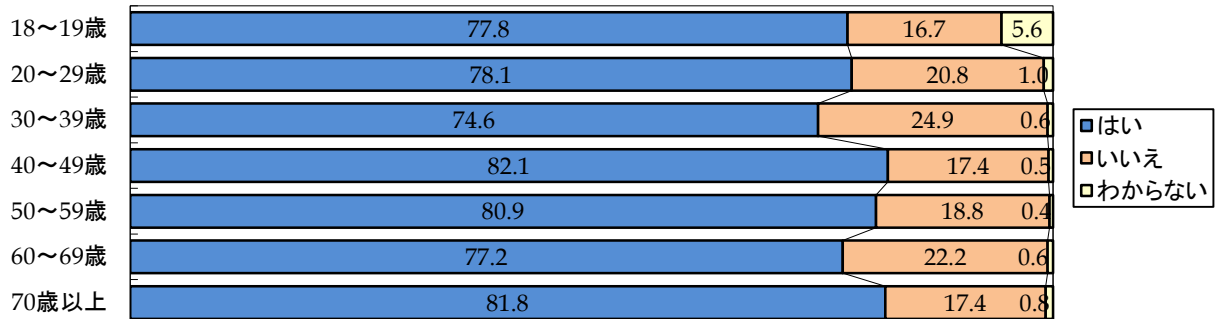
公会堂(大ホール)を利用したことがある人の割合は、全体では79.3%で、男女別にみると、男性は76.0%、女性は82.2%と女性が6.2ポイント上回っています。年代別にみると、最も高いのが70歳以上の81.8%で、30代が74.6%と最も低くなっていますが、年代による差はほとんどみられません。



<男女別集計>



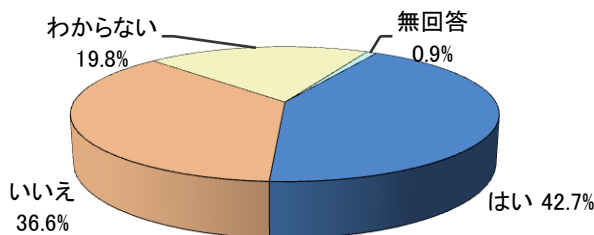
<年代別集計>



問2-3 あなたは、公会堂が米子市のシンボルだと思えますか

	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
件数	1,452	619	532	288	13
割合(%)	100.0	42.7	36.6	19.8	0.9

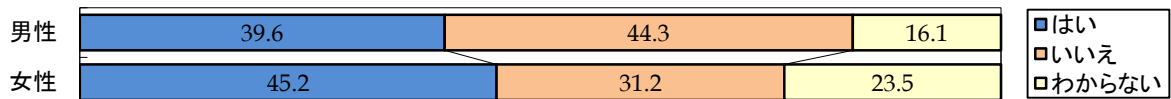
全体集計



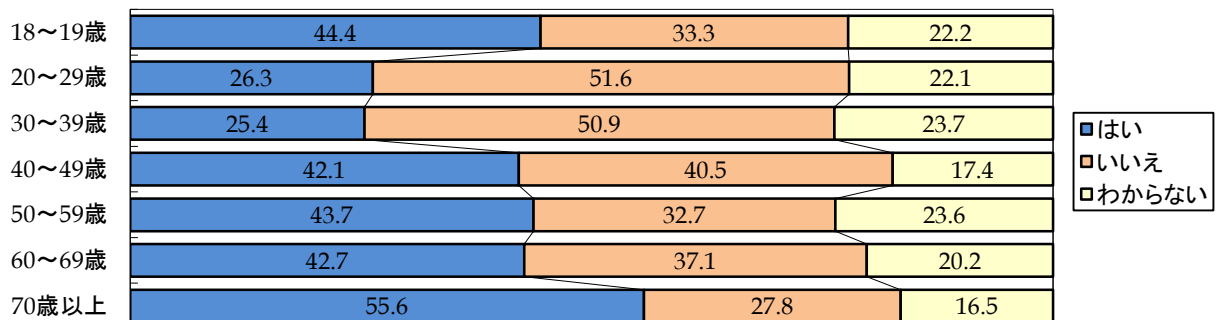
公会堂が米子市のシンボルだと思う人の割合は、全体では42.7%で、男女別にみると、男性は39.6%、女性は45.2%と女性が5.6ポイント上回っています。年代別にみると、最も高いのが70歳以上の55.6%で、そのほか40代以上の年代と18~19歳が40%以上であるのに対し、20代、30代の年代はいずれも20%台と、他の年代と比べ低い傾向にあります。



<男女別集計>



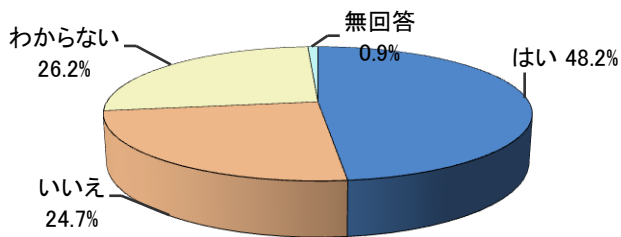
<年代別集計>



問2-4 あなたは、公会堂が米子市の文化芸術活動に影響を及ぼしていると思いますか

	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
件数	1,452	699	359	381	13
割合(%)	100.0	48.2	24.7	26.2	0.9

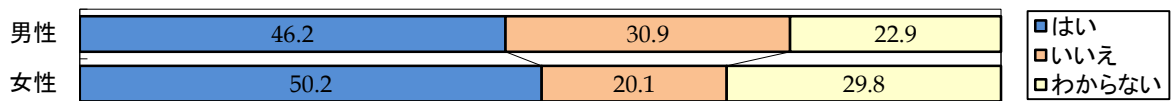
全体集計



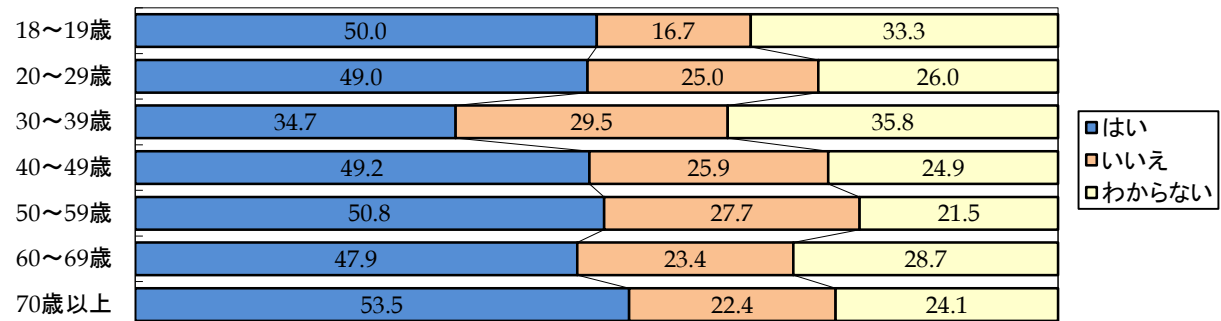
公会堂が米子市の文化芸術活動に影響を及ぼしていると思う人の割合は、全体では48.2%で、男女別にみると、男性は46.2%、女性は50.2%と女性が4.0ポイント上回っています。年代別にみると、最も高いのが70歳以上の53.5%で、全体的には50%前後の割合となっていますが、30代が34.7%で、他の年代と比べ低い傾向にあります。



<男女別集計>



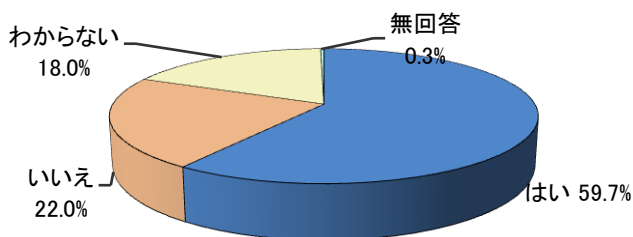
<年代別集計>



問2-5 あなたは、公会堂が米子市の歴史的建造物であると思いますか

	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
件数	1,452	866	319	262	5
割合(%)	100.0	59.7	22.0	18.0	0.3

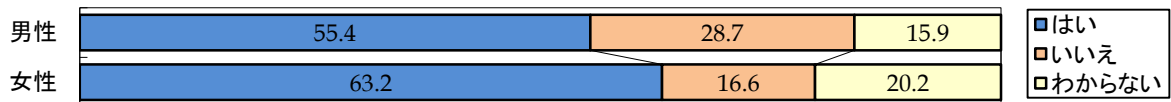
全体集計



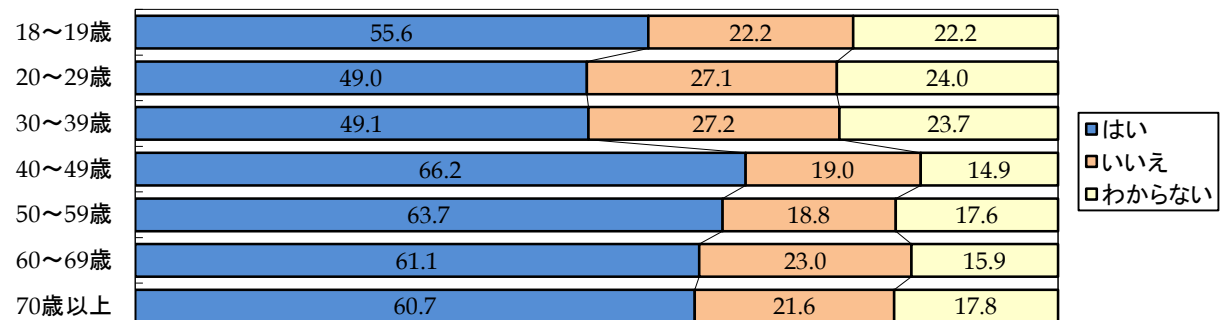
公会堂が米子市の歴史的建造物であると思う人の割合は、全体では59.7%で、男女別にみると、男性は55.4%、女性は63.2%と女性が7.8ポイント上回っています。年代別にみると、40代の66.2%を筆頭に、40代以上の各年代で60%を超えているのに対し、20代、30代の年代で50%を割るなど30代以下の年代では低い傾向にあります。



<男女別集計>



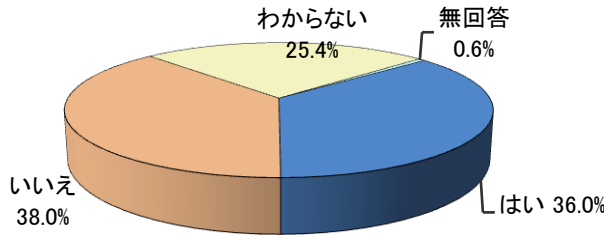
<年代別集計>



問2-6 あなたは、公会堂が中心市街地の賑わいづくりに貢献していると思いますか

	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
件数	1,452	523	552	369	8
割合(%)	100.0	36.0	38.0	25.4	0.6

全体集計

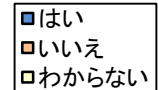


公会堂が中心市街地の賑わいづくりに貢献していると思う人の割合は、全体では36.0%で、男女別にみると、男性は32.2%、女性は39.6%と女性が7.4ポイント上回っています。年代別にみると、最も高いのが70歳以上の46.7%であるのに対し、30代以下ではいずれも20%台と、概ね年代が低くなるにつれて低下する傾向にあります。



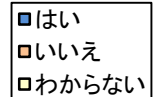
<男女別集計>

性別	はい	いいえ	わからない
男性	32.2	44.1	23.7
女性	39.6	33.5	26.9



<年代別集計>

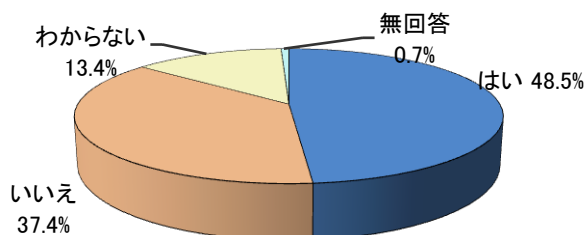
年代	はい	いいえ	わからない
18～19歳	22.2	27.8	50.0
20～29歳	25.0	45.8	29.2
30～39歳	20.2	48.6	31.2
40～49歳	33.3	41.5	25.1
50～59歳	35.2	38.3	26.6
60～69歳	39.9	36.7	23.4
70歳以上	46.7	31.3	22.0



問2-7 あなたは、公会堂に愛着をもっていますか

	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
件数	1,452	704	543	195	10
割合(%)	100.0	48.5	37.4	13.4	0.7

全体集計

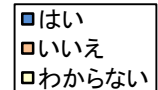


公会堂に愛着をもっている人の割合は、全体では48.5%で、男女別にみると、男性は45.2%、女性は51.3%と女性が6.1ポイント上回っています。年代別にみると、最も高いのが70歳以上の59.9%で、18～19歳の55.6%がこれに続いています。20代が30.2%、30代が25.4%と、他の年代と比べ低い傾向にあります。



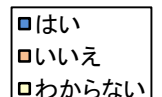
<男女別集計>

性別	はい	いいえ	わからない
男性	45.2	42.6	12.3
女性	51.3	34.1	14.6



<年代別集計>

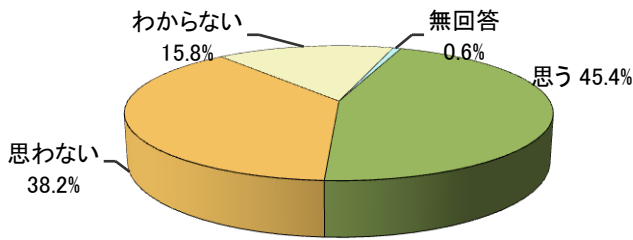
年代	はい	いいえ	わからない
18～19歳	55.6	16.7	27.8
20～29歳	30.2	52.1	17.7
30～39歳	25.4	57.2	17.3
40～49歳	48.7	35.9	15.4
50～59歳	49.2	33.9	16.9
60～69歳	53.3	37.0	9.8
70歳以上	59.9	29.9	10.2



問3 あなたは、公会堂を存続すべきであると思いますか。「思う」、「思わない」、「わからない」のどれか1つを選び、番号に○をつけてください。

	合計	思う	思わない	わからない	無回答
件数	1,452	695	554	229	10
割合(%)	100.0	45.4	38.2	15.8	0.6

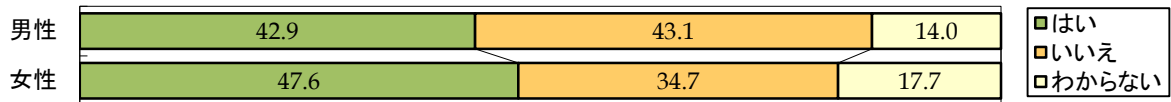
全体集計



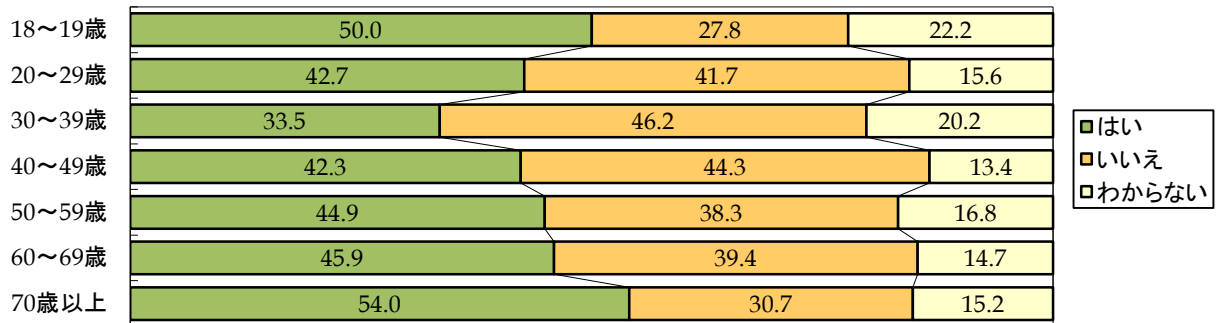
公会堂を存続すべきであると思う人の割合は、全体では45.4%で、男女別にみると、男性は42.9%、女性は47.6%と女性が4.7ポイント上回っています。年代別にみると、最も高いのが70歳以上の54.0%で、次いで18～19歳の50.0%となっており、30代が33.5%で最も低くなっています。



<男女別集計>

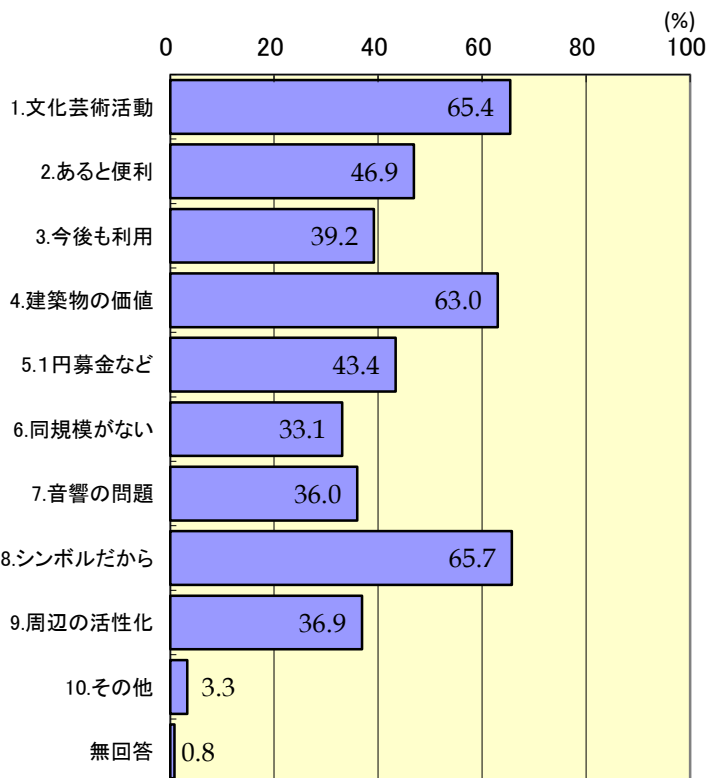


<年代別集計>



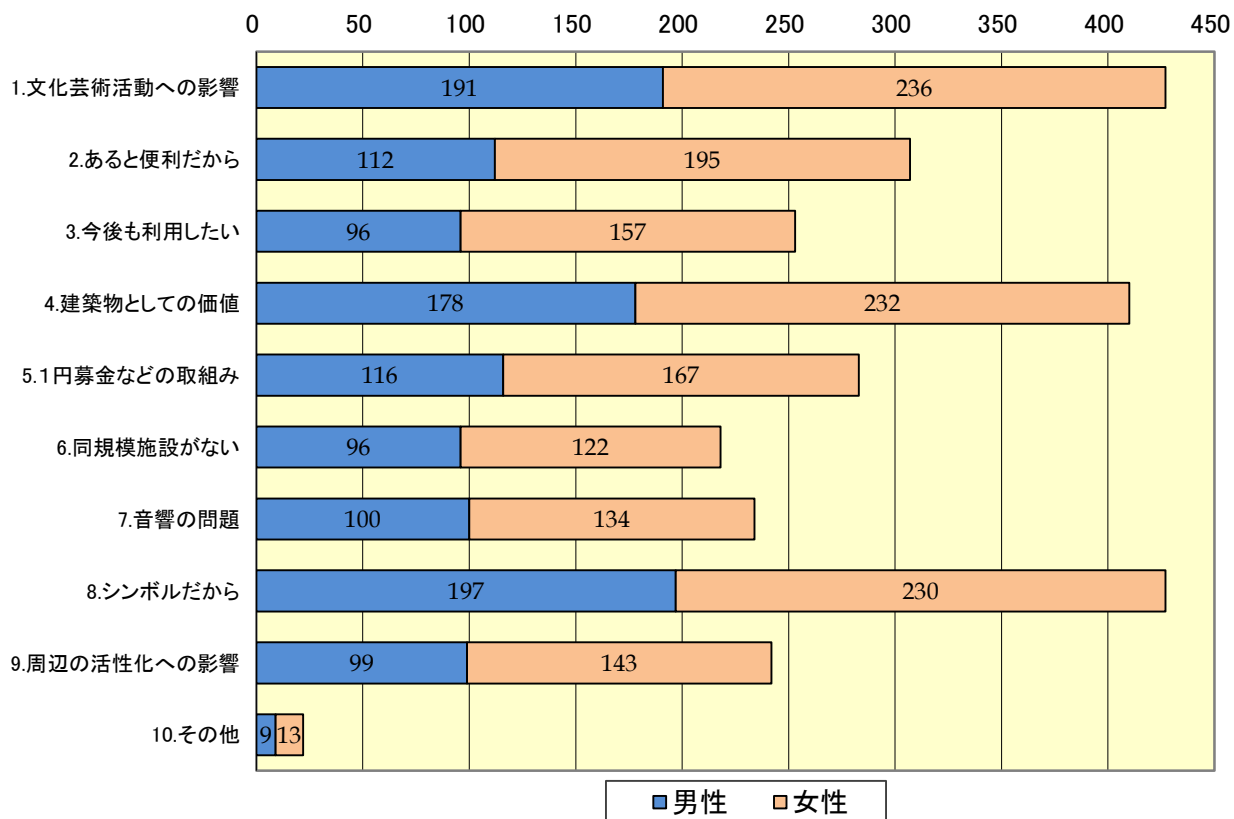
問4 問3で「思う」と回答した方に伺います。公会堂を存続すべきであると思う理由は何ですか。該当する理由の番号すべてを○で囲んでください。「その他」の場合は、回答欄に具体的にご記入ください。

選択肢	件数	割合(%)
1. 米子市の文化芸術活動に影響があると思うから	431	65.4
2. 現在の場所にホールがあると便利だから	309	46.9
3. 今まで利用しており、今後も利用し続けたいと思うから	258	39.2
4. 建築物としての魅力や価値があると思うから	415	63.0
5. 1円募金に取り組むなど市民の思いを大切にしたいから	286	43.4
6. 同じような規模(約1,100人収容)のホールが他にないから	218	33.1
7. 音響などの面で同レベルのホールが他にないから	237	36.0
8. 米子市のシンボルだと思うから	433	65.7
9. なくなると周辺の商業施設などの活性化に影響を及ぼすから	243	36.9
10. その他	22	3.3
無回答	5	0.8



<男女別クロス集計>

(件)

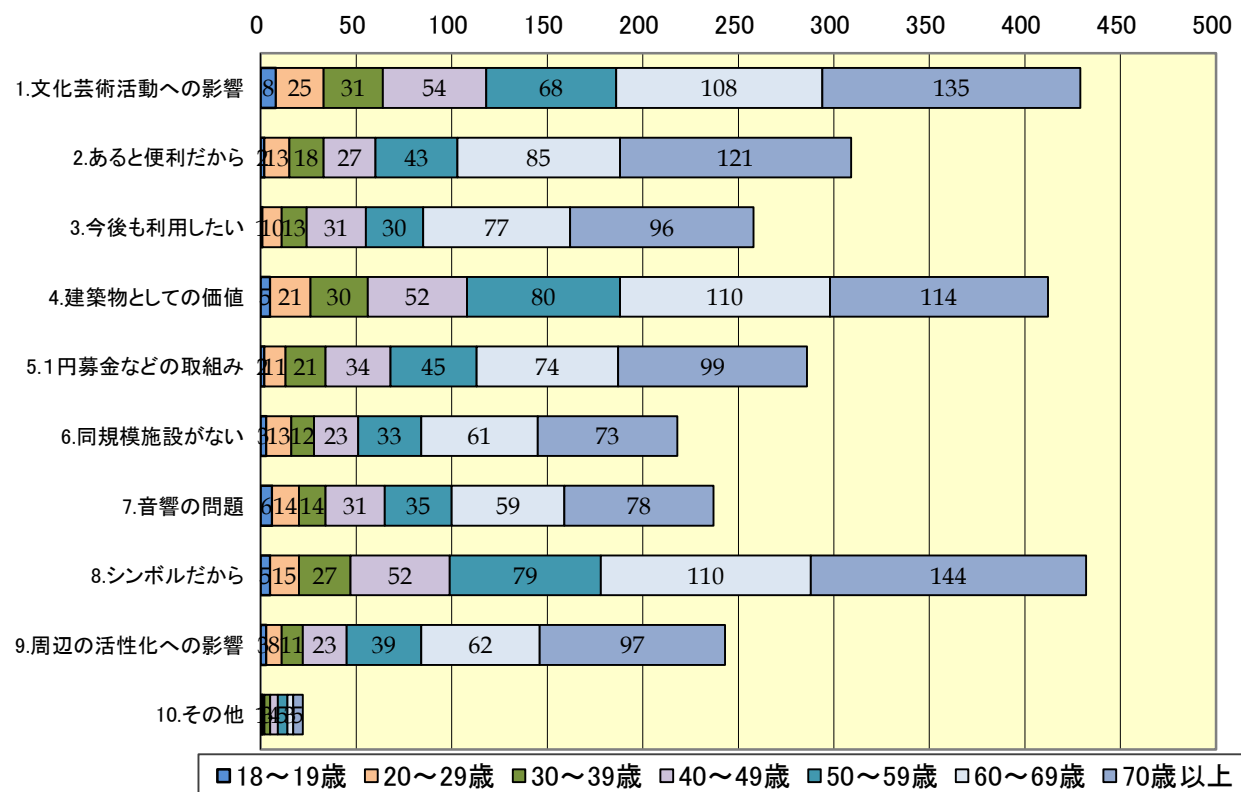


公会堂を存続すべきと思う人のうち、その理由として「米子市のシンボルだと思うから」を選んだ人の割合が65.7%で最も高く、次いで「米子市の文化芸術活動に影響があると思うから」が65.4%、「建築物としての魅力や価値があると思うから」が63.0%となっています。男女別、年代別にみても、ほぼ同様の傾向にあるといえます。



<年代別クロス集計>

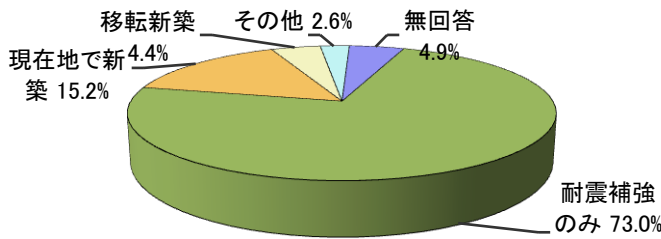
(件)



問5 問3で「思う」と回答した方に伺います。公会堂を存続するならどのような形態が良いと思いますか。該当するもの1つを○で囲んでください。「その他」の場合は、回答欄に具体的にご記入ください。

	合計	現在の公会堂を耐震補強して残す	現在の場所で新築する	現在地以外の場所に移転新築する	その他	無回答
件数	659	481	100	29	17	32
割合(%)	100.0	73.0	15.2	4.4	2.6	4.9

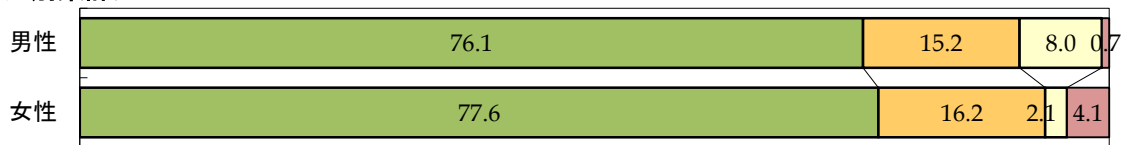
全体集計



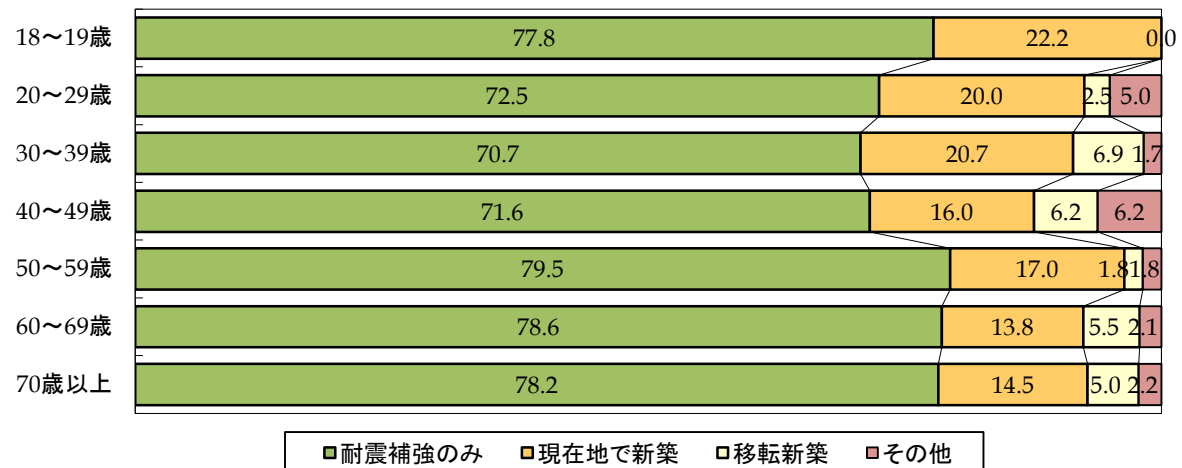
公会堂を存続すべきと思う人のうち、存続するならどのような形態が良いかについては、「耐震補強のみ」が73.0%と最も多く、「現在地で新築」が15.2%、「移転新築」が4.4%となっています。男女別にみると、「耐震補強」、「現在地で新築」では大きな違いはありませんが、「移転新築」については男性は8.0%、女性は2.1%と男性が5.9ポイント上回っています。



<男女別集計>

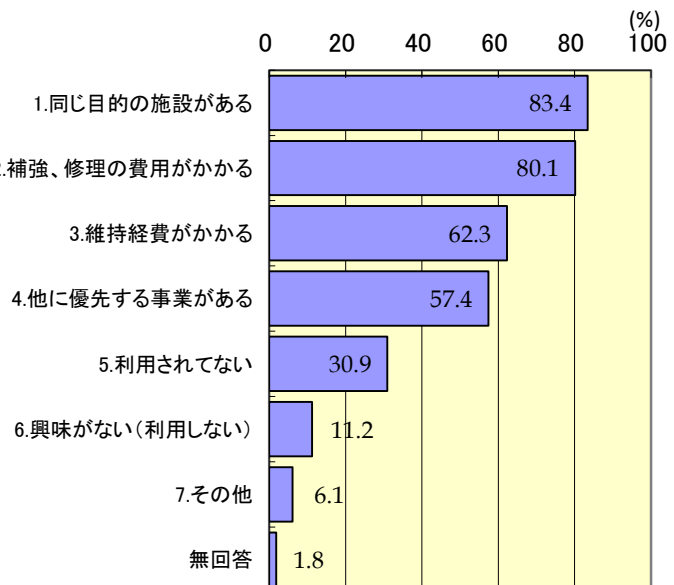


<年代別集計>



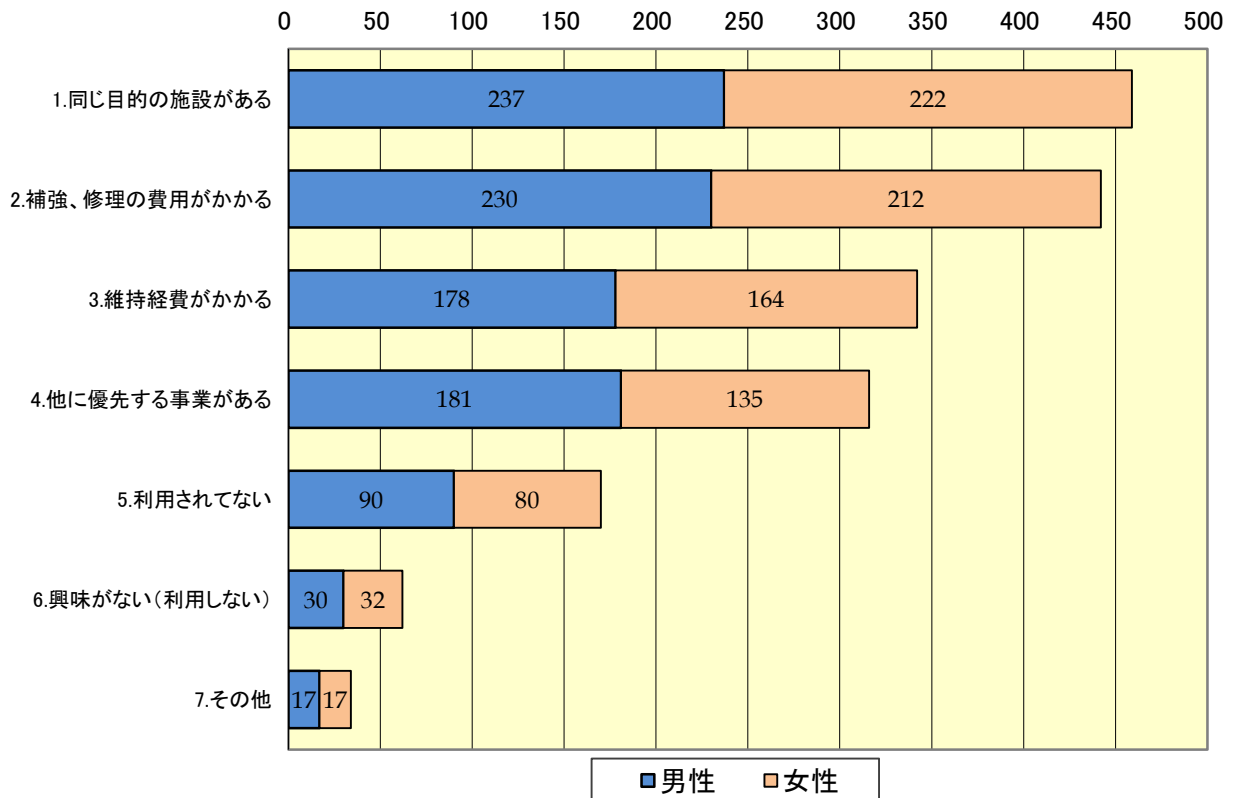
問6 問3で「思わない」と回答した方に伺います。公会堂を存続すべきであると思わない理由は何ですか。該当する理由の番号すべてを○で囲んでください。「その他」の場合は、回答欄に具体的にご記入ください。

選択肢	件数	割合(%)
1.文化ホールなど同じような目的の施設が他にあるから	462	83.4
2.補強、補修工事に多額の費用がかかるから	444	80.1
3.今後、経費をかけて施設を維持していくのが難しいと思うから	345	62.3
4.他に優先すべき事業があると思うから	318	57.4
5.あまり利用されていないと思うから	171	30.9
6.興味がないから(利用しないから)	62	11.2
7.その他	34	6.1
無回答	10	1.8



<男女別クロス集計>

(件)

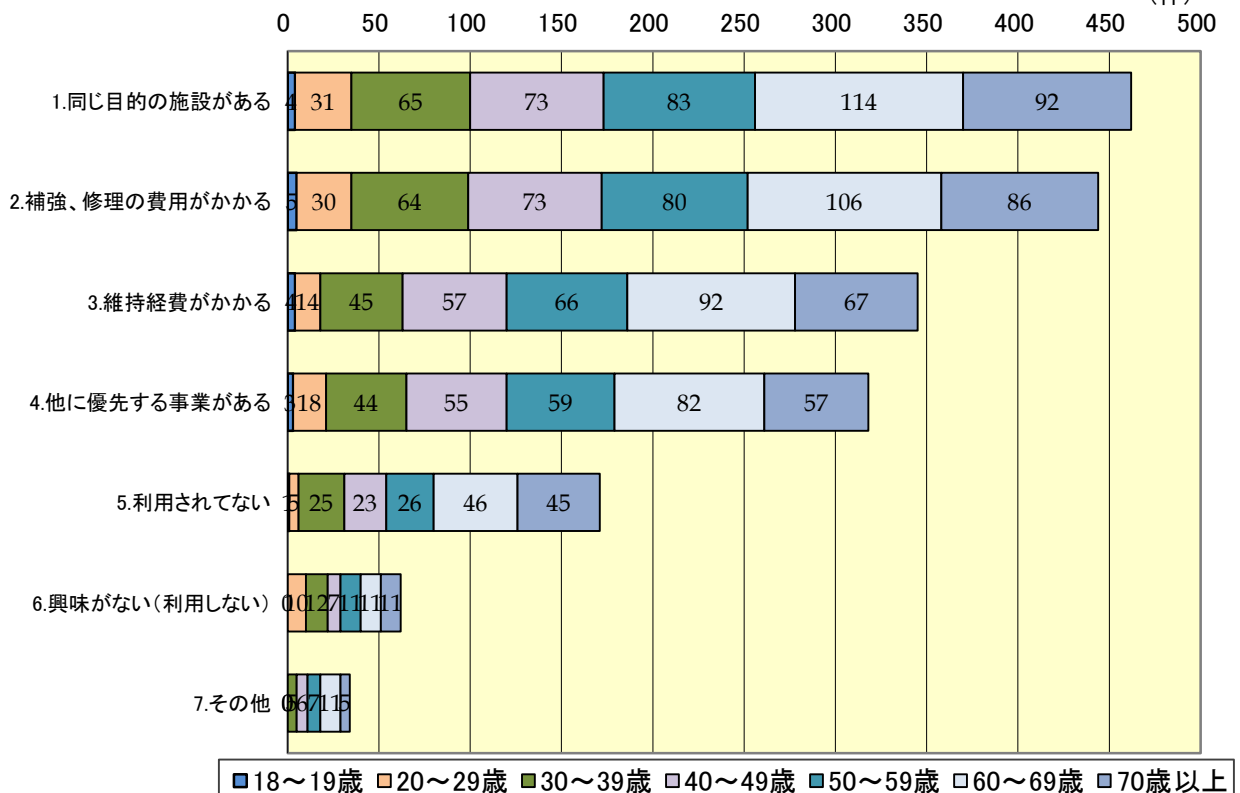


公会堂を存続すべきと思わない人のうち、その理由としては「同じ目的の施設がある」を選んだ人の割合が83.4%で最も高く、次いで「補修、修理の費用がかかる」が80.1%、「維持経費がかかる」が62.3%となっています。男女別、年代別にみても、ほぼ同様の傾向にあるといえます。



<年代別クロス集計>

(件)



8 総合的検討について

総合文化の象徴として建設された米子市公会堂は、1円募金で市民が建設費用を負担した経緯もあり、市民に身近で親しみのある施設として、建設以来52年間に亘って、文化や市民活動を支えてきた。しかしながら、時代の変化の中で、類似施設も増え、利用にも変化が生じてきた。

平成22年3月には、建築物としての耐震不足が明らかになり、使用停止のやむなきに至った。一般的な耐震補強をするとした場合の概略的な補強案を基に、概算工事費が約13億6,500万円見込まれるとしていたが、その後の検討により、耐震補強後も長く使用するためには、劣化改修も併せて行う必要があり、その工事費も合わせると、約14億2,200万円が必要と見込まれる。

公会堂の本来目的としての文化的側面のなかで、文化活動への影響では、本市のホール数、人口当たりの席数など全国的にも高い水準にあり、公会堂での活動を他のホールで代替することは可能なものも多いたが、実際に利用団体から代替の状況を聞いたところ、収容人数やホールの特性から活動への影響を心配する声もある。

歴史的側面では、1円募金の市民の思いやこれまでの文化への寄与は大きいものがあるが、文化財としては、50年を経過したに過ぎず、現時点で、国の重要文化財指定の可能性は低く、将来の指定に関しても推測の域を出ず、結論付けることは不可能である。

都市機能の面では、公会堂は、周辺に多くの商業施設等が立地、集積し、米子市のランドマークとしての役割も担い、交通アクセスも整備された中心市街地最大の集客エリアを形成している。

公会堂の使用停止では、公会堂利用に連動する「休日の歩行者通行量」や「近隣駐車場」等で少なからず影響が生じているものと推定される。

今後のまちづくりについては、公会堂と周辺商業施設との依存関係が以前と同様に強固であるとは言い切れないので、公会堂の存続又は廃止に関わらず、さらに周辺の商業施設等と連携して新たなにぎわいが創出できる使用形態を模索することが肝要と考える。

財政面では、景気後退の影響を受け、税収などの歳入が低迷する中で、扶助費や繰出金などの義務的経費は増加しており、市の財政は厳しい状況にある。既存施設のあり方については、既存施策・事業の必要性の再検証、スクラップ・アンド・ビルド等の視点を持って検討していくべきである。本改修事業については、投資的事業としての優先度、必要性を精査しながら対応の可否を判断していく必要がある。

公の施設のあり方の側面からは、厳しい財政状況を踏まえれば、既存施設

について、すべてを今までどおり存続していくことには無理があり、将来世代に対して、真に必要な施設は良好な状態で残し、逆に不要・過大な施設は見直しを積極的に進めるべきである。

また、公会堂に対する市民の意識の傾向や意見等を把握するため、10月から11月にかけて、無作為抽出した市民3,000人を対象に「公会堂に関する市民アンケート」を実施したところ、有効回収数は1,452件(有効回収率48.4%)にのぼり、今年の2月に同様の方法で実施した「まちづくりに関する市民アンケート」の有効回収数が1,099件(有効回収率36.6%)であったのと比べると回収率は非常に高く、市民から大きな関心が寄せられたものであると考えられる。

集計の結果、「公会堂を存続すべきだと思いますか」という質問に対し、「思う」と回答した人は45.4%、「思わない」が38.2%、「わからない」が15.8%であった。

存続すべきと思う理由としては、「米子市のシンボルだと思うから」が65.7%で最も多く、そのほか「米子市の文化芸術活動に影響があると思うから」が65.4%、「建築物としての魅力や価値があると思うから」が63.0%と同程度で続いており、存続の形態としては、「現在の公会堂を耐震補強して残す」という回答が73.0%で最も多かった。

一方、存続すべきと思わない理由としては、「文化ホールなど同じような目的の施設が他にあるから」が83.4%で最も多く、そのほか「補強、修理工事に多額の費用がかかるから」が80.1%、「今後、経費をかけて施設を維持していくのが難しいと思うから」が62.3%と続いている。

また、全体的な傾向として、例えば「公会堂が米子市のシンボルだと思いますか」「公会堂に愛着をもちていますか」といった質問に対して18歳、19歳及び40代以上の年代と20代及び30代の年代とでは意識傾向に明らかな違いが見られるように、性別による意識の違いよりも、年代による違いの方がより顕著に現れていた。

以上検討の結果、改修存続の場合、市民の活動、特に文化的な活動が維持されることはもちろん、周辺の商業施設とともに中心市街地における集客拠点としての機能を引き続き担っていくこととなる。

また、耐震補強工事費用、今後も続く施設の維持管理費用、将来の改修費用も要することを考慮すると、存続改修する場合は、避難所指定をし、国庫補助金の対象事業として整備する方が実質的な財政負担の軽減につながることに留意すべきである。また、行政の責務として運営管理体制に積極的に関わり、維持管理費用のさらなる効率化や利用の促進に努めることも必要であ

る。

廃止し、解体、跡地利用をする場合、使用停止が市民活動やまちづくりに影響を及ぼしていると推定される中、跡地が放置される状態が続けば、本市のまちづくりに対する影響の範囲や度合いが甚大なものとなる可能性がある。さらに、過去から将来へ市の発展のために最も有効活用を求められる場所であって、防災や景観上にも問題があることから、跡地を放置することは避けなければならない。

したがって、跡地を利活用する必要があるが、文化施設と周辺の商業施設との相乗効果が強固であるとは必ずしも言い切れなため、ホールにとらわれず、周辺の商業施設等と連携して新たなにぎわいを創出し、将来の米子市の発展の礎となる利活用を模索する必要があると思われる。

この場合に、市民のホールに関する文化活動などが衰退を心配する声があるほか、新たな他目的の利活用に伴う整備費用が改修存続の費用を上回ったり、新たに創出される賑わいの効果が不透明であるという課題もある。

以上、ひとつの結論には至らないが存廃それぞれの課題を指摘し、報告とするものである。

米子市公会堂耐震問題等対策本部設置要綱

(設置)

第1条 米子市公会堂(以下「公会堂」という。)の耐震診断の結果を受け、耐震補強の実施その他当該耐震診断の結果を踏まえての対策についての調査及び検討を行うため、米子市公会堂耐震問題等対策本部(以下「対策本部」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 対策本部は、次に掲げる事項について調査し、及び検討する。

公会堂の今後の使用に関すること。

公会堂の使用の申込みをした者への対応に関すること。

指定管理者との協議に関すること。

市民に対する情報の提供に関すること。

公会堂の今後のあり方に関すること。

2 対策本部は、前項の規定により行った調査及び検討の結果を取りまとめたときは、その都度、これを市長に報告するものとする。

(組織等)

第3条 対策本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。

2 本部長は、副市長をもって充て、副本部長は、教育委員会教育長をもって充てる。

3 本部長は、会務を総理する。

4 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。

5 本部員は、別表に掲げる者をもって充てる。

(会議)

第4条 対策本部の会議(以下「会議」という。)は、本部長が招集し、本部長が議長となる。

2 対策本部は、必要があると認めるときは、本部員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 対策本部の庶務は、教育委員会事務局文化課において処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、対策本部の運営に関し必要な事項は、本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成22年3月26日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年10月8日から施行する。

別表（第3条関係）

総務部長

企画部長

建設部長

教育委員会事務局長

総務部防災安全課長

総務部財政課長

企画部企画課長

企画部地域政策課長

経済部商工課長

建設部建設企画課長

建設部建築住宅課長

教育委員会事務局文化課長

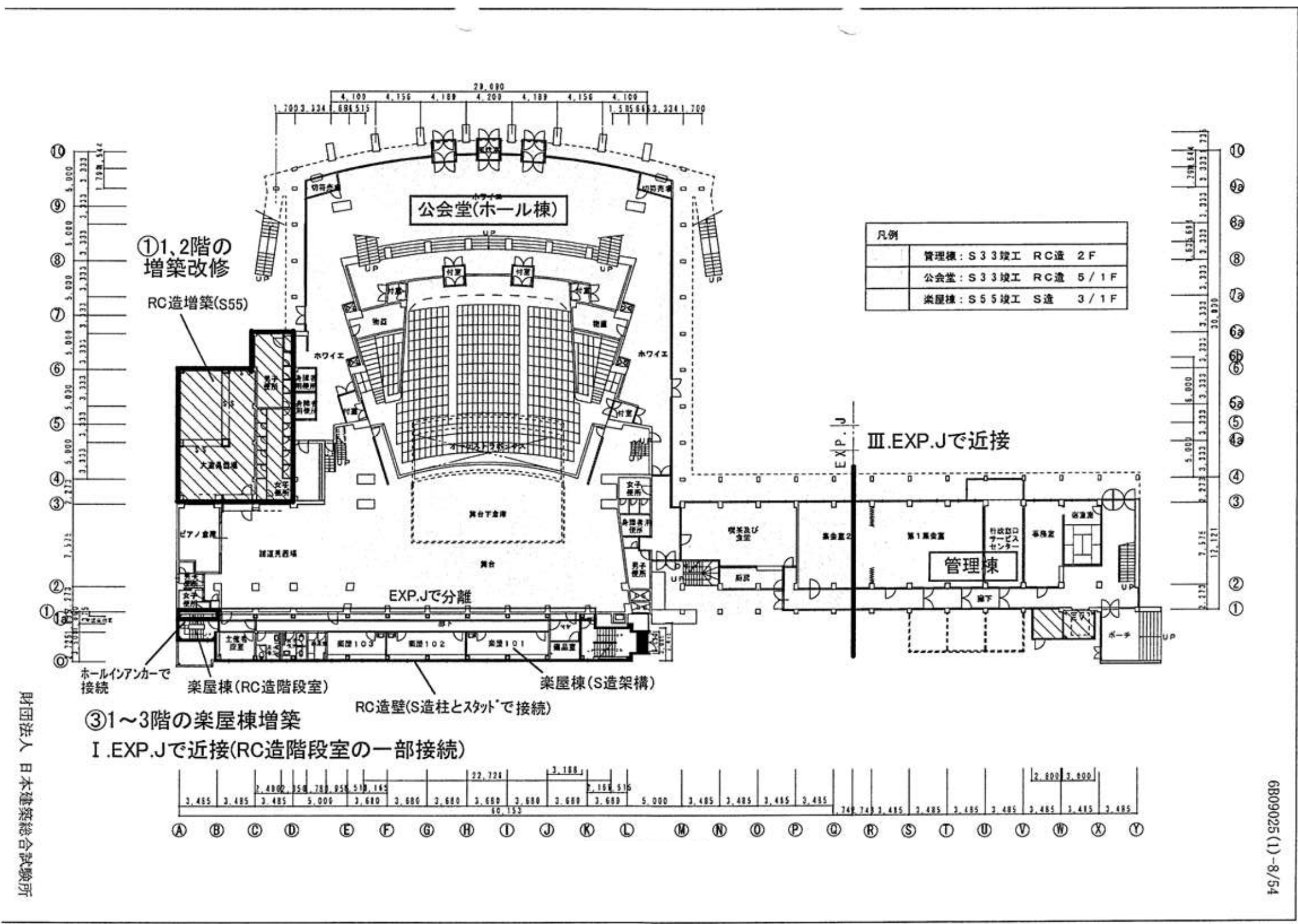
総務部行政経営課法務係長

建設部建築住宅課公共建築係長

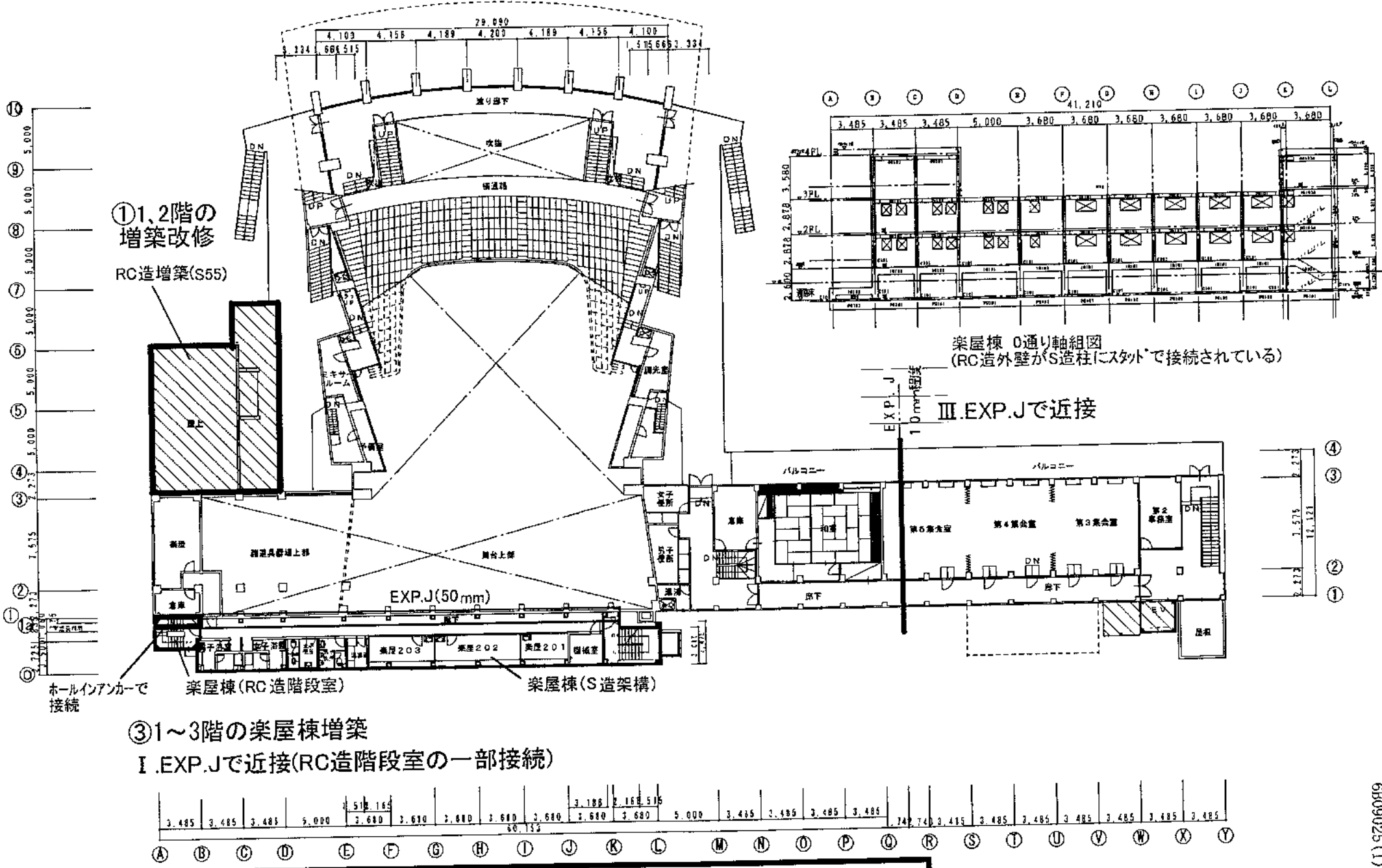
教育委員会事務局文化課文化振興係長

教育委員会事務局文化課に所属する職員のうち、教育委員会事務局文化課長が指名するもの

資料編



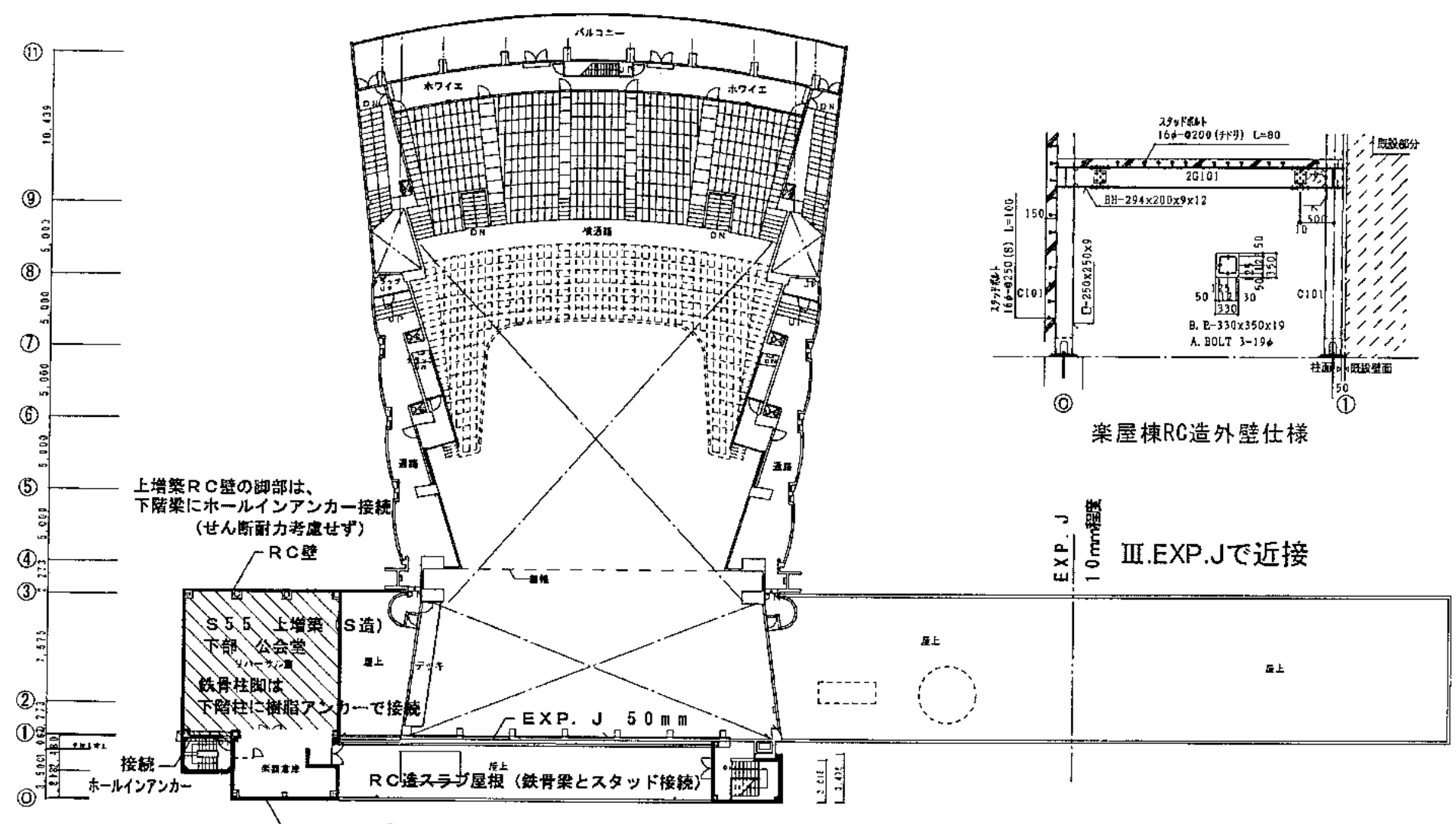
資料1 1階平面図



・S55年増築部の A~B通間のRC造架構は、ホールインアンカーで公会堂(ホール棟)と接合されている。
 B~K通間の鉄骨造架構は、EXP.Jで公会堂(ホール棟)と分離されている。
 B~K通の鉄骨造架構の床および外壁はRC造であり、A~B通間のRC造架構となっている。

GB09025(1)-9/54

資料2 2階平面図、楽屋棟0通り軸組図



楽屋棟RC造外壁仕様

III.EXP.Jで近接

上階RC壁の脚部は、
下階梁にホールインアンカー接続
(せん断耐力考慮せず)

RC壁
RC造スラブ屋根(鉄骨梁とスタッド接続)

③1~3階の楽屋棟増築
II.公会堂(ホール棟)上部にある3階S造柱、RC造壁脚部がアンカーで接続

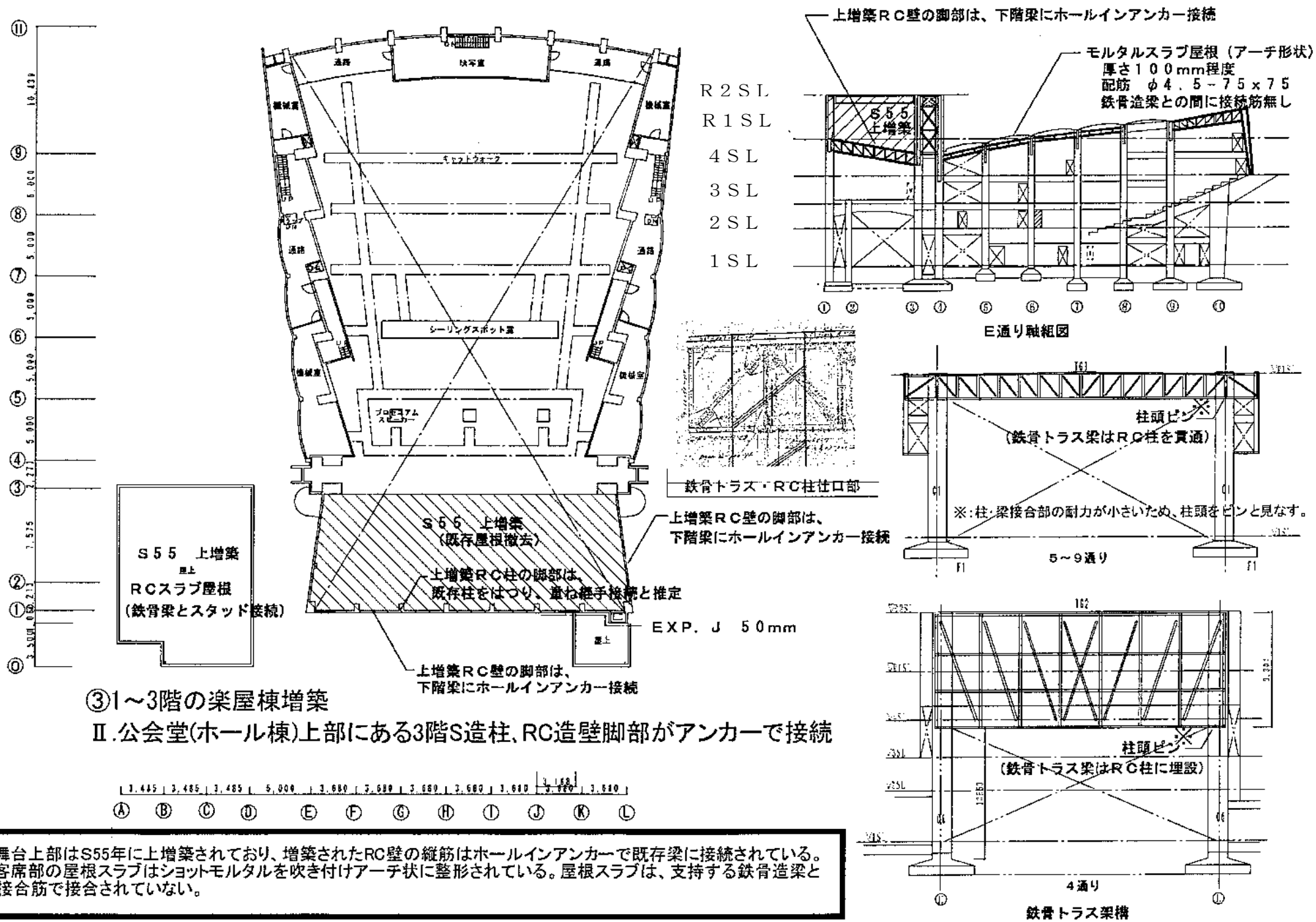
3,415	3,485	3,485	5,000	3,680	3,680	3,640	3,640	3,680	3,680	3,680	3,180	3,680	5,200	3,485	3,485	3,485	3,485	742.74	3,485	3,485	3,485	3,485	3,485	3,485	3,485
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	

①~③通間のS55年鉄骨造上増築部は、0~1通間の増築架構と一体となっている。

財団法人 日本建築総合試験所

GB09025(1)-10/54

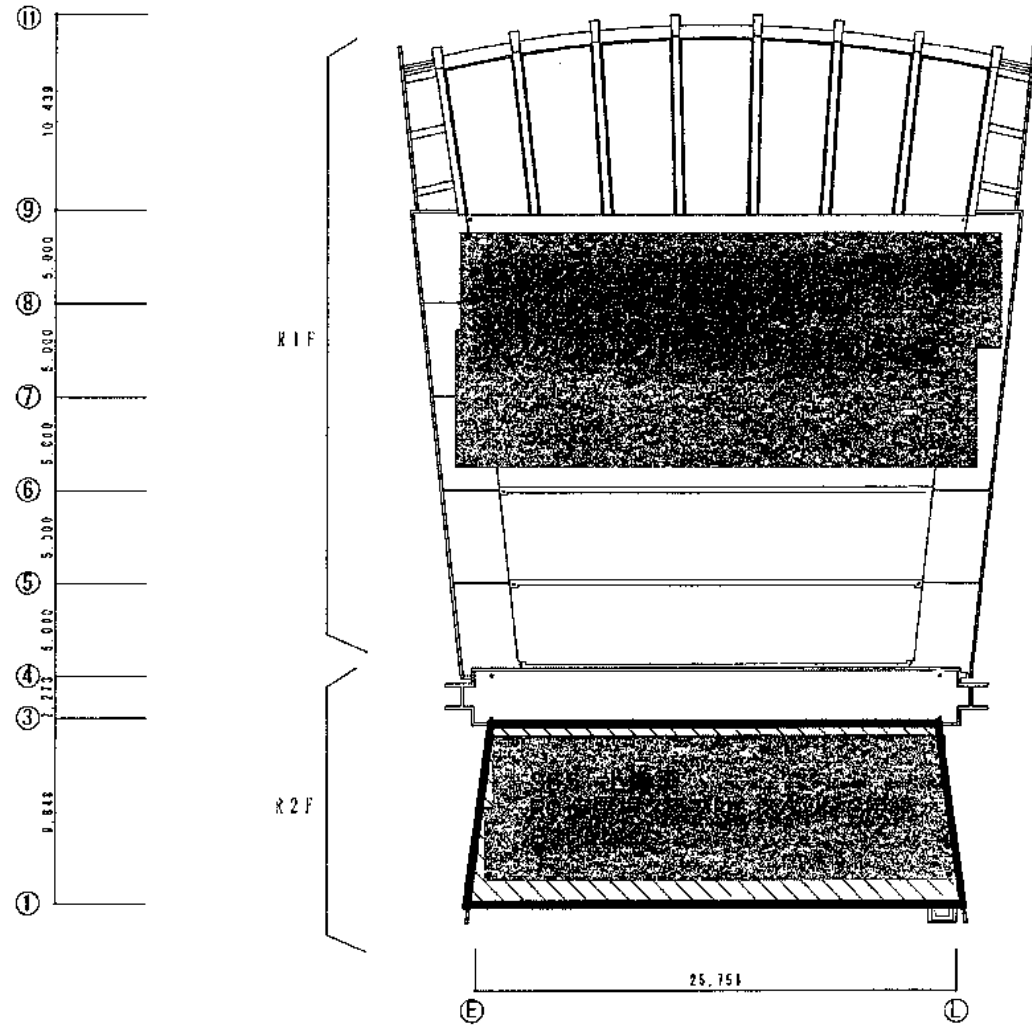
資料3 3階平面図、楽屋棟鉄筋コンクリート造外壁仕様



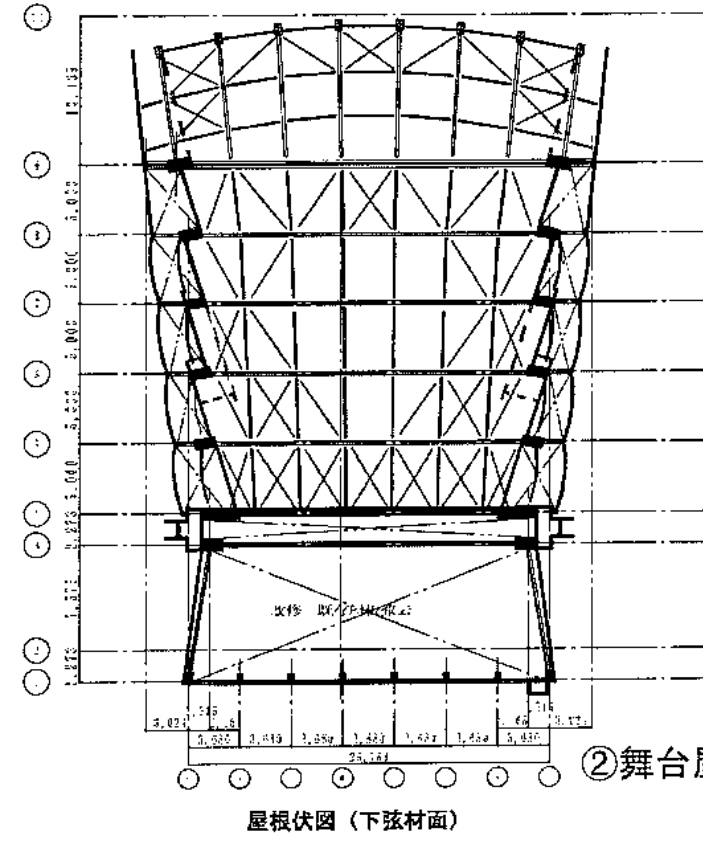
財団法人 日本建築総合試験所

GB09025(1)-11/54

資料4 4階平面図、E・4・5~9通り軸組図、鉄骨トラス・鉄筋コンクリート柱仕口部

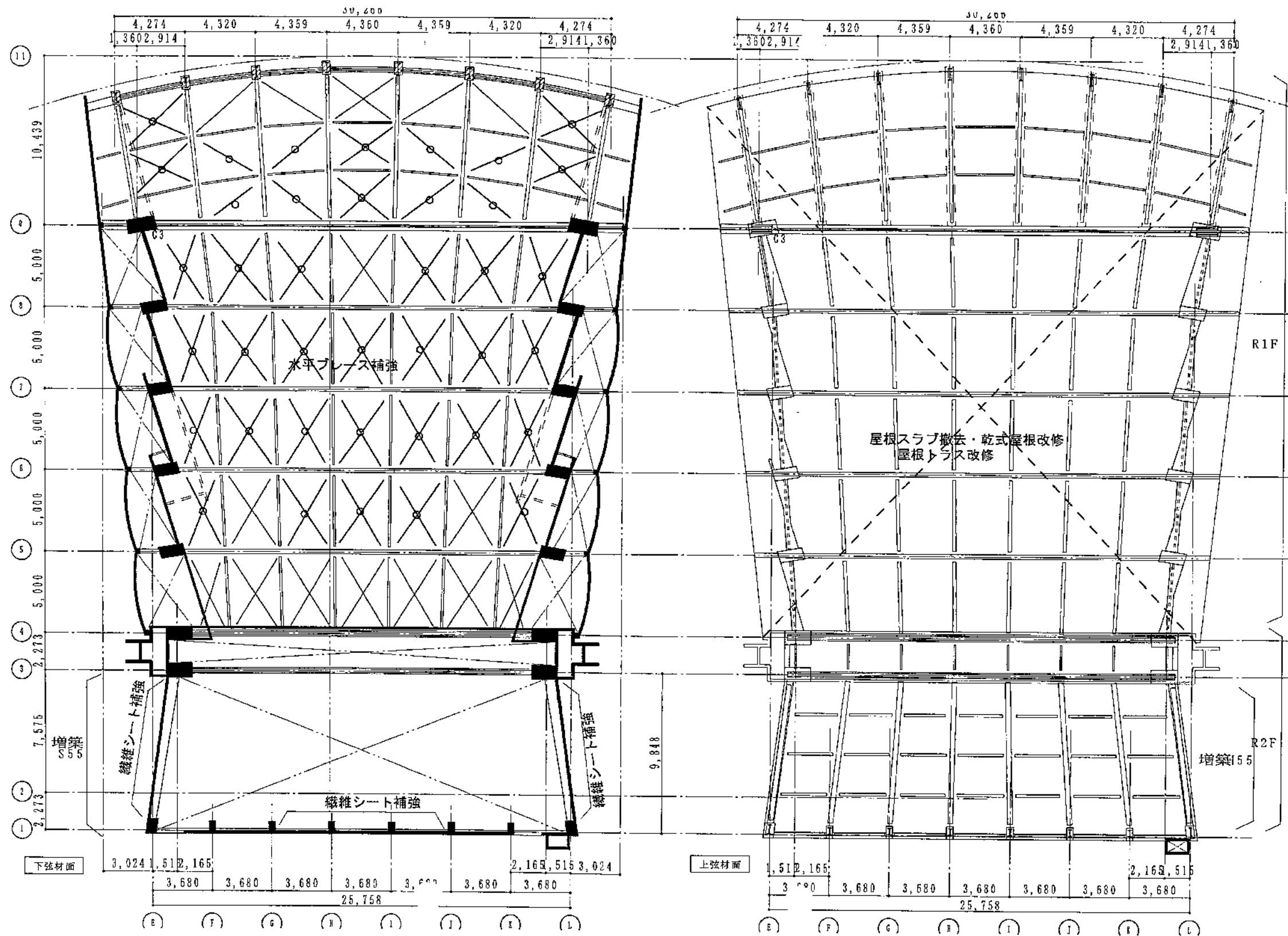


②舞台屋根の増築

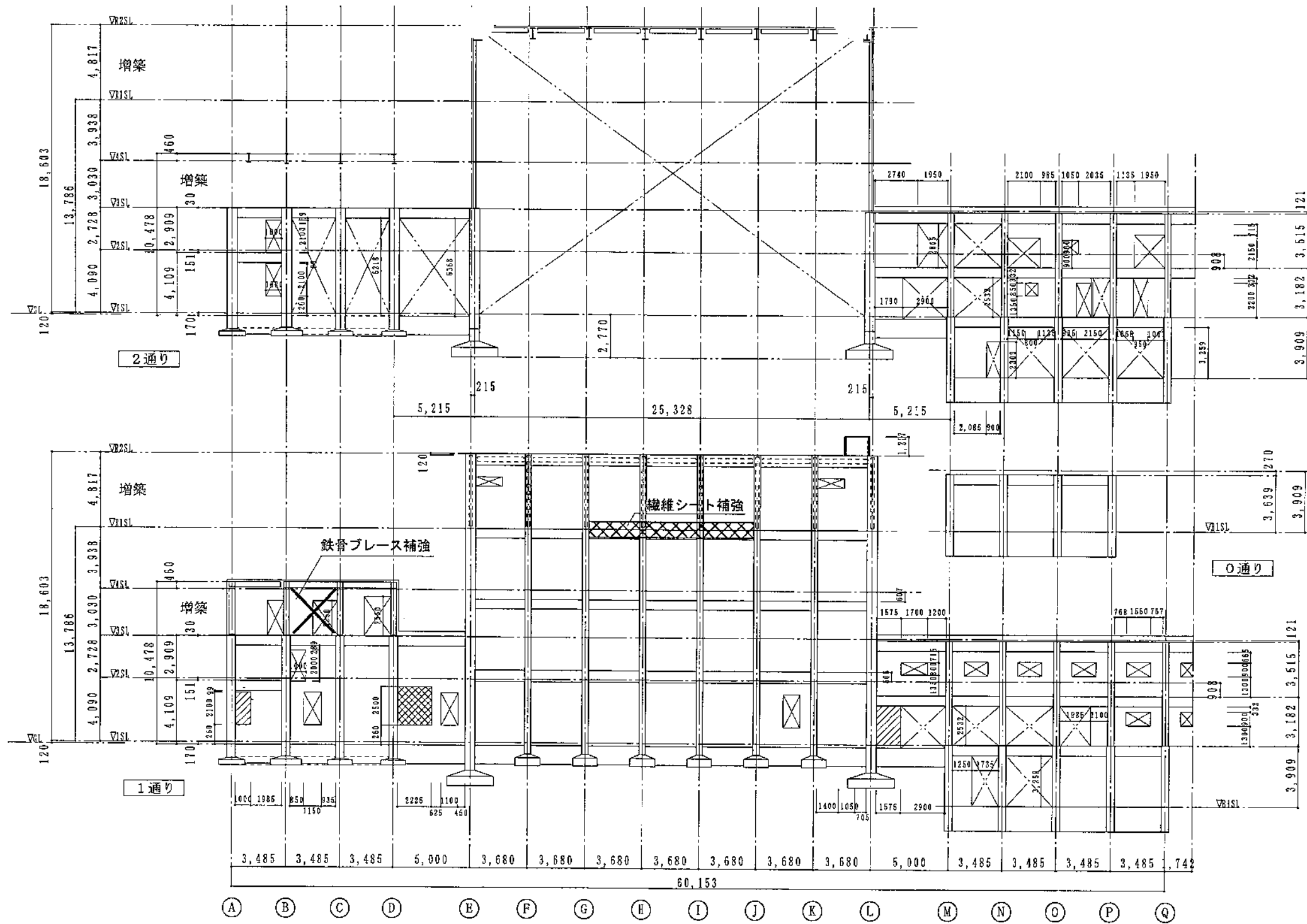


②舞台屋根の増築

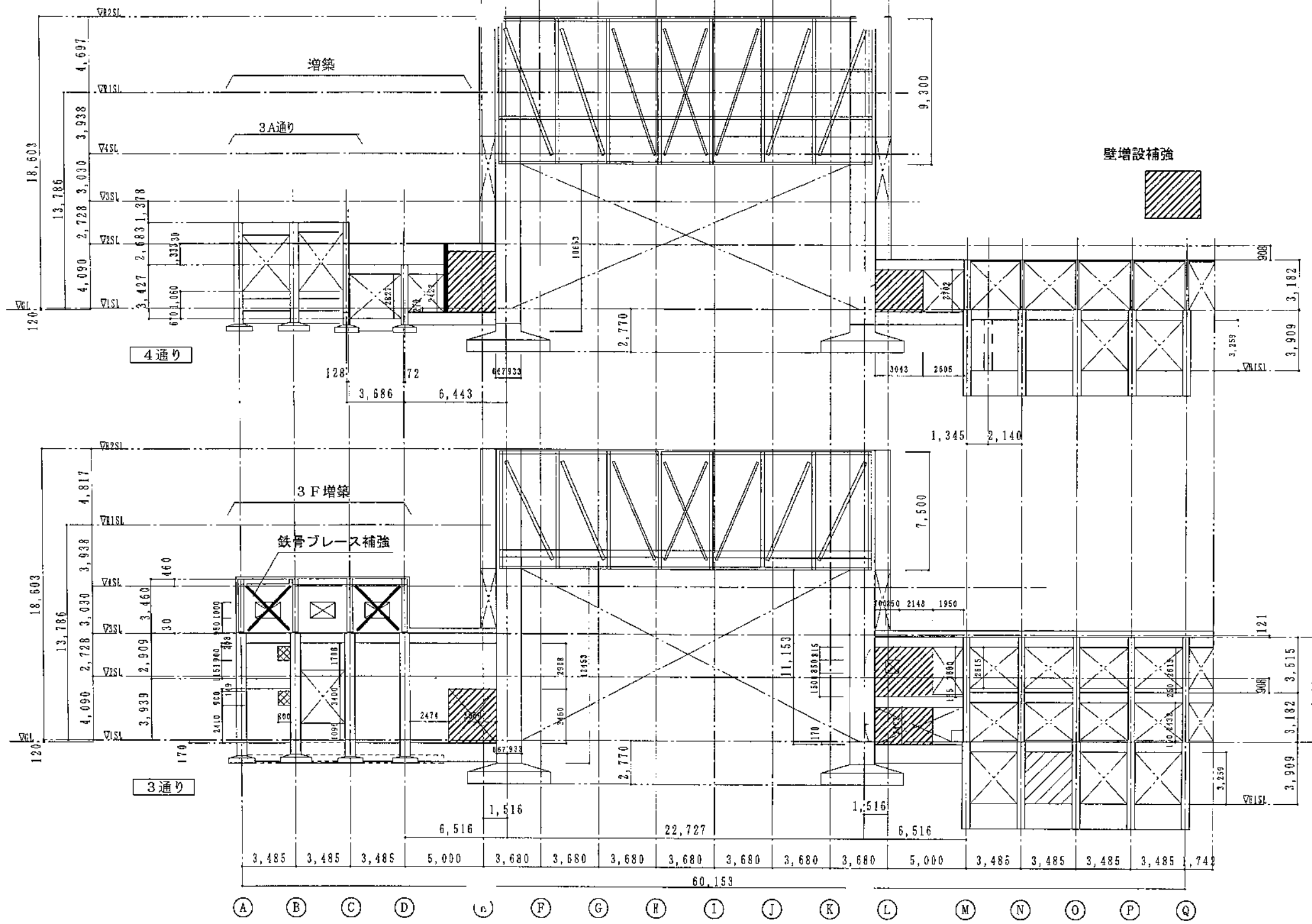
屋根伏図 (下弦材面)



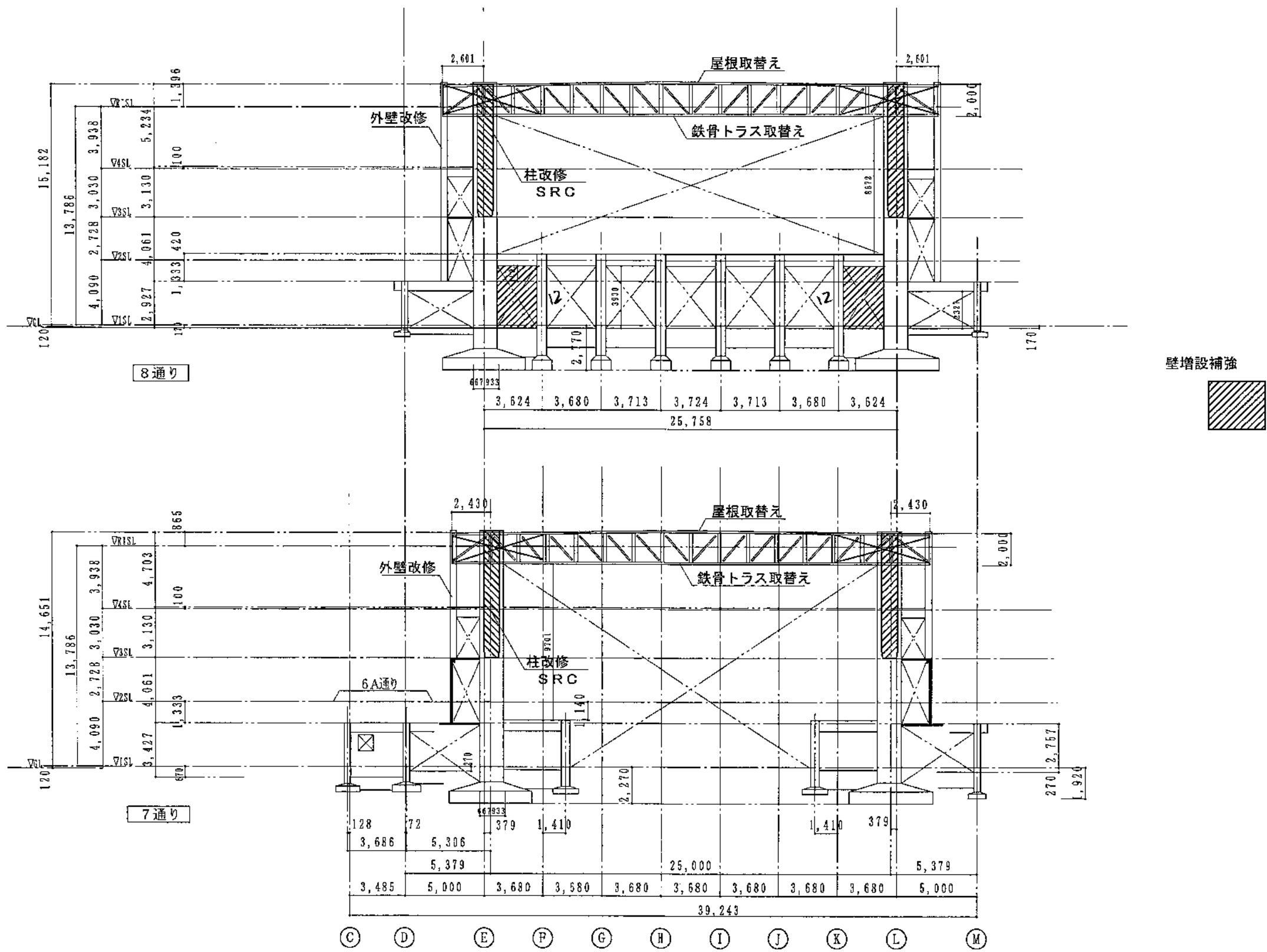
資料6 ホール棟 屋根伏図



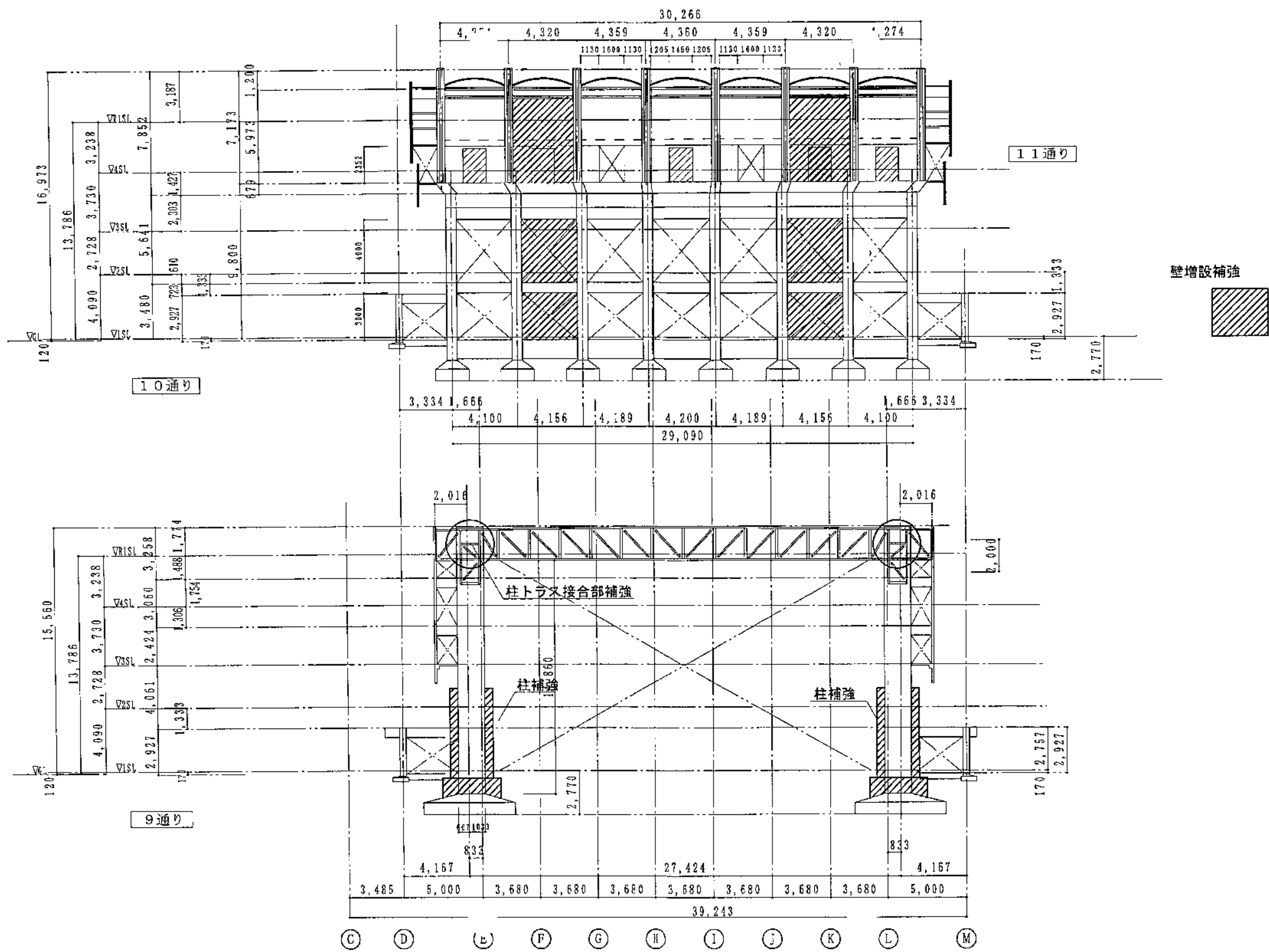
資料7 ホール棟 0・1・2通り軸組図



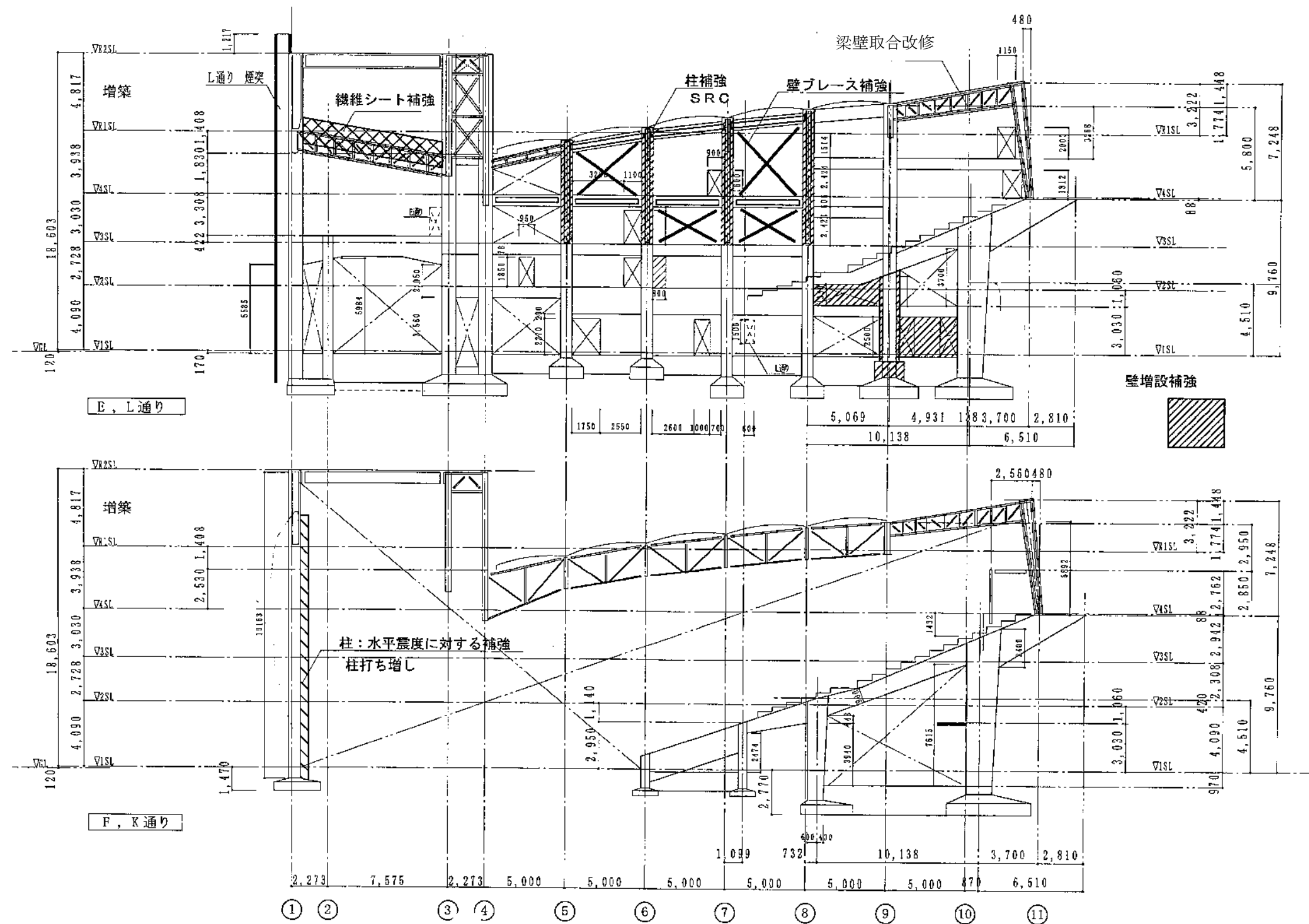
資料8 ホール棟 3・4通り軸組図



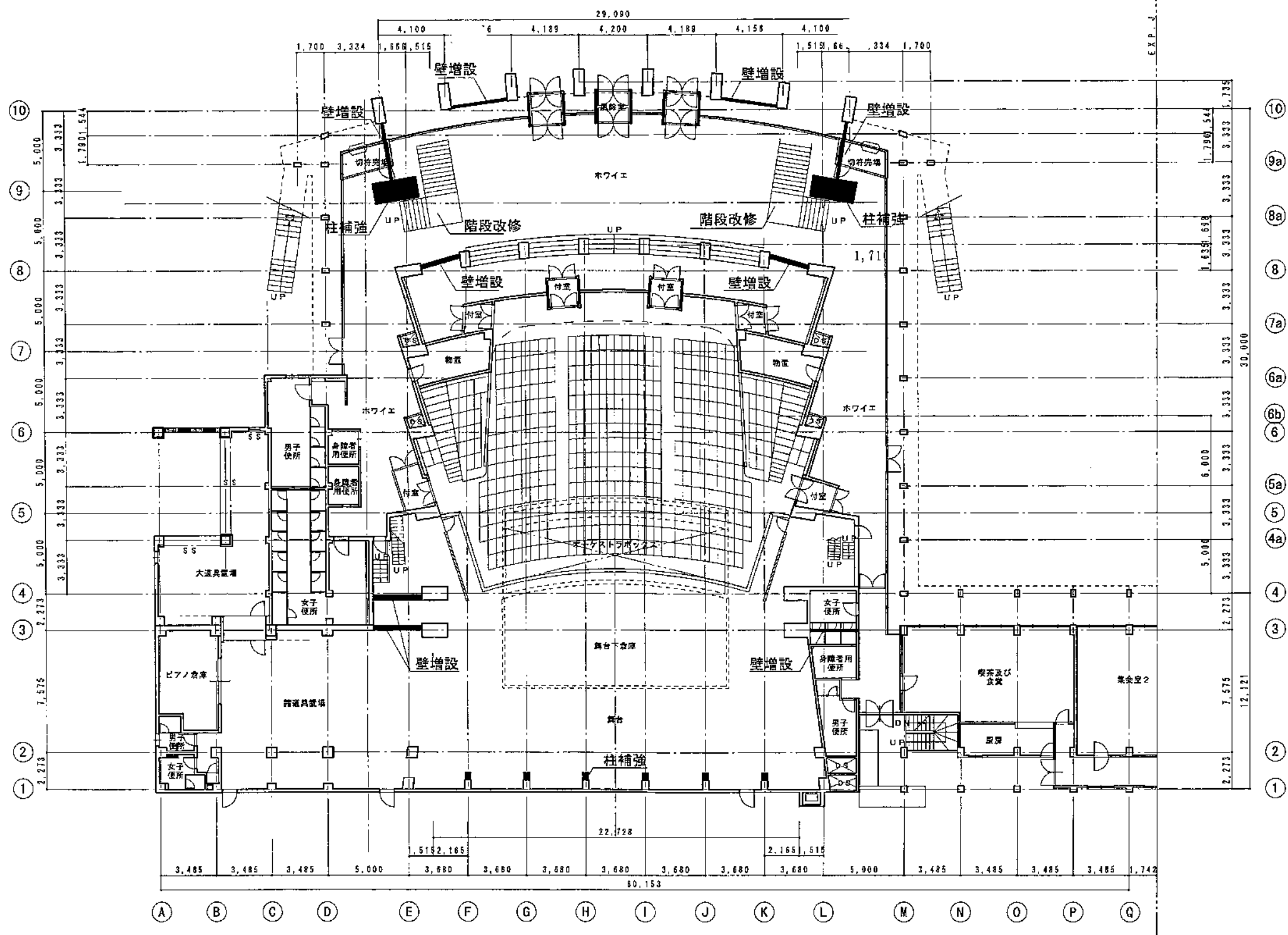
資料9 ホール棟 7・8通り軸組図



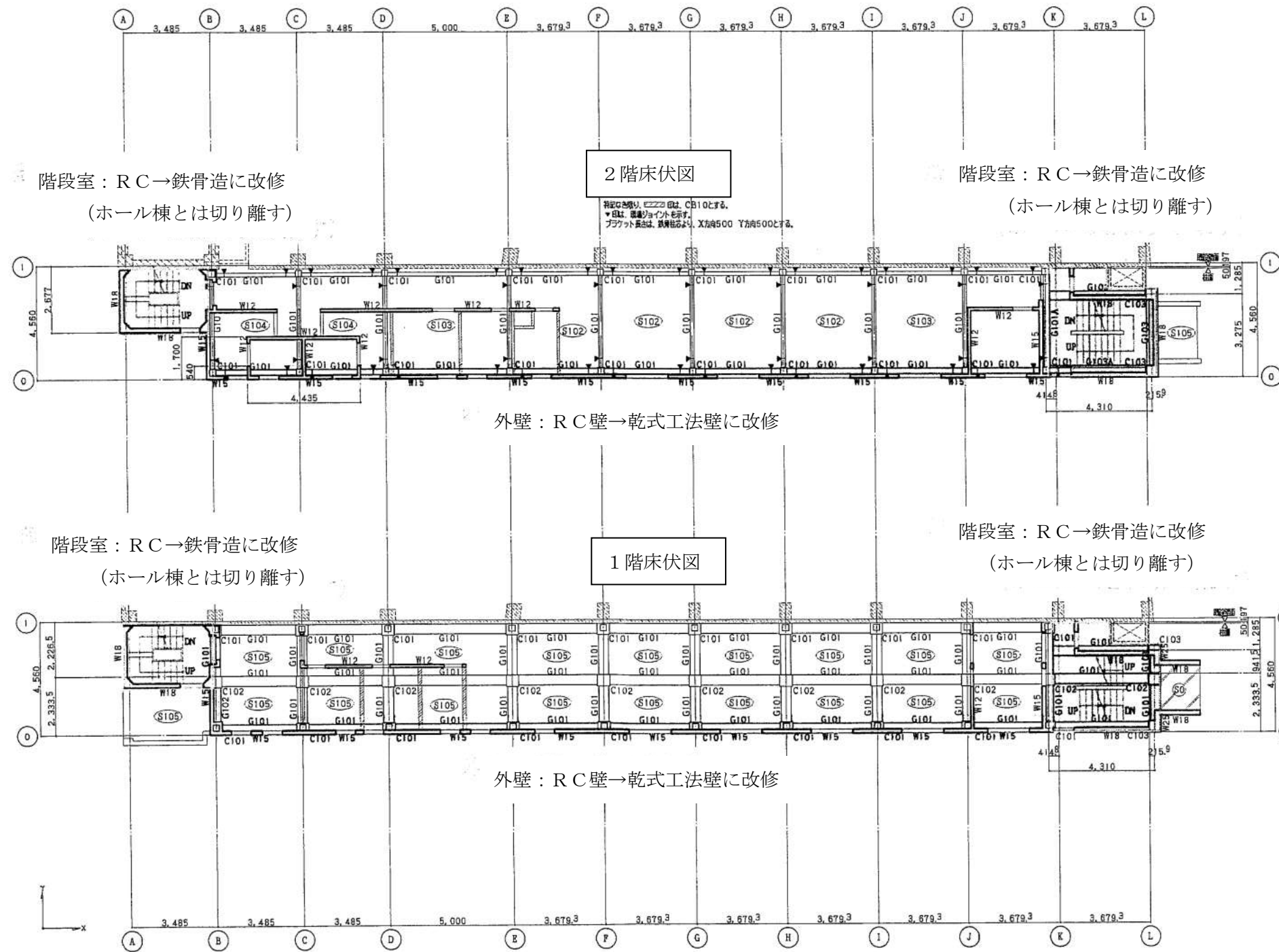
資料10 ホール棟 9・10・11通り軸組図



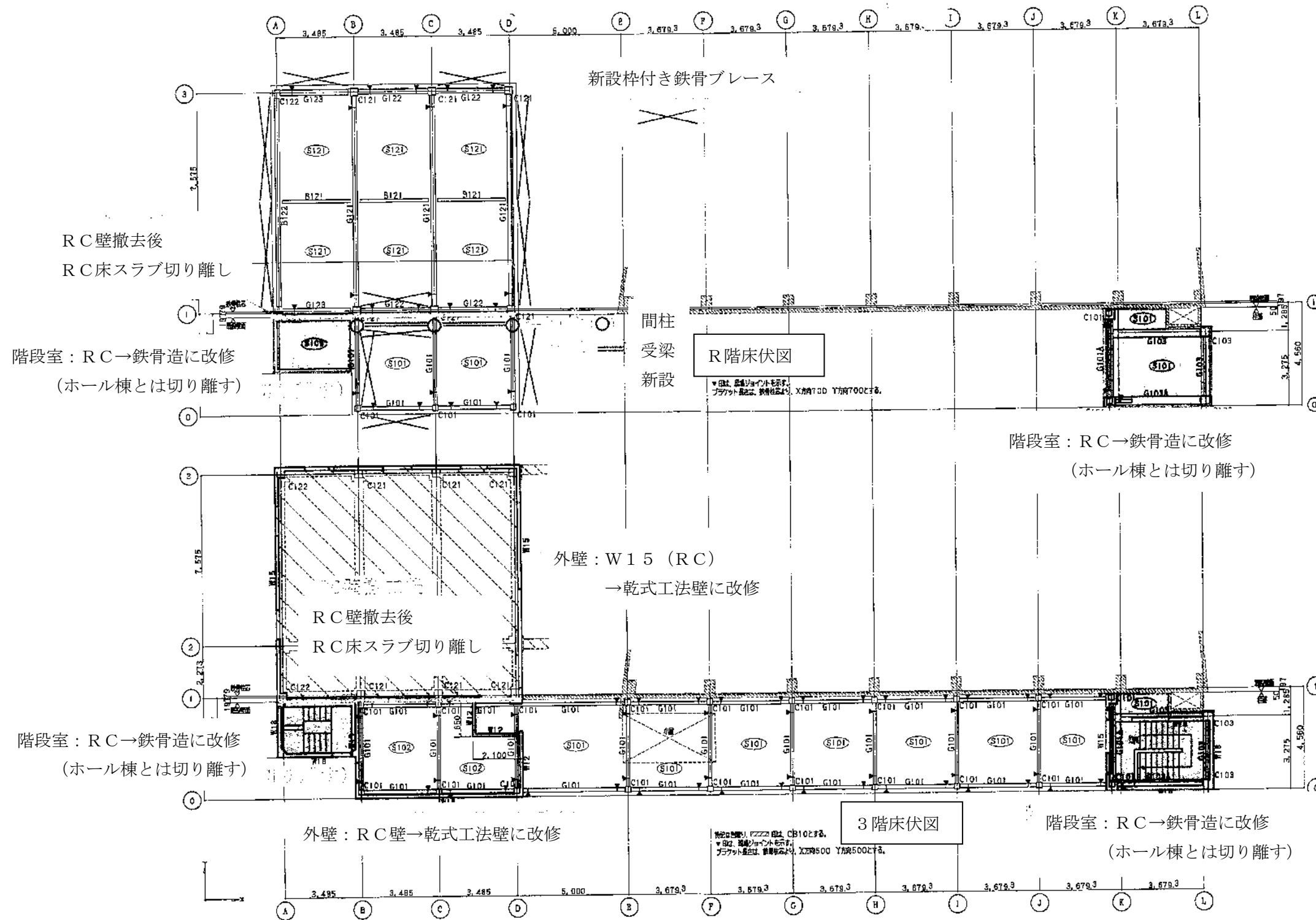
資料12 ホール棟 E・F・K・L通り軸組図



資料13 ホール棟 1階平面図

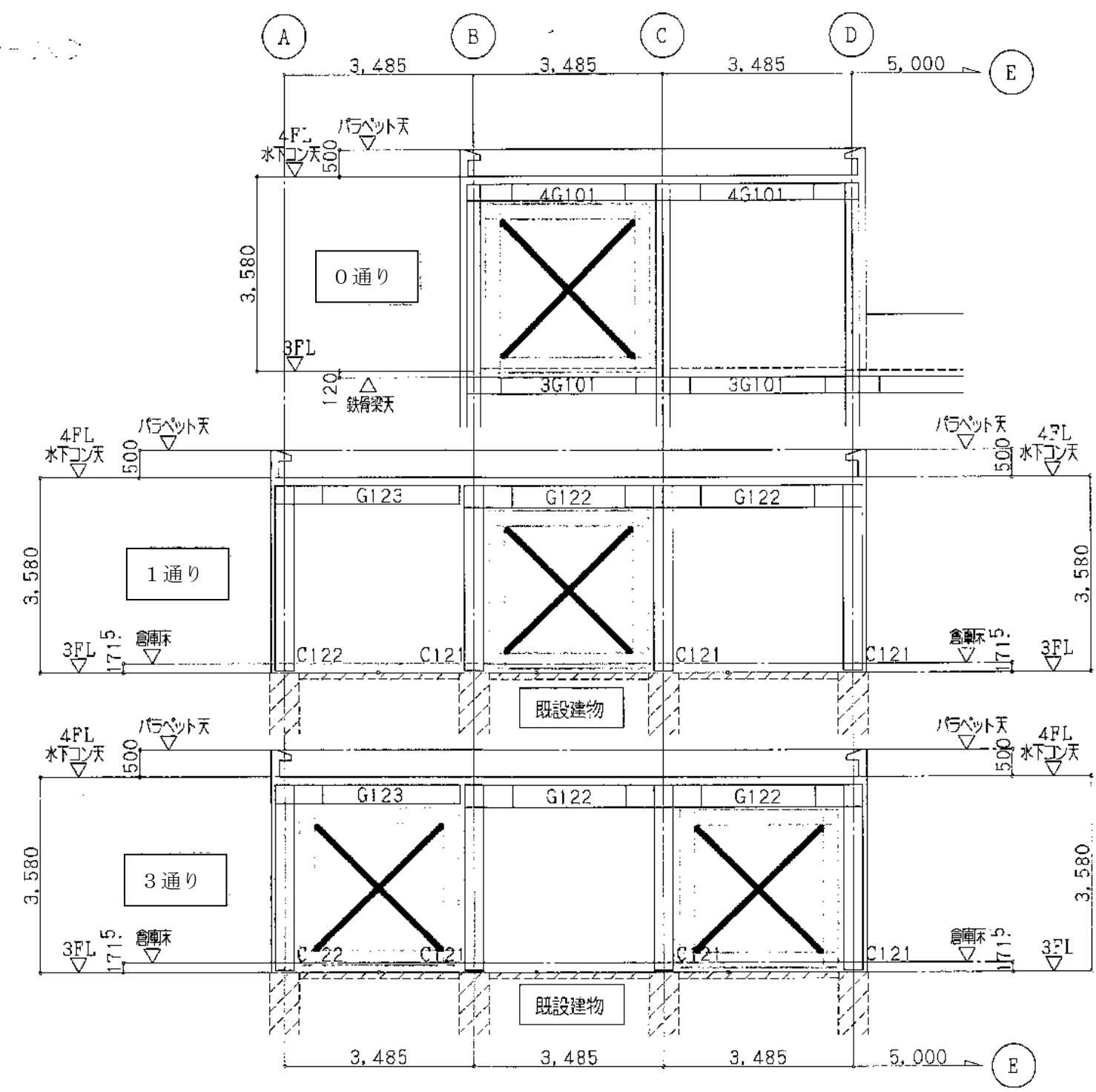


資料14 楽屋棟 1・2階床伏図



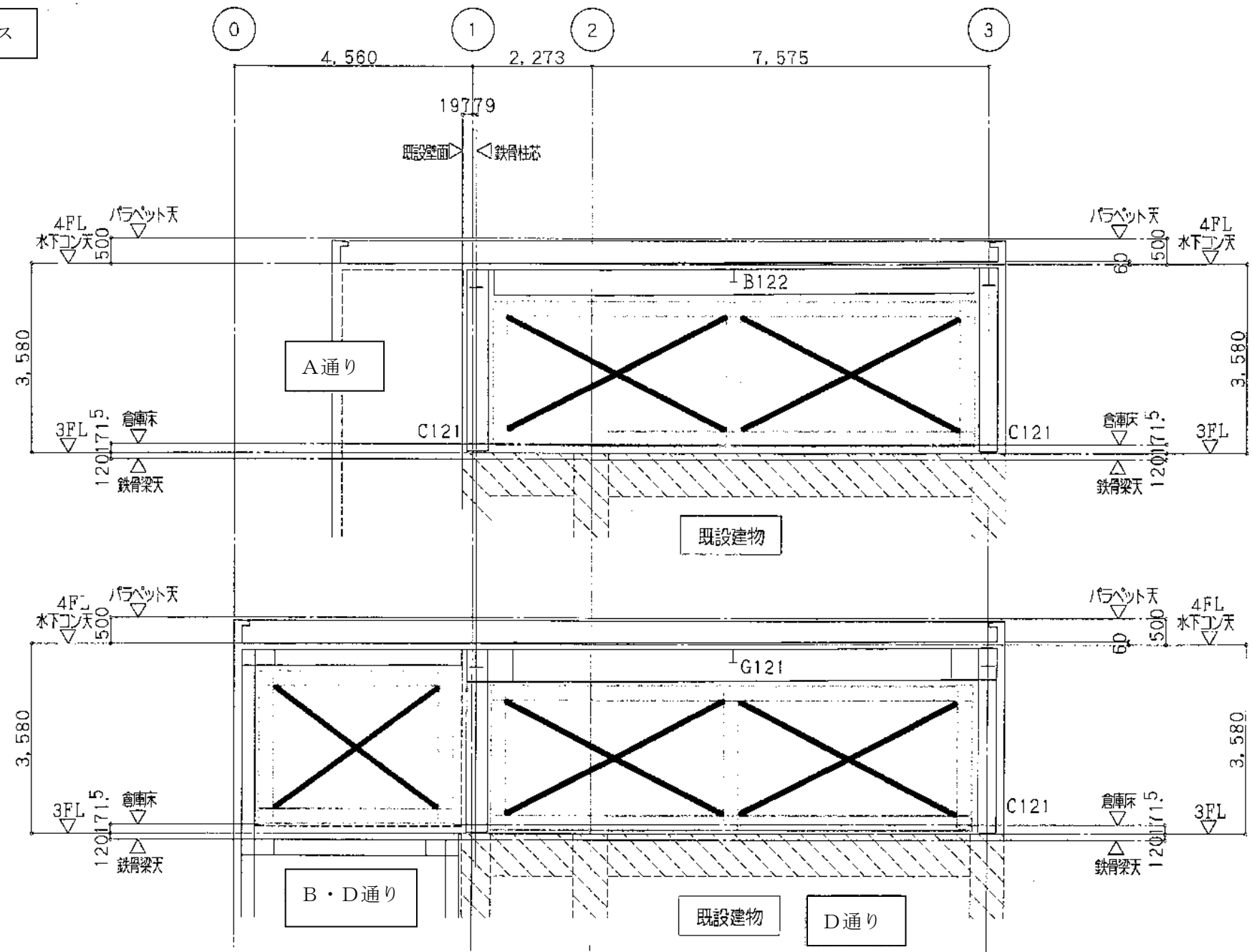
資料15 楽屋棟 3・R階床伏図

X方向 補強ブレース



資料16 楽屋棟 0・1・3通り3階軸組図

Y方向 補強ブレース



資料17 楽屋棟 A・B・D通り3階軸組図

資料 1 8 免震工法と制震工法

	免震工法	制震工法
工法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の周期を伸ばす積層ゴムとエネルギーを吸収するダンパーを付加している。 ・基礎免震又は中間免震がある。 ・居住性は制震より優れている。 ・地震対策、交通振動対策等に有効。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーを吸収するダンパーを付加している。 ・高層鉄筋コンクリート造のように重い建物の場合、各階にダンパーを設置する。 ・タワーのように軽い建物には、最上階にダンパーを設置する。 ・風揺対策、地震対策、交通振動対策等に有効。
適している建物形状	<ul style="list-style-type: none"> ・重くて硬い建物（鉄骨造ラーメン構造は不向き）。 ・塔状比（建物高さ／幅）が、4以下の建物が理想的。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽くてやわらかい建物（耐震壁付構造は不向き）。 ・塔状建物（風揺れ対策等）。
特殊装置	<ul style="list-style-type: none"> ・積層ゴム <ul style="list-style-type: none"> ①天然積層ゴム ②鉛プラグ入り積層ゴム ③高減衰積層ゴム（鉛ダンパー+鋼棒ダンパー+すべり支承） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンパー <ul style="list-style-type: none"> ①間柱型極軟鋼ダンパー（風には、弾性設計） ②粘性ダンパー（粘弾性ダンパー+オイルダンパー）
耐震性能	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震構造の30～50%（半分以下）に地震応答を低減する。 ・家具、什器等の転倒破壊を防ぐ。（ゆっくり揺れる） ・耐震等級3（外力1.5倍）以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震構造の70～80%に地震応答を低減する。 ・家具、什器等の転倒破壊の恐れがある。（激しく揺れる） ・耐震等級2～3。
竣工後の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検（5年、10年、10年毎）および、臨時点検が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検フリー（大地震時には、自主点検を推奨）

資料 19 建造物の文化財指定の現状（平成 22 年 6 月現在）

・国宝指定(近世以前)

近 世 以 前							
種類別	神社	寺院	城郭	住宅	民家	その他	合計
件数	37	154	8	12	0	3	214

・重要文化財指定(近世以前)

近 世 以 前							
種類別	神社	寺院	城郭	住宅	民家	その他	合計
件数	526	693	45	82	341	189	1876

・重要文化財指定(近代)

近 代 （ ）内は国宝の数で重要文化財の内数									
種類別	宗教建築	住居建築	学校建築	文化施設	官公庁舎	商業・業務	近代化遺産	その他	合計
件数	23	73(1)	38	30	21	21	66	5	277(1)

※合計 2,367 件(うち国宝 215 件)

・登録有形文化財(平成 22 年 9 月現在)

登録数 8,146 件

時代別累計

江戸時代以前	明 治	大 正	昭 和	計
1,374	2,674	1,778	2,320	8,146

種別累計

産業	交通	官庁	学校	住 宅	宗教	その他	計
1,945	293	151	255	3,748	990	764	8,146

○重要文化財 建造物指定基準	○登録有形文化財 登録基準
(1) 意匠的に優秀なもの (2) 技術的に優秀なもの (3) 歴史的価値の高いもの (4) 学術的価値の高いもの (5) 流派的又は地方的特色において顕著なもの	建築後 50 年を経過したもののうち (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの (2) 造形の規範となっているもの (3) 再現することが容易でないもの

資料20 村野藤吾作品年譜

番号	西暦	昭和	建築数	記号	作品名	住所	建築百選
1	1928	3	1	▲	南大阪教会	大阪市阿倍野区	
2	1929	4	1	◇	あやめ池温泉場	奈良県奈良市	
3	1931	6	7	○	森五商店東京支店	東京都中央区	
4				◇	神戸大丸舎監の家	兵庫県神戸市	
5				◇	大丸呉服店神戸市店寄宿舍	兵庫県神戸市	
6				◇	近江帆布三瓶工場	愛媛県西予市	
7				▽	木梨邸		
8				▽	岩田邸		
9				▽	砂場邸		
10	1932	7	3	○	加能合同銀行本店	石川県金沢市	
11				○	紙卸商中島商店	石川県金沢市	
12				◇	大阪パシオン	大阪市西成区	
13	1933	8	3	◇	そごう大阪本店第1期	大阪市中央区	
14				◇	キャバレー・アカダマ	大阪市	
15				▽	宗像邸改造工事		
16	1934	9	2	○	中山悦治邸	兵庫県芦屋市	
17				◇	ドイツ文化研究所	京都市左京区	
18	1935	10	3	▲	中山製鋼所事務所	大阪市大正区	
19				◇	そごう大阪本店第2期	大阪市中央区	
20				▽	武智邸		
21	1936	11	5	○	中村健太郎法律経済事務所	大阪市中央区	
22				◇	都ホテル5号館	京都市東山区	
23				◇	大丸神戸店	神戸市中央区	
24				◇	谷口病院	大阪市	
25				◇	近鉄本社旧社屋	大阪市天王寺区	
26	1937	12	8	○	宇部市渡辺翁記念会館	山口県宇部市	
27				○	大庄村役場	兵庫県尼崎市	
28				◇	そごう大阪本店第3期	大阪市中央区	
29				◇	観山ホテル	京都市左京区	
30				◇	大阪商船高砂丸		
31				◇	大阪商船浮島丸		
32				▽	高島屋飯田神戸店	兵庫県神戸市	

33				▽	新栄会住宅	大阪府	
34	1939	14	7	○	宇部銀行本店	山口県宇部市	
35				◇	大阪商船あるぜんちな丸		
36				◇	大阪商船ぶら志る丸		
37				◇	板谷生命ビル	大阪市	
38				▽	都ホテル 中宴会場	京都市東山区	
39				▽	湯浅伸銅工場	大阪府	
40				▽	川崎造船所諸工場		
41	1940	15	4	○	橿原神宮駅舎	奈良県橿原市	
42				◇	中山半邸	兵庫県神戸市	
43				◇	中橋武一郎	大阪市天王寺区	
44				◇	大阪商船報国丸		
45	1941	16	7	○	中林仁一郎邸	京都市東山区	
46				◇	石原産業海運本社	大阪府	
47				◇	日本製鉄八幡製鉄所内諸工場	福岡県北九州市	
48				◇	川崎重工業工場・厚生施設・監督官事務所・総合事務所	兵庫県神戸市	
49				◇	大阪商船愛国丸		
50				▽	宇部油化工業工場諸建物	山口県宇部市	
51				▽	某氏邸	兵庫県神戸市	
52	1942	17	4	○	宇部窒素工業事務所	山口県宇部市	
53				▲	村野自邸	兵庫県宝塚市	
54				◇	大阪商船護国丸		
55				▽	横須賀海軍施設		
56	1943	18	1	◇	海軍将校倶楽部	三重県鈴鹿市	
57	1946	21	2	◇	そごう難波店	大阪市中央区	
58				◇	牧野山の家	滋賀県高島市	
59	1947	22	1	◇	食品市場そごう阿倍野店	大阪市阿倍野区	
60	1949	24	3	◇	観光ホテル丸栄・丸栄ピカデリー劇場	名古屋市中区	
61				◇	公楽会館	京都市下京区	
62				◇	関西大学大学院学舎	大阪府吹田市	
63	1950	25	1	◇	近畿映画アポロ劇場	大阪市阿倍野区	
64	1951	26	4	○	志摩観光ホテル	三重県志摩市	
65				○	やまとやしき百貨店	兵庫県姫路市	

66				◇	東京銀行宝塚クラブハウス	兵庫県宝塚市	
67				▽	高島屋京都店第2期増築	京都市下京区	
68	1952	27	7	○	高島屋東京店第1期増築	東京都中央区	
69				○	関西大学法文学舎第1期	大阪府吹田市	
70				○	関西大学大学ホール・研究室棟・階段教室	大阪府吹田市	
71				○	宇部興産中央研究所	山口県宇部市	
72				◇	東京銀行船場支店	大阪市中央区	
73				◇	そごう大阪本店改装	大阪市中央区	
74				◇	岡谷鋼機大阪支店	大阪市西区	
75	1953	28	8	○	丸栄本館第1次増築	名古屋市中区	
76				○	フジカワ画廊	大阪市中央区	
77				○	南都銀行本店増築	奈良市	
78				◇	千日前グランド劇場	大阪市	
79				◇	宇部興産本社	山口県宇部市	
80				▽	関西大学第2学舎増築	大阪府吹田市	
81				▽	関西大学第1高等学校	大阪府吹田市	
82				▽	高島屋京都店第3期増築	京都市下京区	
83	1954	29	8	○	世界平和記念聖堂	広島市中区	
84				○	高島屋東京店第2期増築	東京都中央区	
85				○	関西大学法文学舎第2期	大阪府吹田市	
86				◇	近映会館	大阪市阿倍野区	
87				◇	近鉄会館	大阪市天王寺区	
88				◇	平和ビル第1棟	北九州市八幡東区	
89				▽	名古屋相互銀行改装	名古屋市	
90				▽	岩木病院		
91	1955	30	5	○	八幡市立図書館	北九州市八幡東区	
92				○	ドウトン	大阪市中央区	
93				○	関西大学図書館増築	大阪府吹田市	
94				○	関西大学法文学舎第3期	大阪府吹田市	
95				▽	阿倍野ビル	大阪市阿倍野区	
96	1956	31	6	○	丸栄本館第2次増築	名古屋市中区	
97				○	森五商店東京支店増築	東京都中央区	
98				◇	心斎橋プランタン	大阪市中央区	
99				◇	神戸新聞会館	神戸市中央区	

100			◇	出光興産蛸殻町給油所	東京都中央区		
101			▽	高島屋京都店第4次増築	京都市下京区		
102	1957	32	11	○	富田屋	大阪市中央区	
103				○	宇部銀行本店増築	山口県宇部市	
104				○	読売会館・そごう東京店	東京都千代田区	
105				○	東京丸物	東京都豊島区	
106				▲	村野邸増築	兵庫県宝塚市	
107				○	やまとやしき百貨店増築	兵庫県姫路市	
108				◇	近鉄百貨店阿倍野本店第1次増築	大阪市阿倍野区	
109				◇	六甲学院体育館・講堂	神戸市灘区	
110				◇	吉本梅田劇場	大阪市	
111				◇	レストラン・アラスカ	東京都中央区	
112				▽	関西大学第3学舎	大阪府吹田市	
113	1958	33	9	○	大阪新歌舞伎座	大阪市中央区	
114				○	米子市公会堂	米子市	○
115				○	八幡市民会館	北九州市八幡東区	
116				○	新大阪ビルヂング	大阪市北区	
117				◇	妙心寺花園会館	京都市右京区	
118				◇	大信紡績ビル	名古屋市	
119				◇	風月堂	東京都中央区	
120				◇	旧歌舞伎会館増改築	大阪市中央区	
121				▽	都ホテルスカイルーム	京都市東山区	
122	1959	34	12	○	都ホテル佳水園	京都市東山区	
123				○	泉州銀行本店	大阪府岸和田市	
124				○	横浜市庁舎	横浜市中区	
125				○	中川邸	大阪市住吉区	
126				○	宝塚ゴルフ倶楽部	兵庫県宝塚市	
127				○	比叡山回転展望閣	京都市左京区	
128				○	日本シエーリング	大阪市淀川区	
129				▲	高木産業ビル	大阪市中央区	
130				◇	小倉市中央公民館	北九州市小倉北区	
131				◇	指月亭	東京都港区	
132				▽	関西大学工学部実験実習場	大阪府吹田市	
133				▽	関西大学法・文学部研究室	大阪府吹田市	

134	1960	35	7	○	都ホテル新本館	京都市東山区	
135				○	志摩観光ホテル西館	三重県志摩市	
136				○	輸出繊維会館	大阪市中央区	
137				◇	出光興産谷町給油所	大阪市中央区	
138				▽	関西大学第4学舎	大阪府吹田市	
139				▽	吉本ビル	大阪市中央区	
140				▽	毎日興業ビル	山口県周南市	
141	1961	36	3	◇	今橋なだ万	大阪市中央区	
142				◇	出光興産新宿給油所	東京都新宿区	
143				◇	出光興産宇都宮支店	栃木県宇都宮市	
144	1962	37	12	○	尼崎市庁舎	兵庫県尼崎市	
145				○	関西大学特別講堂	大阪府吹田市	
146				○	早稲田大学文学部	東京都新宿区	
147				○	森田ビルディング	大阪市中央区	
148				○	新梅ヶ枝ビル	大阪市北区	
149				◇	出光興産九州支店	福岡市中央区	
150				◇	出光興産高松給油所	香川県高松市	
151				▽	関西大学誠之館1-3号館	大阪府吹田市	
152				▽	出光興産北海道支店	札幌市	
153				▽	出光興産旧清水支店	静岡県清水区	
154				▽	出光興産川崎給油所	神奈川県川崎市	
155				▽	出光興産千葉給油所	千葉市	
156	1963	38	15	○	高島屋東京店第3期増築	東京都中央区	
157				○	日本生命日比谷ビル	東京都千代田区	
158				○	熊本市水道局庁舎	熊本市	○
159				○	関西大学総合体育館	大阪府吹田市	
160				○	高知県知事公邸	高知市	
161				○	梅田吸気塔	大阪市北区	
162				○	新大阪ビルヂング2期	大阪市北区	
163				○	横浜市立大学	横浜市金沢区	
164				◇	名古屋都ホテル	名古屋市中村区	
165				◇	名神高速道路大津レストハウス	滋賀県大津市	
166				◇	出光興産東北支店	宮城県仙台市	
167				◇	出光興産立川支店	東京都立川市	

168				▽	出光興産千葉給油所	千葉県市原市	
169				▽	天理教高井田教会		
170				▽	名神高速道路茨木・京都南・京都東・大津・栗東インターチェンジ諸施設		
171	1964	39	10	○	大成閣	大阪市中央区	
172				○	千里南地区センタービル	大阪市吹田市	
173				○	関西大学専門図書館	大阪市吹田市	
174				○	甲南女子大学	神戸市東灘区	
175				○	浪花組本社ビル	大阪市中央区	
176				○	やまとやしき百貨店増築	兵庫県姫路市	
177				▽	関西大学第5学舎	大阪市吹田市	
178				▽	芦屋のS邸	兵庫県芦屋市	
179				▽	富田町ビル	大阪市	
180				▽	出光興産奈良給油所	奈良市	
181	1965	40	11	○	宝塚カトリック教会	兵庫県宝塚市	
182				○	高島屋東京店第4期増築	東京都中央区	
183				○	千里南地区センタービル専門店街	大阪市吹田市	
184				○	佐伯邸	奈良市	
185				○	美原町庁舎	堺市美原区	
186				◇	近鉄百貨店阿倍野本店第2次増築	大阪市阿倍野区	
187				◇	戎橋プランタン	大阪市中央区	
188				◇	愛知県森林公園センター	愛知県尾張旭市	
189				▽	高島屋京都店第5次増築	京都市下京区	
190				▽	出光興産軽井沢寮	長野県北佐久郡軽井沢町	
191	▽	三井銀行阿倍野橋支店改装	大阪市				
192	1966	41	11	○	泉州銀行和泉府中支店	大阪府和泉市	
193				▲	西宮商工会館	兵庫県西宮市	
194				○	千代田生命本社ビル	東京都目黒区	
195				○	村野・森建築事務所	大阪市阿倍野区	
196				○	美原町立平尾小学校	堺市美原区	
197				◇	出光興産京都支店	京都市下京区	
198				◇	浪花組東京支店	東京都港区	
199				▽	関西大学経済・商学部研究室	大阪府吹田市	

200				▽	関西大学附属高校・第一中学校特別教室	大阪府吹田市	
201				▽	東京銀行名古屋東支店	名古屋市東区	
202				▽	徳山東映ビル	山口県周南市	
203	1967	42	9	○	清原東京支店	東京都千代田区	
204				○	大阪ビルヂング	東京都中央区	
205				○	箕面ビジターセンター	大阪府箕面市	
206				○	高橋ビル東館	大阪市北区	
207				▽	関西大学法・文学部研究室新館	大阪府吹田市	
208				▽	関西大学第3学舎新館	大阪府吹田市	
209				▽	毎日興業ビル改築		
210				▽	高島屋桐生ストアー		
211				▽	近鉄ハウジングフェアモデル住宅		
212	1968	43	7	○	桜井寺	奈良県五條市	
213				○	甲南女子学園甲南女子中高等学校	神戸市東灘区	
214				○	高橋ビル西館	大阪市北区	
215				▽	都ホテル宴会棟	京都市東山区	
216				▽	関西大学社会学部学舎・研究室棟	大阪府吹田市	
217				▽	出光興産姉ヶ崎給油所	千葉県市原市	
218				▽	大阪府立青年の家	大阪府三島郡	
219	1969	44	11	○	日本ルーテル神学大学	東京都三鷹市	
220				○	西宮トランプスチヌ修道院	兵庫県西宮市	
221				○	都ホテル南館	京都市東山区	
222				○	志摩観光ホテル本館	三重県志摩市	
223				○	近鉄上本町ターミナルビル1期	大阪市天王寺区	
224				○	近鉄新本社ビル	大阪市天王寺区	
225				○	高橋ビル東3号館	大阪市北区	
226				◇	そごう大阪店増築	大阪市中央区	
227				▽	高島屋京都店第6次増築	京都市下京区	
228				▽	関西大学工学部研究棟	大阪府吹田市	
229				▽	松月ビル	栃木県足利市	
230	1970	45	13	○	信貴山成福院客殿	奈良県生駒郡	

231				○	兵庫県立近代美術館	神戸市灘区	
232				○	帝国ホテル茶室東光庵	東京都千代田区	
233				○	阿倍野センタービル	大阪市阿倍野区	
234				○	高橋ビル本館	大阪市北区	
235				○	黒田電気本社	大阪市淀川区	
236				○	近鉄志摩線賢島駅舎	三重県志摩市	
237				○	東京銀行大阪支店	大阪市中央区	
238				○	奈良ホテル増築	奈良市	
239				▲	高橋ビル南館	大阪市北区	
240				◇	名古屋都ホテル増築	名古屋市中村区	
241				▽	都ホテル特別貴賓室	京都市東山区	
242				▽	法隆寺の家	奈良県	
243				○	箱根樹木園休息所	神奈川県足柄下郡箱根町	
244				○	北九州八幡信用金庫本店	北九州市八幡東区	
245	1971	46	5	○	出光興産宮前給油所	福岡県宗像市	
246				▽	レストランヤマサ	愛知県豊橋市	
247				▽	有働邸	横浜市中区	
248				○	高輪プリンスホテル旧館改装	東京都港区	
249				○	高島屋東京店新館・茶室	東京都中央区	
250				○	近映レジャービルアポロ	大阪市阿倍野区	
251	1972	47	7	○	京都堀川会館	京都市上京区	
252				◇	堺泉北海員会館	大阪府高石市	
253				▽	高橋アベノボーリング場	大阪市	
254				▽	イエズス会秋川神冥窟	東京都西多摩郡檜原村	
255				○	近鉄上本町ターミナルビル2期	大阪市天王寺区	
256				○	日本生命岡山駅前ビル	岡山市	
257				○	宇部市渡辺翁記念会館改修	山口県宇部市	
258				○	大阪府中河内府民センター	大阪府八尾市	
259	1973	48	8	○	泉北高速鉄道榎・美木多駅舎	堺市南区	
260				◇	野村不動産港南台モデルハウス	横浜市港南区	
261				▽	大阪府立枚方セツルメント	大阪府枚方市	
262				▽	平城ニュータウン地区センター基本計画	奈良市	
263	1974	49	6	○	迎賓館	東京都港区	

264				○	日本興業銀行本店	東京都千代田区	
265				○	タケダグリーンビル	大阪市西区	
266				○	泉北ニュータウン梅地区センタービル	堺市南区	
267				▽	関西大学新大学院学舎	大阪府吹田市	
268				▽	甲南女子大学短大第2学舎	神戸市東灘区	
269	1975	50	10	○	小山敬三美術館	長野県小諸市	
270				○	新・都ホテル	京都市南区	
271				○	西山記念会館	神戸市中央区	
272				○	甲南女子大学人間関係学科学舎・猪崎記念体育館・学生会館増築	神戸市東灘区	
273				○	高栄茅場町ビル	東京都中央区	
274				○	美原町立平尾小学校増築	堺市美原区	
275				○	美原町立総合会館	堺市美原区	
276				○	美原中央公民館	堺市美原区	
277				○	やまとやしき百貨店第4期工事	兵庫県姫路市	
278				▽	高橋ビル南10号館	大阪市	
279	1976	51	9	○	なだ万山茶花荘	東京都千代田区	
280				○	千里市民センタービル	大阪府吹田市	
281				○	甲南女子大学阿部記念図書館	神戸市東灘区	
282				○	大阪ビルヂング	東京都千代田区	
283				○	浪花組名古屋支店	名古屋市中村区	
284				○	常陸宮邸	東京都渋谷区	
285				○	日本住宅公団壬生市街地住宅	京都市中京区	
286				○	箕面自由学園記念体育館	大阪府豊中市	
287				▽	高橋ビル北10号館	大阪市	
288	1977	52	3	○	甲南女子学園甲南女子中高等学校特別教室	神戸市東灘区	
289				▽	日本住宅公団平城地区事務所	奈良市	
290				▽	大裕鋼業堺工場	大阪府堺市	
291	1978	53	4	○	箱根プリンスホテル	神奈川県足柄下郡箱根町	
292				○	京橋三丁目ビルディング	東京都中央区	
293				○	東京銀行大阪支店増築	大阪市中央区	
294				▽	東京クリスロア会宿舎	東京都保谷市	
295	1979	54	7	○	ハヶ岳美術館	長野県諏訪郡原村	

296				○	宇部市文化会館	山口県宇部市	
297				○	佐賀県教育センター	佐賀県	
298				○	甲南女子大学総合研究館	神戸市東灘区	
299				◇	松寿荘	東京都港区	
300				▽	都ホテル東京内装設計	東京都港区	
301				▽	南霊園周辺地区市街地再開発等調査	大阪府	
302	1980	55	7	○	大成閣増築	大阪市中央区	
303				○	米子市公会堂増改築	米子市	○
304				○	宝塚市庁舎	兵庫県宝塚市	
305				○	南部ビルディング	東京都千代田区	
306				○	京都堀川会館	京都市上京区	
307				◇	東銀綜合ビル	神戸市中央区	
308				▽	関西大学第1高等学校新校舎	大阪府吹田市	
309	1981	56	2	○	南大阪教会改築	大阪市阿倍野区	
310				○	黒田電気名古屋支社	名古屋市瑞穂区	
311	1982	57	1	○	新高輪プリンスホテル	東京都港区	
312	1983	58	4	○	谷村美術館	新潟県糸魚川市	
313				○	志摩観光ホテル宴会場	三重県志摩市	
314				○	宇部興産ビル	山口県宇部市	
315				○	内幸町大阪ビルヂング	東京都千代田区	
316	1984	59	5	○	丸栄本館第3次増築	名古屋市中区	
317				○	尼崎市庁舎第2庁舎・議会棟増築	兵庫県尼崎市	
318				○	槻都市施設	堺市南区	
319				◇	村野建築研究所心齋橋事務所	大阪市中央区	
320				▽	甲南女子大学7号館	神戸市東灘区	
321	1985	60	3	○	都ホテル大阪	大阪市天王寺区	
322				○	新高輪プリンスホテル茶寮恵庵	東京都港区	
323				○	笠間東洋ゴルフ倶楽部	茨城県笠間市	
324	1986	61	2	○	京都宝ヶ池プリンスホテル	京都市左京区	
325				○	東京銀行宝塚クラブハウス	兵庫県宝塚市	
326	1987	62	2	○	都ホテル新8号館	京都市東山区	
327				○	吉本会館	大阪市	
328	1988	63	5	○	都ホテル新館	京都市東山区	

329			○	三養荘新館	静岡県伊豆の国市	
330			○	甲南女子大学芦原講堂	神戸市東灘区	
331			○	新潟天寿園	新潟市	
332			▲	近鉄阿部野橋ターミナルビル	大阪市阿倍野区	

2009年10月現在

記号	件数	状 態
○	166	現存
▲	8	一部現存
◇	80	非現存
▽	78	不明
合 計	332	

件数の中には公会堂のように増改築したものは2件とカウントしている

参考文献

・村野藤吾研究会編「村野藤吾建築案内」TOTO出版 2009年

資料 2 2

利用団体アンケート・聞き取り時の意見

公会堂利用団体（主に米子市文化協議会加盟団体）に対し、アンケートを実施し、面談のうえ聞き取り調査を行い意見を取りまとめた。

実施年月日：10月26・28日、11月1・2・4日

ア 使用停止で貴団体はどんな対応をされましたか

- 当初予定の12月では既に空きがなく、また、経費面より収容人員と入場料収入との兼ね合いにより、やむなく来年米子コンベンションセンターでの開催になった。
- ホール収容人員とホール使用料との兼ね合いにより、追加費用が発生する事になったが、経費削減の努力と券売増加、また、米子市からの助成にて当初予定入場料で開催する事にした。
- 既に招聘の仮契約も済ませていたので、もし、演奏会中止になれば違約金の発生も予想された。さらに、12月から1月に変更によるゲストメンバーのスケジュール調整も大変難航したが、幸い、ゲスト事務所のご好意とご努力で開催できることになった。
- 例会場として使用できる会場の空き状況の調査と確保
- 会場を文化ホールに移したことにより、上演劇団等との日程調整および変更、宿泊先の調整
- 会員で会を存続していくため、1年後の2日間公演、会費額を値上げすることを6月～10月に渡って討議
- 当面座席がない中で、他地区へのバス手配
- 文化ホールを取るのが難しくなるため、団体に集まっただきコンベンション、さなめの他に境港、メティオ、鬼ミュージアムなどを調べた。
- 毎週リハーサル室を使用していましたが、使用停止になったため、公民館から公民館に（ジプシーのように）変更している。
- 定期演奏会の会場押さえは薄氷を踏むおもいでした。代替えが無いからです。ホールは数の問題ではありません。利用時期、設備、収容人数アクセス等ニーズに合う事が必要です。米子市秋の文化祭参加の期間は特に文化関係の行事が集中するわけです。また、各文化団体は相互に有機的な繋がりがあるので自己都合だけでは決まらないのです。更に子どもの団体では、学校行事に左右されることが多く、選択肢は狭くなります。

条件に合わない場合、行事そのものの催行が不可能になります。

- 使用停止になった時点で、近隣の施設（米子市文化ホール、境港市民会館、淀江さなめホール、ビッグシップ）に問い合わせをし、空き状況を調査した上で、役員等連絡調整を行い、4月末の総会で了承を得て、大会・主催行事等を他施設で実施した。
- 加盟団体で、7月中旬～8月下旬にかけてコンクール舞台リハーサルとして予約をしていたが、使用停止により、近隣の施設（米子市文化ホール、境港市民会館、淀江さなめホール）に問い合わせをし、空き状況を調査した上で利用した。
- 西部地区加盟団体の主催で定期演奏等を予定していたが、全て近隣施設へ移動した。演奏会時期が重なるために、周辺近隣施設での日程が重なり各団体の調整が大変だった。
- ビッグシップで行事を開催し、予約状況を聞いても県の行事が優先されるために土日に開催することが不可能だった。
- 今年度は公演としては活動していないので、対応はなし。2011年3月に公演を予定しているところは、練習会場の確保ができなかったため、練習会場の変更を余儀なくされたり、予定していた練習を中止したことが何度もある。
- 1000人規模のホールが市内には無いため、境港市民会館へ会場を変更した。
- し烈な競争の文化ホールが取れなかった時は、遠方を覚悟で、境港市民会館、境港文化ホール、淀江文化センター、公民館等を練習会場として確保したが、やはり車に乗らない人々の不満がたまった。
- 団体の活動計画を見直し、変更した。
- 日程変更ができなければ、公演中止しかなくマネジメントと他の開催者を巻き込んで対応に追われた。
- 文化ホールの空き状況を調査し、契約の日は無理だが、前日の休館日を開放してもらえることを確認し、日程変更で可能性を探ることにした。最終的にマネジメントの仲介で、前日開催の出雲市に日程変更の了解をもらった。総会で決定した例会の不履行、マネジメントとの契約キャンセルの危機は回避できた。
- 全会員に日程が通知済みであり、変更の徹底は予想以上に困難で、直前まで文書、電話連絡など対応に追われた。
- 代替施設は文化ホール以外利用可能なホールはなく、空き情報を確認。ホールの全日使用を断念し、午前中の催し終了後、午後～夜の使用で対応せざるを得ない結果となった。

- 競争率の高い文化ホールが運良く確保できた。
- 会場が二転、三転したため、その度に会員への周知徹底に苦労した。一番苦労したのは会場が小さく2ステージにしたこと。会の盛りあがりにとっても問題だと思っています。1100 から 1200 の会場は不可欠です。
- 今年の演奏会は6月に文化ホールで開催しました。従って、使用停止後は今年に限っては影響は生じていません。
- 公会堂を練習場所に利用していたが、使用停止とのことで、代替場所を探し練習を続けている。
- 中国大会前の重要な練習で当日会場に響きも似ている公会堂を予約していたが、小さなさなめホールへの変更をせざるを得なかった。副市長初め公会堂の存続の申し入れを行った。

イ 使用停止でお困りのことを具体的にお書きください。

- 米子の地で演劇を観るため参加している人が自ら会費を持ちより手弁当で準備して続けた中で、鳥取県西部の鑑賞者を育み、地域の中での様々な活動への積極的な参加を創ってきた会の存続の危機を回避していただきたく考えます。
- ホールが抑えにくい。
- 出演者数が多いため、公会堂以外に公演できる施設がなく2012年に予定している公演の開催自体が危ぶまれている。
- 米子で活動しているのに、地元の方に聞いてもらえない恐れがある。
- 練習会場が不便になることで、特に高齢の団員などは演奏を止めてしまう人もいるだろう。
- 米子市や周辺地域を対象とした質の高い芸術文化公演を、採算がとれないため提供できない。
- 例会決定スケジュールを前倒しで進めることになり、マネージメントとの交渉で有利な条件が引き出せない。有利な条件の企画提案が来ても、会場が確保できなければあきらめざるを得ない。従来は、年末までじっくりと待つて価格や諸条件を決める事が出来たが、出来ない。コストが高止まりとなる。
- 一般市民が音楽を鑑賞する機会が減ることは、音楽への関心も薄れ、衰退に傾くことであり、長い目で見て会員数の減少につながる。
- 代替え会場が小さく2ステージにしたが、合わせて800人がぎりぎりですので当初の計画が狂いました。2日間に仕訳することは実際には不可能であり、一人一人確認するだけの体制がありません。皆さんにお詫

びするだけです。今でも何故少なくとも、今年いっぱい使用できるようにしなかったかと納得できません。

- 公会堂が使用出来なくなると、今後、演奏会の会場取りが今まで以上に困難になることが予想されます。
- 吹奏楽は管楽器や打楽器の集団であるため、日頃の練習から防音設備の整備された会場でないと練習ができない。今現在、文化ホールのイベントホール、さなめホール、児童文化センターを練習会場としているが、公会堂がなくなり本番が2館に集中して練習会場の確保がしづらくなってきている。
- 毎年、実施している発表会が実施不可能になる。

ウ 代替施設について

(ア) 米子市文化ホール

- 鳥取県西部で全会員の座席数がある会場が公会堂以外になく、文化ホールでの公演を行うが、全会員の座席が確保できない。また、文化ホールのバルコニー席は舞台が見切れる為58名の座席もできれば使用したくない座席となる。この状況から座席を確保できなかった会員は、他の地域で行われる公演に参加しなくてはならない。
- 休日しか活動できないので、どうしても日曜日集中します。米子市文化ホールはもともと使用頻度が高かったのですが、それが一層高くなり会場がとれにくくなり、抽選にはずれると断念せざるを得ません。
- 来年の11月の会場取りに行きました。アマチュアの団体は土日であれば公演ができません。すでに月末の土曜日は学会で押さえられており、限られた土日に希望が集中しました。10月に取れなかった団体が11月を希望して来られていて、その土日も重複してしまいました。今まで公会堂と文化ホールで分散できていたのが、一箇所に集中するのですから当然のことです。米子は定期的に公演を行っている団体が多く存在します。続けることは容易なことではありません。会場がなくて公演が出来ないとはとんでもないことだと思います。
- 予約時に希望が殺到し抽選での決定になるので大会開催となると他団体との調整が難しい。
- 文化ホールでは収容しきれずに公会堂へ変更した経緯がある。
- 団員の多数は米子市民であり、移動に負担がかかる。
- 演奏会の会場が確保できない。
- 中規模のホールで音響効果は比較的良好で、使い勝手は良いが、15万都市のメインホールとしては、固定席672席では、例えば交響楽団、

オペラ、バレエその他大規模な公演に際しては、収容能力、採算性の確保等の問題を考えると非常に不十分で、1000名規模の公会堂の存在価値は極めて大きい。

(イ) 米子市淀江文化センター（さなめホール）

- 開催は可能であるが、参加団体の交通利便性を考慮すると非常に利用しにくい。
- 客席数が少ないため、入場料による財源が確保できない。
- 固定席588席と少ない上、旧米子市から遠く、自家用車使用者以外にとっては、JR淀江駅からも遠い等利便性に大きな問題がある。

(ウ) コンベンション多目的ホール

- 米子周辺で今までのような演奏会を開催しようとするれば、コンベンションセンターを使用せざるをえず、ホール使用料が増加する。また、米子市文化協議会参加団体の使用料の減免も受けられないため、開催経費の増加が懸念される。
- コンベンションセンター多目的ホールはそもそも音楽会開催用に設計されておらず、そのため、今までのような演奏のクオリティが維持できない。
- 座席が固定でなく席の下が空洞のため音響が悪くセリフが聞こえない。また、舞台が狭く、そでもないため役者の出入りが困難。吊り物も少なく、高さもない為、十分な舞台セットが組めない。
- コンサートに何度か行きましたが、会議用のホールでは限界があり、地元で芸術ホールがないと金銭的にも辛い。
- ステージの入れ替え作業について反射板がスライド式で反響板裏には支えるための金属の梁が大きく取り付けられているため、空間利用が出来ない状態である。
- 見本市利用の設計で音響は良くないと言われるが、その原因は座席の下が空洞であることに大きな原因がある。普通のホールは座席の上から天井までの空間の音響を考えればいいのですが、座席の下にも同じような空間があるのですから、結局体育館と同じ構造であり、その中間に無理矢理座席を設置したものです。このことで全てが想像していただけるのではないのでしょうか。結局、吹奏楽事業の運営には公会堂は無くてもならないホールなのです。
- 何よりも音楽ホールではなく、多目的空間であるため、マイク等を利用しない生演奏には完全に不向き。従って、審査をするような大会に関し

- ては実施が難しい。
- 複数以上の団体が出演する演奏会では、各団体が基本的に使い慣れた打楽器を持参するのが通例。従って、その大量な打楽器を舞台裏、下手・上手では施設の構造上、処理しきれない。
 - 床下や天井より音が抜けてしまい、ステージには反響板もないので客席まで音や声が届かない。また、舞台裏のリハーサル室はとても狭くて全く使えず、本番前にオーケストラや合唱団がウォーミングアップする場所がない。
 - コンベンションを利用した場合、約3倍の経費負担になる。
 - コンサートホールの形だけは一応とられているが、元来多目的ホールとして建設されたもので、音響的にシビアなコンサートホール（原則としてマイクを使用しないクラシックの場合は特に）としては、極めて劣悪な状況を、出演者、聴衆双方に強いることになり、快適な音楽鑑賞からは程遠いものになっているのが偽らざる現実である。その主要な問題点としては、
 - ・コンサートホールとしての設計でないため、容積比で、天井の高さが非常に低く音が十分後部座席まで届かない。
 - ・座席が、空間に浮き上がった構造のため、音が座席の下の空間に吸収され、量感、立体感が乏しくなる。また、座席床が不安定で居心地が悪い。
 - ・天井、壁の設計、材質等の問題（コスト面も大きいと思われる）から、クラシック音楽に必要な残響時間が保持されず、音が貧弱になる。
 - ・設備、備品等が極めて不備のため、オペラ、演劇等の上演には使い勝手が悪く、ほとんど使用に耐えられない。
 - 専門家による音響の差異をじゅうぶん考慮してもらいたい。音響を考慮しなければ極論、野外でもどこでもいいということにつながってしまう。

(エ) 他の意見

- 昭和54年の大改修の時に、米子市にホールは公会堂だけでは文化活動が発展しないと文化ホールを造った経緯があるので、公会堂と文化ホールがあることが基本と考えている。
- 今回の公会堂問題は当然のことながら耐震という物理的な面が前面に打ち出されています。その根本を踏まえながら、精神的な面も考えてほしいのです。文化行政の基本ではないのでしょうか。私は、この50年間の公会堂には公私ともに、感謝してもし尽くしません。公会堂があったからこそまで来られたと思います。ノスタルジーだといわれるでしょう。しかし、文化には必要な要素だと思います。これに新しい発想が加わっ

て更に優れた文化が生まれるのです。市民の公会堂に対する思いをもっと斟酌しながら事を進めてほしいのです。このアンケートも現象面だけのものなので、これで多くを判断しないで欲しいのです。

- たとえば文化ホールが取れたとしても、それによって取れなかった他団体の活動が減るわけで、演奏会が減ることによる文化の衰退。
- 公会堂は米子を代表する文化施設であり財産でもあります。補強して残すということは、米子の文化レベルを守るとのことだと思います。
- 一年前に例会開催日の会場を予約、確保しなければならないが、今後、公会堂閉鎖による例会場の確保が困難になるのではないかと危惧している。クラブ存続に影響しかねない状況にならないように希望する。
- オーケストラ、オペラ、バレエなど、今まで他団体が開催してきた催しを市民として享受する機会がなくなることも、文化面での貧しい街となりさびしい限りだ。
- 文化ホールのキャパシティでは出来ない独唱、合唱、吹奏楽、オーケストラ、オペラ等、本格的な演奏やコンクール等、特に中国地方大会の持ち回りで東（梨花ホール）中（未来中心）部は良いホールがあって開催できるのに、米子には無く、この地方の文化度の低さを証明している。コンベンションは本格的なクラシックの演奏が出来るホールでは無い。コンサートホールの無い米子地区がなんだか一番損をしているような気になってします。
- 西部地区の芸術分野の定期的な活動が阻害され、講演集会にも多大な悪影響が出ているので、耐震補強をして音響改修もおこない再会を希望する。事務室棟も時代に則した改築をして、施設の充実化（控室、集会室など高層化による拡充と導線の効率化）を望む。

資料 2 3

だんだんバス調査 (高島屋前停留所)
 (平成 2 1 年・平成 2 2 年) 乗降者数一日平均比較
 (人)

	平成 2 1 年 平均	平成 2 2 年 平均
高島屋前停留所	1 0 6 . 7	1 0 6 . 5

■高島屋前の停留所での乗車人数・降車人数

			平成22年10月16日(土) 調査			平成22年10月18日(月) 調査		
	発車時刻	米子駅着	高島屋前	乗車人数	降車人数	高島屋前	乗車人数	降車人数
★1便	8:00	8:45	8:37	※土日祝日は運休		8:37(8:37)	1	1
★2便	8:25	9:10	9:02	※土日祝日は運休		9:02(9:03)	1	0
3便	8:50	9:35	9:27(9:27)	0	2	9:27	3	1
4便	9:15	10:00	9:52(9:53)	2	3	9:52	2	2
5便	9:40	10:25	10:17(10:17)	3	1	10:17(10:18)	1	2
6便	10:05	10:50	10:42(10:44)	1	3	10:42	2	2
7便	10:30	11:15	11:07(11:05)	5	2	11:07(11:16)	2	4
8便	10:55	11:40	11:32(11:33)	6	1	11:32	2	2
9便	11:20	12:05	11:57(11:55)	3	3	11:57(12:01)	3	8
10便	11:45	12:30	12:22(12:21)	3	3	12:22(12:23)	2	5
11便	12:10	12:55	12:47(12:47)	1	4	12:47(12:54)	3	7
12便	12:35	13:20	13:12(13:12)	2	4	13:12(13:13)	4	3
13便	13:00	13:45	13:37(13:38)	3	2	13:37(13:43)	4	2
14便	13:25	14:10	14:02(14:01)	4	2	14:02(14:01)	2	4
15便	13:50	14:35	14:27(14:26)	3	1	14:27(14:35)	3	3
16便	14:15	15:00	14:52(14:54)	1	2	14:52(14:55)	1	5
17便	14:40	15:25	15:17(15:16)	2	2	15:17(15:42)	2	1
18便	15:05	15:50	15:42(15:41)	2	2	15:42	3	2
19便	15:30	16:15	16:07(16:07)	2	1	16:07(16:09)	1	2
20便	15:55	16:40	16:32(16:36)	1	0	16:32	2	4
21便	16:20	17:05	16:57(16:59)	1	1	16:57	2	1
22便	16:45	17:30	17:22(17:22)	2	0	17:22(17:23)	0	0
23便	17:10	17:55	17:47(17:41)	1	6	17:47(17:49)	0	2
※24便	17:35	18:20	18:12(18:20)	1	0	18:12(18:17)	1	1
※25便	18:00	18:45	18:37(18:38)	0	6	18:37	0	2
			合計	49	51	合計	47	66

資料 2 4 中心市街地通行量調査 平成21年度

(人)

調査地点	7月24日(金)		7月26日(日)		合計	
	左行き	右行き	左行き	右行き	左行き	右行き
イ 四日市駐車場前 (旧西部生協)	69	87	89	94	158	181
	156		183		339	
ロ ささか印房横	85	109	49	49	134	158
	194		98		292	
ハ 憩の道 (健クリニック横)	108	115	63	59	171	174
	223		122		345	
ニ よりみち通り 三連蔵前	62	64	28	29	90	93
	126		57		183	
ホ おおぞら前	95	117	44	34	139	151
	212		78		290	
小 計	419	492	273	265	692	757
	911		538		1,449	
1 駅前サティ前	406	236	164	156	570	392
	642		320		962	
2 加藤商事前	323	330	139	159	462	489
	653		298		951	
3 元町通り商店街 事務所前	478	429	215	195	693	624
	907		410		1,317	
4 石賀本店前 (旧石賀陶器店側)	396	436	202	232	598	668
	832		434		1,266	
5 本通り休憩所前	433	332	191	198	624	530
	765		389		1,154	
6 SKYビル前 (旧今井書店)	300	347	146	148	446	495
	647		294		941	
7 おしゃれドライ前	173	228	114	136	287	364
	401		250		651	
8 米子信用金庫 本町支店前	287	285	73	93	360	378
	572		166		738	
9 旧フジヤ農芸前 (旧いしかわ前)	179	190	67	101	246	291
	369		168		537	
10 コスタ・デル・ソル前 (旧やっちゃば)	95	150	68	64	163	214
	245		132		377	
11 ローズセントラルビル前	89	64	35	28	124	92
	153		63		216	
12 角盤町郵便局前	624	702	247	314	871	1,016
	1,326		561		1,887	
13 高島屋東館前(東側)	256	193	126	113	382	306
	449		239		688	
14 セレスト角盤前	159	150	86	100	245	250
	309		186		495	
15 ニュー落合前	1,022	1,000	659	689	1,681	1,689
	2,022		1,348		3,370	
16 公会堂前 (事務所側)	666	497	327	297	993	794
	1,163		624		1,787	
17 合銀米子中央 出張所前(公会堂側)	344	281	166	155	510	436
	625		321		946	
18 グリーンビル前	81	67	16	22	97	89
	148		38		186	
19 丸越前 (三森宅・マツカ電器前)	238	158	92	102	330	260
	396		194		590	
合 計	6,549	6,075	3,133	3,302	9,682	9,377
	12,624		6,435		19,059	

中心市街地通行量調査 平成21年度

(人)

調査地点	11月20日(金)		11月22日(日)		合計	
	左行き	右行き	左行き	右行き	左行き	右行き
イ 四日市駐車場前 (旧西部生協)	102	94	94	101	196	195
	196		195		391	
ロ ささか印房横	167	141	144	132	311	273
	308		276		584	
ハ 憩の道 (健クリニック横)	134	168	123	126	257	294
	302		249		551	
ニ よりみち通り 三連蔵前	86	105	51	63	137	168
	191		114		305	
ホ おおぞら前	127	107	68	56	195	163
	234		124		358	
小 計(イ~ホ)	616	615	480	478	1,096	1,093
	1,231		958		2,189	
1 駅前サティ前	383	268	316	278	699	546
	651		594		1,245	
2 加藤商事前	288	366	241	251	529	617
	654		492		1,146	
3 元町通り商店街 事務所前	413	267	225	241	638	508
	680		466		1,146	
4 石賀本店前 (旧石賀陶器店側)	274	413	244	269	518	682
	687		513		1,200	
5 本通り休憩所前	383	279	233	221	616	500
	662		454		1,116	
6 SKYビル前 (旧今井書店)	255	359	245	241	500	600
	614		486		1,100	
7 おしゃれドライ前	178	235	142	188	320	423
	413		330		743	
8 米子信用金庫 本町支店前	248	204	95	136	343	340
	452		231		683	
9 旧いしかわ前	196	171	98	144	294	315
	367		242		609	
10 国道9号山陰信販前	261	357	257	282	518	639
	618		539		1,157	
11 ローズセントラルビル前	118	93	67	75	185	168
	211		142		353	
12 角盤町郵便局前	536	629	436	411	972	1,040
	1,165		847		2,012	
13 高島屋東館前 (東側)	351	260	422	305	773	565
	611		727		1,338	
14 セレスト角盤前	339	264	200	186	539	450
	603		386		989	
15 ニュー落合前	1,206	1,119	833	790	2,039	1,909
	2,325		1,623		3,948	
16 公会堂前 (事務所側)	691	482	574	527	1,265	1,009
	1,173		1,101		2,274	
17 合銀米子中央 出張所前(公会堂側)	389	394	210	224	599	618
	783		434		1,217	
18 グリーンビル前	87	72	38	40	125	112
	159		78		237	
19 丸越前 (三森宅・マツカ電器前)	234	204	144	180	378	384
	438		324		762	
小 計(1~19)	6,830	6,436	5,020	4,989	11,850	11,425
	13,266		10,009		23,275	

中心市街地通行量調査 平成22年度

(人)

調査地点	7月23日(金)		7月25日(日)		合計	
	左行き	右行き	左行き	右行き	左行き	右行き
イ 四日市駐車場前 (旧西部生協跡)	41	41	84	58	125	99
	82		142		224	
ロ ささか印房横	78	109	50	57	128	166
	187		107		294	
ハ 憩の道 (健クリニック横)	124	131	60	61	184	192
	255		121		376	
ニ よりみち通り 三連蔵前	159	148	58	60	217	208
	307		118		425	
ホ 池田モータース前	80	68	29	50	109	118
	148		79		227	
小 計	482	497	281	286	763	783
	979		567		1,546	
1 駅前サティ前	386	220	279	260	665	480
	606		539		1,145	
2 加藤商事前	254	271	163	201	417	472
	525		364		889	
3 元町通り商店街 事務所前	356	260	216	231	572	491
	616		447		1,063	
4 ほっしょうじ本舗前	215	130	200	200	415	330
	345		400		745	
5 本通り休憩所前	294	275	237	239	531	514
	569		476		1,045	
6 SKYビル前 (旧今井書店)	250	249	201	206	451	455
	499		407		906	
7 おしゃれドライ前	151	195	116	140	267	335
	346		256		602	
8 米子信用金庫 本町支店前	294	326	135	124	429	450
	620		259		879	
9 旧フジヤ農芸前 (遠藤宅)	229	242	101	99	330	341
	471		200		671	
10 &Aビル前(旧山陰信販)	190	241	207	183	397	424
	431		390		821	
11 ローズセントラルビル前	74	65	35	31	109	96
	139		66		205	
12 角盤町郵便局前	408	452	354	351	762	803
	860		705		1,565	
13 高島屋東館前 (東側)	147	110	115	92	262	202
	257		207		464	
14 セレスト角盤前	172	163	108	128	280	291
	335		236		571	
15 ニュー落合前	852	880	672	684	1,524	1,564
	1,732		1,356		3,088	
16 公会堂前 (事務所側)	351	302	277	216	628	518
	653		493		1,146	
17 合銀米子中央 出張所前(公会堂側)	336	277	223	196	559	473
	613		419		1,032	
18 グリーンビル前	50	39	34	38	84	77
	89		72		161	
19 丸越前 (三森宅・マツカ電器前)	164	144	144	112	308	256
	308		256		564	
合 計	5,173	4,841	3,817	3,731	8,990	8,572
	10,014		7,548		17,562	

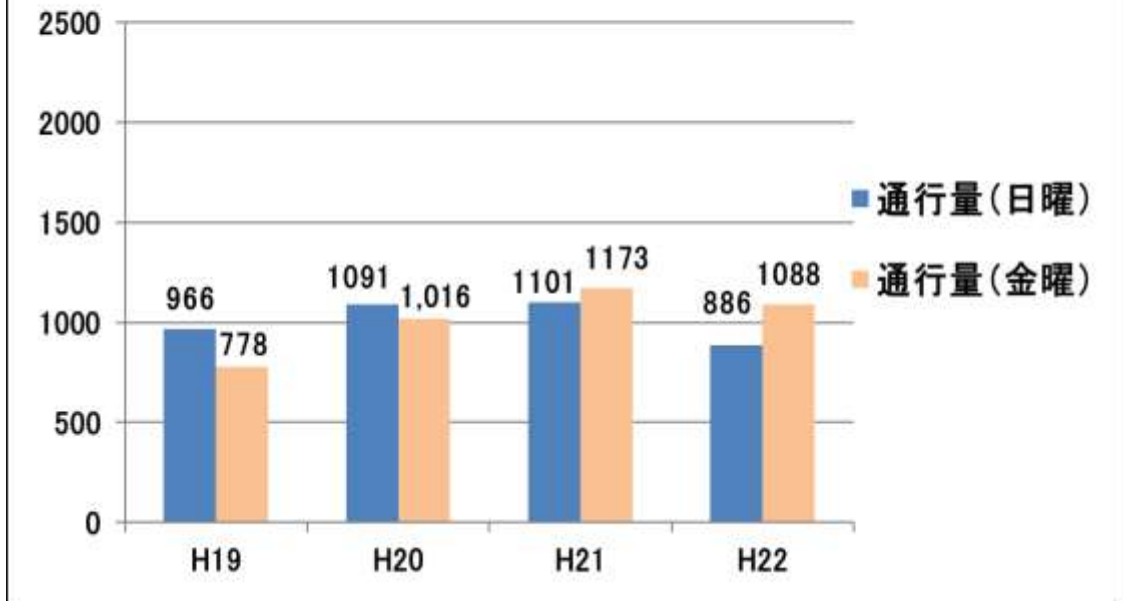
資料 2 5

平成 22 年度 歩行者等通行量調査

調査地点	公会堂前		調査地点番号	1 6
調査日	1 0 月 1 5 日 (金)			
時間	左方向 皆生方面 行き	右方向 市役所方面 行き	小 計	天 候
10:00~10:30	7 5	9 9	1 7 4	晴れ
11:00~11:30	1 0 5	7 4	1 7 9	晴れ
12:00~12:30	8 9	5 4	1 4 3	晴れ
13:00~13:30	6 5	5 2	1 1 7	晴れ
14:00~14:30	8 6	6 7	1 5 3	晴れ
15:00~15:30	9 4	6 9	1 6 3	晴れ
16:00~16:30	9 7	6 2	1 5 9	晴れ
合 計	6 1 1	4 7 7	1, 0 8 8	

調査地点	公会堂前		調査地点番号	1 6
調査日	1 0 月 1 7 日 (日)			
時間	左方向 皆生方面 行き	右方向 市役所方面 行き	小 計	天 候
10:00~10:30	3 7	5 9	9 6	晴れ
11:00~11:30	4 9	5 3	1 0 2	晴れ
12:00~12:30	6 3	6 0	1 2 3	晴れ
13:00~13:30	7 0	4 7	1 1 7	晴れ
14:00~14:30	1 1 3	5 5	1 6 8	晴れ
15:00~15:30	6 7	6 5	1 3 2	晴れ
16:00~16:30	8 1	6 7	1 4 8	晴れ
合 計	4 8 0	4 0 6	8 8 6	

通行量の推移(秋季) 調査地点;公会堂前



米子市公会堂に関する市民アンケート

～米子市公会堂に対する皆様のご意見等をお聞かせください～

米子市公会堂は、昭和33年に現在地に建築され、以来50年余りにわたり米子市をはじめ、鳥取県西部圏域の芸術・文化・社会教育の拠点として大きな役割を果たしてきました。また、米子市公会堂の建築費には、市民の1日1円募金が含まれており、市民の皆様の思いのこもった施設であると考えています。

しかしながら、本市が実施した耐震診断結果によりますと、震度6強の地震により倒壊の可能性が高いとされる値が示されましたので、現在、公会堂は閉鎖しております。もちろん、耐震補強工事を実施すればその危険性はなくなるわけですが、その工事には設備改修費を含め約14億円を要すると推定され、他の事業に影響が出る可能性も考えられます。

このような状況のなかで、米子市では、「米子市公会堂に関する市民アンケート」を行って、市民の皆様方のご意見をお聞きすることにいたしました。

このアンケートは、市内にお住まいの18歳以上の方から3,000人を無作為に抽出し、配付しています。皆さまからのご意見は、個人情報保護に留意し、アンケートの目的以外には使用いたしませんので、率直なお考えをお聞かせください。

お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成22年10月

米子市公会堂耐震問題等対策本部

ご記入にあたってのお願い

あて名のご本人がお答えください。

このアンケートにお名前やご住所を記入していただく必要はありません。

ご記入していただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々のご回答やプライバシーにかかわる内容が公表されることは一切ありません。

ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに下記の期日までにご返送（投函）ください。

提出期限は平成22年11月5日(金)です。

【アンケートに関する問い合わせ先】

米子市企画部企画課

〒683-8686 米子市加茂町1丁目1番地

TEL(0859)23-5351 FAX (0859)23-5392

E-mail:kikaku@yonago-city.jp

あなた自身についておたずねします。

問1 以下の(1)～(3)の設問について、あてはまるものを1つ選び、番号に をつけてください。

(1) あなたの性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

(2) あなたの年齢

1. 18歳～19歳	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳	4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳	6. 60歳～69歳	7. 70歳以上	

(3) あなたが住んでいる地区(小学校区)

1. 啓成	2. 明道	3. 就将	4. 義方
5. 住吉	6. 車尾	7. 加茂	8. 河崎
9. 福生東	10. 福生西	11. 福米東	12. 福米西
13. 彦名	14. 弓ヶ浜	15. 崎津	16. 大篠津
17. 和田	18. 五千石	19. 尚徳	20. 成実
21. 箕蚊屋	22. 伯仙	23. 淀江	

米子市公会堂について、あなたのご感想をおたずねします。

問2 米子市公会堂に関する下記の質問について、「はい」、「いいえ」、「わからない」のどれか1つを で囲んでください。

1. あなたは、公会堂の存廃問題に関心がありますか？	はい	いいえ	わからない
2. あなたは、公会堂(大ホール)を利用したことがありますか？	はい	いいえ	わからない
3. あなたは、公会堂が米子市のシンボルだと思いますか？	はい	いいえ	わからない

4. あなたは、公会堂が米子市の文化芸術活動に影響を及ぼしていると思いますか？	はい	いいえ	わからない
5. あなたは、公会堂が米子市の歴史的建造物であると思いますか？	はい	いいえ	わからない
6. あなたは、公会堂が中心市街地の賑わいづくりに貢献していると思いますか？	はい	いいえ	わからない
7. あなたは、公会堂に愛着をもっていますか？	はい	いいえ	わからない

米子市公会堂について、あなたのご意見をおたずねします。

問3 あなたは、公会堂を存続すべきであると思いますか。「思う」、「思わない」、「わからない」のどれか 1つ を選び、番号に をつけてください。

1. 思う

2. 思わない

3. わからない

思わないと回答した方は問6へ

問4 問3で「思う」と回答した方に伺います。公会堂を存続すべきであると思う理由は何ですか。該当する理由の番号 すべて を で囲んで ください。「その他」の場合は、回答欄に具体的にご記入ください。

1. 米子市の文化芸術活動に影響があると思うから
2. 現在の場所にホールがあると便利だから
3. 今までも利用しており、今後も利用し続けたいと思うから
4. 建築物としての魅力や価値があると思うから
5. 1円募金に取り組むなど市民の思いを大切にしたいから
6. 同じような規模(約 1,100 人収容)のホールが他にないから
7. 音響などの面で同レベルのホールが他にないから
8. 米子市のシンボルだと思うから
9. なくなると周辺の商業施設などの活性化に影響を及ぼすから
10. その他 ()

問5 問3で「思う」と回答した方に伺います。公会堂を存続するなどのような形態が良いと思いますか。該当するもの1つを で囲んでください。「その他」の場合は、回答欄に具体的にご記入ください。

1. 現在の公会堂を耐震補強して残す
2. 現在の場所で新築する
3. 現在地以外の場所に移転新築する
4. その他()

問6 問3で「思わない」と回答した方に伺います。公会堂を存続すべきであると思わない理由は何ですか。該当する理由の番号すべてを で囲んでください。「その他」の場合は、回答欄に具体的にご記入ください。

1. 文化ホールなど同じような目的の施設が他にあるから
2. 補強、補修工事に多額の費用がかかるから
3. 今後、経費をかけて施設を維持していくのが難しいと思うから
4. 他に優先すべき事業があると思うから
5. あまり利用されていないと思うから
6. 興味がないから(利用しないから)
7. その他()

問7 米子市公会堂について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、
11月5日(金)までにご返送(投函)ください。



問7 米子市公会堂について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

「存続すべきであると思う」と回答された意見		
性別	年齢	記述内容
性別不詳	60代	新築はたやすい事ですが、存続、維持は大変な事です。米子のシンボル建築物として存在して欲しいと願っています。思い出の多い、心にいつまでも残る建物です。守りたいです。
性別不詳	70代以上	私たち高齢者には便利がよい場所ですが、車の駐車場を作ることを考えてあげて下さい。
性別不詳	50代	収容人員を1500人のホールにする。
女性	60代	以前のように市民募金や、いろいろの寄付を集め、時間がかかっても修理してほしいです。よろしく！
女性	60代	存続を希望していますが、米子市の今の財政を考えると複雑な思いもあります。市民も協力し存続できたらと思います。
女性	70代以上	米子市の中心にある。
女性	60代	米子市の中心であり、なくなると困る。
女性	30代	今回も県内外から募金をつのり、費用の一部に充ててはどうかと思う。
女性	60代	補修工事費用は大変なものだと思いますが、市民の知恵で何とか存続していただきたいです。
女性	70代以上	ビッグシップの半分しか収容できないが、舞台と客席が一体となり親しみが湧く。中規模の催事に最適。
女性	40代	私は中・高校と吹奏楽をしていたので、公会堂にとっても愛着があります。音の響きや天井の形、外観など近代建築にはない良さがあると思います。財政的に大変で、簡単に決められる問題ではないと思いますが...
女性	50代	昔、一円募金をした時と同様に、現在の価値で「一円」に相当する様な募金にしてはどうでしょうか。企業については樹木等に名前を入れる等して協賛して頂く様にしてPRも兼ねてはどうか。一個人でもできる方がいるかもしれません。成人した子供も利用しました。残してほしいです。
女性	60代	公会堂は、多くの市民の熱意が実ってできたものと聞いています。その公会堂を簡単になくしてしまってもいいものなのでしょうか。徒歩で行ける公の施設として気軽に利用してきました。もしなくすのなら今後のことも含め十分な検討が今以上必要と思います。
女性	60代	全てをバリアフリーにして欲しいです。
女性	40代	学生時代、子供の小さい頃などよく利用しました。とても思い出があります。現在は駅前のコンベンションなどが多く、遠い事もあり、不便です。耐震強度を充実して下さいればもっと利用したいと思っています。
女性	70代以上	公会堂は大切です。とにかく大切にして下さい。
女性	20代	米子のシンボルだと思います。小学生の頃から何かの劇を見に行ったり、演奏を聴きに行ったりして利用していた思い出の建物なので、残してほしい思いがいっぱいです！！
女性	70代以上	米子市には文化芸術があまりありません。この様な文化的価値の高い物は未来の為にも必ず残すべきです。観光客に米子の事を聞かれても誇れるものがなく、伝える事が出来ません。この機会に公会堂をもっとアピールして行くべきと強く思う。
女性	70代以上	多少なりとも市民の募金も必要と思う。
女性	50代	文化ホール、コンベンションセンターなど他の施設との役割分担を明確にし、税金の無駄使いにならないよう時間をかけ、市民の知恵を出し合い、必要性について、町づくりについて協議して行く場所を設けてみてはどうか。
女性	70代以上	米子のシンボルであり、親しんでいるから無くなるとさみしい。どうしても残したい。募金してでも。
女性	60代	募金活動に立ってでも協力したい。
女性	50代	・駐車場を今以上の確保ができる様にする。又出入りがスムーズに出来る様に！！ ・新築し、広場を公園にし、憩いの場所にする。
女性	40代	募金活動をしてもいいと思います。どうぞ残して下さい、お願いします。公会堂があつた場所からなくなってしまうと米子ではなくなってしまうと思います。残して下さい。
女性	60代	やはり今の位置にあるから必要だと思います。米子市、ひいては西部地区の文化がますます発展することを願っています。 公会堂問題を楯に他の審議内容を拒否する市議の行為は許せません。公会堂問題はゆっくり取組めばいいことです。誰がやっても難しいことは難しいです。
女性	70代以上	株式会社100万円以上、有限会社50万円以上、個人事業10万円以上、一般市民1万円以上の、募金をお願いしてもだめでしょうか。
女性	40代	子供の金管で利用しています。公会堂がなければ境港まで行くか、もしくは発表の場がなくなってしまいます。ぜひとも存続を希望します。
女性	50代	音響などの面でもとても優れていると思います。ぜひ存続をお願いします。
女性	60代	学生時代から利用してきて愛着があるのは確かですが、大勢の人の集まる場所の安全面は大切です。予算のあまり掛からない方法とか、もう一度市民募金をして米子市のシンボル地点にしてほしいです。
女性	70代以上	米子は松江や鳥取に比べ文化性が低い。今の公会堂を補強して文化を誘致せねば米子市民のレベルが低下する。商業として同じ事。市財政をよく見極め、取組んでほしい。

女性	50代	補強の予定価の推定は妥当なものか疑問です。その他、廃止にするにもどのくらいの費用が掛かるのか、移転するには...など、比較する材料なしにアンケートを取っても、本当の意味ある結果にはならず、ムダではないか。
女性	50代	歌手の谷村新司さんも存続を希望しておられるのをラジオで聞きました。米子以外の人の思いもあるように私たちの年代の者としても、存続してほしいと思います。
女性	70代以上	耐震補強だけでなく音響他増改装も必要。そのための募金なら協力する市民は多いはず。
女性	60代	財源が無いのは分かっていますが、是非公会堂は残して欲しいと思います。寄附金を募っても良いと思います。
女性	50代	米子市は文化水準が低いと思う。公会堂を改修整備し、芸術にふれる機会をもてる町づくりを進めてほしい。文化ホールは収容人員が少ない、コンベンションは音響が悪いなどの状況があり、公会堂はぜひ残してほしい。予算はかかるが、歴史ある文化施設を後世に残していくことも必要だと思う。
女性	50代	建てた年代をみれば当時は斬新なデザインだったと思います。この地に来て初めて見た時すてきなデザインだなという印象が残ってます。これからが歴史的建築物になるのではないかと思います。改修費等々むずかしい問題がたくさんあるとは思いますが、なくなれば残念で淋しい気がします。
女性	70代以上	安全な交通便である事を思います。集会の時に楽しく気持ち良く待つて入れる事が出来る。外の事を考えて米子のシンボル 集合場所にしてほしい。
女性	40代	米子市のシンボリックな存在であり、グランドピアノの形をした建物はすばらしい。しかし駐車場が少なく近場はすべて有料。ビッグシップの様に利用者には無料という、今の我が家の生活レベルに合った利用でないと今後も利用するかわからない。
女性	60代	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の存廃は、すべて経済的合理性のみで判断すべきでないと思う。 公の施設を見直すのであれば、一公会堂のみを生けにえにするのではなく、市全体の施設の実態を明らかにし、検証すべきだと思う。 百貨店など、周辺商業施設の撤退の引き金になりはしないか、万が一そうなれば、その後の町づくりの青写真を、行政は責任を持って示せるのでしょうか。
女性	40代	小学生の時、初めて公会堂のホールに立ち、高校、青年になった時、舞台上に立ちました。大人になってからもコンサートや舞台を見に行きました。米子の中で、一番印象的な建築物の一つです。出来る事でしたら、是非残していきたいと思います。
女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> 壊してしまったら二度と再現できない。新築は反対 耐震補強、設備修理費の明確化。提示してほしい。 壊した場合の跡地、利用はどうなるのか。ビル、マンション、駐車場はいらない。市民から寄付をつのってみることは考慮してあるのか？
女性	70代以上	人口、切上げで15万人とすれば、ザッと1日24円、切捨て20円で試算し、不足分については、寄附行為を期待しましょう。出来ないではなく、出来る方向を向いて、補強、補修工事を行ってください。
女性	60代	いらん所の工事や、わけのワカラン箱物の(記念館)を作ったりするなら、公会堂の補強に金をつかいなさいよ。
女性	40代	工事費や維持費など多額にかかり難しいと思いますが、コンサートやイベントを企画してほしい。
女性	40代	費用的に問題があるのなら、行政のカベをゆるやかにして、コンベンションの使い方、(舞台鑑賞、音楽)を考えた改修をする事は出来ないのでしょうか。箱がないと文化は簡単になくなってしまふと言われます。
女性	70代以上	道路角でも入れる箱があれば少しづつの金入れても立ててもらいたいでも募金箱はとられるでしょうか わるい人もいるのそれだけが心配です。何とかがんばりましょう。
女性	60代	周辺の商業施設を活性化するようにもっと公会堂が使用されるよう考えてほしい。やはり米子の中心地であると思うので。
女性	50代	私も昭和33年に生まれ今現在公会堂付近(高島屋食事喫茶)に30年おり公会堂でのイベントの際、行き帰り皆様も寄られ、皆楽しそうに話されそろそろイベントの時間(はじまる)帰るバスの時間(自宅)高島屋近くで良かった〜と。駅前だったら不便だと。存続すべきです。
女性	60代	建築学的にすばらしい建物だと思います。今のままの形でぜひ残したいものです。
女性	60代	あそこにあるからこそ存在価値があると思う(新築 又40年もたつと立替がいる事になる、移転はx)西部地震で多少の被害は出たと思うが、耐震診断も疑問を投げかけてる人もある(約14億円に対し)別の業者に診断してもらってもいいのでは…。14億円もお金を今現在投入できない状況下で、壊すにも費用がかかる。さらに新築なんてもっての外!
女性	50代	永年にわたり、存在が身についているし、やはり、この地にあってのシンボルと考えます。角盤町、朝日町も、もし、公会堂がなくなれば、中心市街地として、より寂しいものになると感じます。
女性	60代	米子市の最初の建築物であるので、なるべく公会堂を利用することが出来る様に公会堂を利用することによって、市民一体となることが出来ますように。
女性	50代	今の公会堂は歴史があり大切なものとは思いますが、多額のお金をかけるのはどうかと思います。歴史として、皆の心に残っていればいいのではないのでしょうか?現代の進歩した建築技術や音響を整え、より使いやすい、より便利な場所で生まれ変わったらいいいのではないかと思います。今よりもっといい音で音楽を楽しみたいです。
女性	30代	公会堂を無くさないで欲しいです。音響や規模の面からしても文化ホールやコンベンションセンターでは劣る部分もあり、やはり公会堂が必要だと思います。どうか存続できるように希望します。
女性	70代以上	現在の場所をどこか広い所に移転して駐車のある方が良い。
女性	40代	補強するにしても新築、移転いずれにしても、大きなお金が動くことに違いはないが、米子市民としてこれ以上税金による負担はやめてほしい。市庁の借地料に税金をあれだけつぎ込んでいるのだから、新しい他の事業を始めようとしても市民が消極的になるのは当たり前だと思う!!
女性	70代以上	市民の大多数は米子市の中心と想っている。

女性	60代	小学生の時から発表会があったり、音楽活動があったり、とても身近なものです。残してほしいです。
女性	60代	米子市民として外観、心の安らぎをみたくくれる建物であってほしい。
女性	30代	イベントの宣伝をもっとされたいと思います。駐車場が狭くてわかりにくいです。
女性	60代	他に施設はありますけれども、私はやっぱり米子市のシンボルとして公会堂はあった方がよいと思います。(私は公会堂のデザインが大好きです)
女性	60代	もし耐震補強になりました場合は、もっと利用回数を多くして米子市のシンボルとして守って行くべきだと思います。駅前のホールは私は仲々馴染めません。年齢のせいでしょうか？
女性	60代	私の小学校の時に出来た時に、歌を唄いに行きました。なくなったらさみしいです。
女性	60代	過去、NHKの「のど自慢」をやったこと等、歴史的に思い出が多く、存続することが良いと思います。
女性	60代	出生以来、結婚して実家を離れるまで公会堂の近くで育ち、大変愛着を感じます。問5は と答えたいのですが、現在の市財政を考えると、費用がかかりすぎるのでは、と思い、新築か移転かと、どちらとも決めかねます。
女性	50代	米子駅から公会堂を中心にして米子が発展していくのが理想の型で、中心だと思っております。
女性	50代	古い建物を大切に残すことが文化を残すことにつながるため。
女性	70代以上	米子市発展の為に残したい。
女性	70代以上	現在の公会堂を耐震補強の為に募金を米子市民等に呼び掛けたらよいのでは。
女性	50代	中高年の人達の青春広場にしてほしいです。市民の芸術文化の発表の場であり、中高年のヨーロッパのカフェレストランもあり、作品展の広場でもあったり、孤立しがちな中高年の人達の語り場として活用ぜひしたいです。年寄りといわれて家で孤立している人達が毎日行きたくなる公会堂に残して下さい。
女性	50代	子供の頃から何か催し物がある時は、いつも公会堂でした。耐震補強は、大変な事だとは思いますが、残してほしいと思います。
女性	40代	募金を呼びかけてでも存続してほしいです。高齢者の多い米子市では、高齢者も利用しやすい今の場所に公会堂が存続されることが、自立支援・介護予防につながると思います。
女性	60代	米子市の公会堂は米子市民の宝である。ぜひ残して欲しいです。
女性	70代以上	何でも古いからこわすのではなく、米子市民の米子のシンボルは公会堂であり、多くの市民の思い出、愛着は多大だと思う。すばらしい建物を残して行くのも市民のつとめだと思います。
女性	50代	今の世、効率ばかりが優先される中、古き良き先人達の知恵の詰まった建物を大事にしてもらいたいと切に思います。
女性	50代	利用不可能になったとしても建物は存続するべきだと思う。費用が多額になるとしても税政面で無駄はあると思う。それを見直すれば、費用のねん出は可能だと思う。例として市職員の数が多い！市職員の給与が高い！もっと見直しを！
女性	50代	耐震工事に17億円かかるとのことだが、その金額の精査をぜひお願いしたいし、一部報道にあった様にコンベ方式で取り組むとか、お金が無い、お金がかかるから廃止では公僕としてあまりにも能力の無い考え方だと思う。西部地震にもびくともしなかった建物に本当に大規模耐震工事が必要なのか。最低限必要なら、何とか低予算ですむ方法をもっと幅広く意見を聞いて!はじめに廃止ありきではその考えもないのかもしれないが……。市長は公約で存続をうたっていたはずだが、どうなったのですか。お金が無いなら、無いうように頭を使って欲しいと思う。公会堂廃止絶対反対です。!!
女性	20代	やっぱり米子のシンボルだと思うからなくなるのはさみしい。
女性	70代以上	公会堂の使用目的を変更して存続させては如何かと思います。あんなちっぽけな美術館は不要。図書館と一緒にしてしまい、美術館にしてほしい。ありきたりのものではなく、独特のコレクションで米子ありと発信できるような。現在のままでの存続ならば反対です。大ホールを仕切ることによって耐震構造も生まれるはずですよ。
女性	70代以上	費用を一般の寄付等により協力を依頼する。
女性	60代	何人が集まって公会堂の話になる時、一口千円の募金にならいつでも応じると話は決まります。無理なく、市民の心を求められてはいかがでしょうか。一口千円なら我が家は三千円。新築は無理でもしっかり補強する。西部地震の後、市民は頑張りました。公会堂も米子の歴史。市民とともに頑張してほしいです。
女性	50代	学生の頃、今は亡き主人と”ベンチャーズ”を見に行った米子市公会堂です。思い出とともにぜひとも残していただきたいです。
女性	60代	どんな形であれ必ず存続していただきたい。
女性	10代	青年層向けの企画を増やしてほしい。
女性	40代	小学生の時音楽発表会などで利用させていただきました。何とか場所の説明に公会堂中心に話をしていたので、今の場所で何とか残していただきたいと思っています。
女性	20代	公会堂は米子のシンボルだと思います。公会堂まで無くしてしまったら、いよいよ「使い捨て文化の町」になってしまう様な気がします。それを考えると、今あるものを何とか活用出来ないものかと思っています。
女性	60代	建築物として魅力はあるが危険がともなっている事は問題。確実に耐震補強が出来るならば早く存続を決め、資金集めの方法を一般市民に協力できる形で進めてほしい。早く決断しないと次の問題が(図書館など)とどこおってますます活性化が遠のく。会合に低料金の小ホールも、利用できて良い。
女性	60代	絶対現状維持で補修して、すばらしい姿の公会堂を米子のシンボルとして残してください。市長が替わればいい具合になる様に思う。市長が、米子に住んでいないで愛着がないから、こんな事になった原因の一つと思う。
女性	70代以上	外観が見苦しくならないでしょうか。
女性	70代以上	周辺市町村より米子は文化程度が相当低いと思います。文化が繁栄しなければ町の活性化は無理です。

女性	70代以上	使用しないと早く傷みますので補強を急いでください。お願いします。
女性	50代	音楽が大好きです。音響が良い公会堂、吹奏楽の演奏会、歌手の声も、あのピアノの形も美しく心に残ります。コンベンションより公会堂!!文化施設は必要。設備改修費はかけてもまた利用できるよう希望いたします。
女性	50代	新しいものも古いものも大切に使い活用することが大切ではないでしょうか?市民が求めることが行政の責任と考えます。ムダなものは他に多くあるのでは?
女性	50代	米子の街がどンドン様変わりするのを見てきたが、公会堂だけは旧市役所の建物と同様、変わらない姿でいてほしいと思う。
女性	60代	ぜひ、公会堂を存続してほしい。
女性	50代	子供のころから学校行事他コンサートで親しみのあった場所です。古いから愛着がありました。故郷を離れ十数年後に見たときはほっとする、そんな場所でした。市民の力を借りて熱心に募金活動に取り組み耐震費用を集めたらどうでしょう。協力いただいた方にはタイル等で記念に残せるとか、色々方法はあると思います。
女性	70代以上	私の時代には楽しみの公会堂でありましたが、未来の世代には他の施設でよいかと思えます。(小中高成人たち)の利用でしやすい米子の中心地であってほしいです。
女性	60代	米子市中心部の活性化の為、存続して欲しい。今の場所ならバス代も安いし時間もかからない。公会堂がなくなると淋しい。
女性	70代以上	公会堂は建築当時、市民の熱意で建築されたと云い、歴史の重みを感じます。米子のほこり、ふるさとのシンボルということをお忘れずに願っています。
女性	70代以上	出来れば耐震補強、新築いづれにしても存続していただくことを心から祈ります。
女性	60代	近年多種、多様に变化する米子市街、公会堂の存在は文化芸術など貴重な体験をした場所、自分も含め米子市民にとってかけがえのない歴史的建造物である。帰省し建物を見るたびに郷愁にかられると子どもたちの声、行政は行政なりの考えがあると思うが、公会堂存続出来ることなら、前向きに検討してほしい。(多くの方々が他県にでて"帰去来"の想いです。
女性	70代以上	現在の駅前の「文化ホール」は中途半端。コテ先の補強、修繕ではなく、改修費に14億円もかけるなら、いっそ新築すべきである。色々な聞いたり見たりしたい公演が皆、鳥取市や松江、浜田に行ってしまう、米子ではなかなかそういう公演に触れられなくて残念。どうしても見たい聞きたいものは鳥取や松江まで出かけてます。
女性	20代	ヤングカルチャーの発信源としての活用を重点的に考えて運用して下さい。
女性	40代	音響が良いからコンサートの時、違いがわかります。
女性	70代以上	あの建物が絶対良いと思います。
女性	20代	私は公会堂のすぐ近くで育ちました。公会堂はそこにあって当たり前存在。本当に何度公会堂を利用したか、沢山の思い出があります。補修工事には、多額の費用がかかると思いますが、私のようになくなってほしくないという人たちが沢山います。そういった人達の期待を裏切らないで欲しいと思います。ボランティア等を募集してみてもどうでしょうか。
女性	20代	スポーツ施設もあると嬉しい。(フットサル場とか)
女性	60代	建築物として貴重なものなので出来れば残して欲しいが、費用、その後の維持費のことなど考えると難しいことが多々あるというのが本音です。
女性	50代	公会堂がなくなったら、1000人規模のホールがなくなり、文化芸術活動に非常に影響が出る。30年以上公会堂を利用させてもらった者としては是非残してもらいたい。それだけでなく、松江、鳥取に文化的なことでは、遅れているような気がします。
女性	50代	昭和33年新築されて50年ということですが、真に米子市のシンボリックな存在だと考えます。耐震補強修繕費が14億円必要とのことで、それも考えものですがなんとか存続していただきたいものです。
女性	50代	現在の場所が良いと思っていますが、無料の駐車場で、多くの車が止められると、もっと良いとおもいます。
女性	40代	公会堂の存続を希望しますが、耐震補強だけで14億円かかるなら、いっそ新築した方がもう少し規模の大きなものを作られるのではないのでしょうか。多様な芸術に対応できる施設になることを期待しています。公会堂はやはり米子のシンボルであるとおもいます。
女性	70代以上	5年計画位で大幅な募金活動をして現在地に新築した方が良いと思う。現在の公会堂のメリットを生かした設計でとりかかって欲しい。
女性	30代	公会堂がなくなるのはさびしいと思います。ただ14億円かかるとなると、今までより違った使い方も出来る様になれば良いと思います。
女性	40代	公会堂が使えないことで、今年中学生の娘のさまざまな影響を及ぼしかわいそうな思いをさせています。公会堂は私たちに身近な米子のシンボリックホールです。一度壊してしまったら元には戻りません。大切に存続していただきたいと思えます。
女性	70代以上	私は義方校区で歳もとっておりますので、公会堂だと色々な活動があっても参加出来るから残してほしいと思えます。
女性	60代	米子市民で募金活動をして、存続できるように助け合えばよいと思います。使用目的も(公会堂)幅広く使えるようにすれば市民の活力になるのでは?
女性	70代以上	残してほしいです。
女性	50代	誰でも自由に使えるといいと思います。
女性	70代以上	公会堂利用すべきだと思う。
女性	70代以上	予算的にも反対する人が多いようですが、補修にも募金をしてみたらどうか? 思います。
女性	60代	設備改修費が14億とは...?

女性	40代	外観も素敵だし、音響も素晴らしいと思います。公会堂が使用できないと、近隣都市のホールを使用しなければならず、非常に不便です。現在の場所がベストです。ぜひとも耐震補強して早急に変更できるようにして下さい。募金もします。
女性	30代	子どものころから何度も利用してきた場所なので、なんとかこのまま残していただきたいと思います。
女性	60代	西部地震に耐えた建造物に、本当に補強工事が必要かと思う。公会堂の存続が不可能な場合、素人考えだがコンベンションホールの音響面などを整え、1200人収容に仕切ることが出来ないか。公会堂跡地に図書館か美術館を移転し、両方を整備してほしい。米子美術館に年1回、島根美術館には年2~3回行っている。
女性	70代以上	生まれ育った地であり、また結婚した年に出来た公会堂でもありますので、とても愛着があり良い方法で残してほしいと思います。
女性	40代	子どもの頃から公会堂はそこにあって、演劇などをよく見に行きました。公会堂がなくなるとなんだか淋しい気がします。存続すると多額の費用がかかることを思えば、公会堂を残すことは難しいと思いますけど…。新築するのなら、今の公会堂と同じ外観にして「新生公会堂」にするのも良いかも。あの外観でそこにあるから米子のシンボルなんだと思います。
女性	50代	できることなら存続してほしいですね。
女性	60代	新築の場合の費用は？
女性	70代以上	震度6強の地震で倒壊する恐れがあること。多額の費用がかかること(補強、新築)などの理由で利用できない状態をいつまでも放置しないで下さい。勿体ないことこの上もないと思います。
女性	50代	以前のように芝を植え、樹木も植え、周辺の緑を増やして欲しいです。人々とのふれ合いは、自然も大事だと思います。
女性	20代	米子市公会堂、なんとか存続させていただきたいです。コンベンションセンターの多目的ホールは音楽ホールとしては音響も良くないですし、米子市の文化活動をこれからもっと発展させていくには公会堂はなくてはならない存在だと思います。米子市の市民の一人として、公会堂を存続させるために何か力になればと思っています。
女性	40代	会議室を改修して使えるようにしてほしい。
女性	70代以上	私は85才の老人です。あの公会堂にて若いころ踊りをした事もあります。また、孫も琴の演奏をさせて頂き見学に行ったり、こけらおとしだと米子の伯母に連れて行って貰って思い出の公会堂です。多額の費用の要る事もあるでしょう。でも費用の事は分からず返信しました。
女性	60代	いつまでもこの状態は良くない。早く結論を出してほしい。今、米子の「まち」が元気がないので、子供たちに夢のある将来を残してほしい。
女性	70代以上	モノを壊すことは単に物質が消えることと思いませんか？これまで築いた先人達の特に心の文化を一度切り落とすことになるのではないですか。日本はもっと深い文化を持つ国であるべきなのに先進国の文化に比べ(特に政治家に見られるように)精神文化が稚拙に思える。古いものを安易に失うべきではないと思う。先進国(ヨーロッパ)を歩いて古いものをいかに大切に使用しているかをみて、住む人達の目の色の深さの一因と思った。(石の文化だけでなく木造のものも大切に修理して使われている)少々金がかかっても新しいものを思いつく前に安全なように修理を切に望みます。
女性	40代	耐震補強にしても新築にしても、米子市民や周辺の方からの多くの(人々からの)募金を募ったら良いと思う。(1円募金のような)
女性	70代以上	現在の公会堂を残すには駐車場のことが気になりますが、近くのスーパーなどと協力していただいで、安心して車で行けたらと思います。
女性	60代	文化ホールやコンベンションにない舞台の華やかさやワクワクするような期待感がある。米子市は会議室も少なく会場を借りるのも苦勞する。この機会に見易い舞台設計と会議室を増やし充実した施設を希望する。
女性	60代	魅力的な建築物は残していくことが米子市の魅力ともなると思います。素敵なお街づくりに役立つとも思います。市民募金をするなどして資金を集めてはどうでしょうか。
女性	40代	形を残してほしい気持ちはありますが、今はコンベンションセンターも出来ているし…。場所的にもあまり良いと思わないし…。14億円かーどうしたらいいのでしょうかね。でも公会堂は古いって感じなのでリニューアルしたら良いかも。公園付で…というのはどうでしょう。
女性	40代	歴史のある建造物が米子市にあっていいと思う。改修費の問題はあるが、古いものも大切に守っていけたらと思います。
女性	40代	最近若者男女にかかわらず、文化活動をする団体が増えていると思います。このような方々の活躍の場、また、市(民)が活性化する場としているのではないのでしょうか?現在の市、市長はあまりにも文化や芸術に関しての関心が低い。町おこしや市民が元気になる源なのに…と思います。雇用や就業などで、それどころではない、というつもりですが、そうした文化活動が人の心のバランスや日常生活でのほりあいというものにつながり、ひいては、市が元気になると思っています。どうか、目先の問題を金銭的なものを重視するあまりメンタル的なものを切り捨てないでください。長い目で見て、存続することが市の活性化につながるのですから。なくしてしまったものはもう元には戻りません。
女性	70代以上	市民劇場の会員なので例会をする会場がなくなり困る。文化ホールは席が少ないし、二日公演になると会費も上がり、もう見れなくなるかもしれない。1200名くらいの席の多目的ホールは必要だと思います。お金はかかるかも知れないが、何十年もつかえるものを造る(修繕する)のなら、その意味はあると思う。県西部の文化拠点として位置づけて米子市以外の周辺市町村や県と協力してでもなんとかならないものでしょうか。
女性	30代	愛着や思い入れがあるのもわからなくもないですが、それに固執しすぎて無駄なお金を使うのは賛成できない。内部も傷みが激しいと思う。面影を残しつつ再出発するのも悪くないのではないかと思う(新築)。使い勝手なども昔と今(これから)では違っだろうし、もっと多目的なホールにすれば?
女性	60代	歴史的建造物なので残してほしい。

女性	10代	いろんな思い出があるし、いい場所だと思うからなくしてほしくないです！！
女性	60代	コンサート、子供の発表会等、思い出がたくさんあります。どうぞ残りますよう。
女性	20代	現在の公会堂を来世に残す事により、今まで以上に価値の出る建築物になっていくと思うので残してほしい。
女性	40代	鳥取・島根は芸能人のコンサートがあるが、米子は少ない。いいホールがあるともっと来ると思う。
女性	70代以上	メンテナンスをしっかり行って、もっと公会堂を活用することを考えてほしい。学校関係の行事とか、映画会とか、いつも公会堂がにぎわっているを感じたい。商店街にもぎやかになると思う。公会堂は米子市の中心だもの。
女性	20代	新築する場合は、耐震補強するのに比べいくらお金がかかるのでしょうか。できればそういった情報も記載してください。
女性	20代	今回のアンケートではじめて存続問題があったことを知りました。今の公会堂のままの姿で存在してほしいです。思い出がたくさん。ただ駐車場をもっとひろく・・・してほしいとは思いますが。地元出身のアーティストの目標の場所でもあると思います。
女性	20代	米子市にあるホールでは最も音響が良いホールであるため存続してほしい。また、取り壊すのであれば同程度の音響設備のあるホールを建設して欲しい。
女性	60代	日本は外国と異なり新しいものを好む人種だと思います。ただ今回は耐震性の問題です。現場所に公会堂がなくなるとは、今以上に米子の街は衰退してしまい、ますます芸術文化も今以上に松江市などと比べ遅れてしまいます。耐震補強工事に14億円と莫大な費用をかけるなら、現在地に後世に残せる建造物を新築する形態が望ましい。
女性	20代	交差点に以前のように時計を付けて下さい。(シンプルな時計でいいので...)
女性	20代	公会堂は米子のシンボルであり、文化だと思う。公会堂存続をし、このことを機にもっと米子の文化を守り育てる気持ちを皆に持ってもらいたい。米子も松江のように文化の育つ歴史のあるところになってほしい。
女性	30代	市民が募金を募って作った全国でも珍しい公会堂だと聞いています。今は亡き祖父も率先して協力した一人だったそうです。そんな米子市民の熱い気持ちがこもった建物を大切にしなければこれからの米子はないと思います。
女性	40代	現在の場所で新築が良いと思う。(耐震や座席シートも古い)が、税金でそれをカバー出来るか不安である。座席を今より少なくしてもゆったりと座れる座席を希望したい。
女性	30代	10代の頃から音楽活動で公会堂に親しんできました。多目的ホールとしては、文化ホール・コンベンションセンターもありますが、規模・音響的にみて他の2つのホールで替えられるものとは考えられません。米子市の財政的な問題も軽くは考えられませんが、将来の米子市民のためにも存続を希望します。
男性	70代以上	1円募金に取組むなど、補強して残すべきだと思います。
男性	50代	歴史的建造物という観点から外観は残してほしいが、改築、補強は費用が多額にかかるなら現在の場所で新築して「米子市の公会堂」は存続していただきたい。
男性	10代	文化ホール、ビッグシップ、公会堂の3つが1つになるような事でもあれば有効であるように思う。中途半端な施設より公会堂のようなホールは重要であると思う。
男性	70代以上	先人の心意気を大切にするとともに、これまでの市政全般に貢献した事実を高く評価すべき。当然費用の点が問題となるが、募金、市債の発行を考えたらよいのではないかと思います。
男性	40代	なんとかして米子市公会堂を存続して欲しい。
男性	60代	鳥取市、松江市に比べ、米子市は文化芸術に遅れを取っている様に思います。是非、「山陰であるなら米子市で」と言う事になるべき施設が必要です。(それも他市にない施設)
男性	50代	ホールなどは絶対に必要だと思います。
男性	70代以上	場所的に良いところにあると思う。
男性	30代	昔からある建物を残すことは、つたえていく事につながるから、是非残して欲しいです。
男性	60代	公会堂以外のホールを個人的に借りる事が多いのですが、公会堂が閉鎖されてから希望者が増えた為か、なかなか借りづらくなって困っている。
男性	50代	米子市中心市街地の活性化を望みます。そのためには公会堂を整備し存続させる事は是非、必要であると思います。
男性	70代以上	公会堂は米子の歴史文化ホールとする事。過去に米子城の再建計画を否定した自称米子の歴史文化人が居た！軽率おろかな過去を再現してはならない！
男性	60代	歴史的建造物であり、市のシンボルであると思っております。果たしてげんじょうと大きく変わった耐震補強となると意義をなさなくなりますので、現状に沿った(外観等)補強策を希望します。
男性	30代	取り壊して、もっと収容人数の多い新しい公会堂を市民の手で建てられるよう頑張りましょう。現在の公会堂の前庭と横の駐車場の土地をうまく改修すれば、今の公会堂よりももっと規模の大きいコンサートホールができるはずです。公会堂は鳥取県西部の音楽・芸術の拠点です。ビッグシップは多目的イベント会場。この2つは違います。公会堂が今の土地から無くなれば、米子の街はますますさびれて、より一層ドーナツ化が進みます。それはとても寂しいことです。
男性	40代	・千人規模の使い勝手の良いホールは貴重(文化ホールは使いづらい)。 ・建物として魅力がある。今の姿を残していくべき。10年20年なら損得話。50年残せば、それは遺産。 ・もし補強、補修で後世に残せたのなら「全国の市民募金で建築されたホールサミット」を開くべき。 ・生い立ちが市民の1円募金の現存するホールはまれ。米子市民の誇り。
男性	70代以上	公会堂を残すのは米子市民としては望ましいが、財政上の問題として資金づくりが難しければ、市民カンパしてはどうでしょうか。
男性	70代以上	交通面が良いから、現在の場所で新築してほしい。

男性	30代	耐震補強をし、今より市民がもっと使っていけるように考えてほしい。憩いの場にしてほしい。
男性	70代以上	存続させたいが工事費が問題である。
男性	60代	補強、補修工事の費用は募金にしたらよい。14億円の半分位は集まると思う。
男性	70代以上	米子文化に欠かせない建造物である。改め直し継続する事を重んじよ。
男性	40代	米子市公会堂は米子市に残すシンボルだと思っています。
男性	60代	この建物を壊せば、米子のお城が風呂の「まき」になって以来の米子の「恥」を日本中にさらす事になる。今一度重要性を考えて、市民の力を加え1円でも10円でも出し合って立派に残そうではありませんか。
男性	70代以上	車が充分に入れる公会堂に。
男性	50代	ほかに同等の施設がない米子市で、公会堂をなくすのは今後の文化、芸術の発展に影響すると思います。4万人以上もの署名も有り、米子のシンボリック的存在という事をもっと考えるべきだと思います。文化ホールを建築する時にもっと検討するべきでした。市長の発言には真剣さが感じられず残念です。もっと前向きに。
男性	70代以上	1軒700円ぐらい募金をお願いして、米子市民の鋭意の表現を期待してもらったらどんなものでしょうか。
男性	50代	帰省して、公会堂と米子駅を見るとホッとします。米子人の心のよりどころでもある文化活動の場、公会堂をぜひ存続して下さい。
男性	20代	公会堂などの多目的ホールの存在は、今後の米子の発展のためにも必要だと思います。ですが今の場所は駐車スペースも不十分なのでもっと余裕のある場所への移転を希望します。
男性	70代以上	・耐震補強の考え方・方法をもう一度違った視点で検討しては ・新築 vs 耐震補強の投資比較を良く知りたい
男性	70代以上	新築時の1円募金と同様、市民からの募金・企業からの協力金等、全市の総力を挙げて、米子市の歴史的建造物を残して欲しい。
男性	60代	耐震について鳥取県西部地震でも倒壊しなかった、頑丈な建造物あり、すこしの補強ですむのではないか。多額の補修費は必要ではないではないか。
男性	50代	米子市は東京や東海地方と違って、地震の危険は少ないと思われるので、あまり耐震結果にこだわらず、耐震工事を精査し必要最小限の補強工事をして、存続してほしい。
男性	50代	特にありませんが、米子市の一つの顔的な役割をして今後一層利用し易い文化施設でありたいと思います。
男性	70代以上	市民各自が若干キフし行政を助けて改修するにしたら。
男性	60代	地図に書いて有るから。
男性	60代	賑わいづくりに貢献するとか、商業施設などの活性化に影響を及ぼすから等の問題ではなく、文化、芸術の問題でしょう。松江市等と比べ文化度が低いのでしょうか。駅前の文化ホールを閉鎖してはどうでしょう。西部地震で倒壊しなかったから、まだ大丈夫との声も聞く、もう一度調査してはいかがでしょう。市長はこれにかぎらず信念がないように思える。米子城を風呂屋で焚いたように後悔することがありませんように。
男性	50代	形ある物は変化し、いずれなくなります。公会堂はかんたんに壊さない方が良くと思います。デザイン的にも優れており、旧市役所のように市民のよすがになっていると思います。壊すのは簡単です。
男性	60代	前にビッグシップ大ホールを利用したことがあるが、座席の間がせまくて足をそろえてすわれない。何かしらつめこまれている気がした。後に、公会堂を利用したときに、何かしらホッとした事をおぼえています。中段からの舞台も見やすい気がしました。 問6の ですが、費用の事よりも建築物としての価値を。 問6の ですが、もっと細かく開放しては、少人ずつでも貸していただけるとか。 市民がだれでもは入れる様な気軽なレストラン、食堂など
男性	50代	米子のシンボルである古い建物を1つでも多く残すようにしてほしい。後世のために。
男性	70代以上	公会堂は、私たちの年代にとって、唯一と云える、心の建造物です。費用の負担が有っても、市と市民は、歴史的で良い物は守ってゆくべきです。
男性	70代以上	いろいろな思い出の建物を残してほしいです。文化活動、音響もとっても良くて、便利な場所だと思います。ぜったいに存続すべきだと思います。是非残して下さい。私たちの思い出の場所です。お願いします。
男性	70代以上	なんとか現在位置で残したい。駐車場に問題あり？市民文化ホールを作った目的はなんだったのでしょうか？
男性	70代以上	市民がいろいろなイベント活動が気楽に出来、みんなが親しみを感じるホールであってほしいと思います。
男性	40代	今の建物の形はとても個性的でよいと思うので、ぜひ、新築する場合でも同じデザインのものを作ってほしいと思います。また、小・中・高校生やアマチュアの方が利用しやすい料金や、今と同等の規模のホールが必要だと感じます。出来れば駐車場が倉吉未来中心位の規模のものができればもっとよいと思います。
男性	40代	今節、「耐震、耐震」と云われ、聞く事が多いですが、やはり多くの人々が使用するのには、仕方ない事かと思いますが、「事故が起こった」からでは遅いとか、責任を誰に？という事に持っていく方向なのか？無くすのは簡単ですが、何か良い方法はと考えています。
男性	50代	青春時代のたてものです。本当いうとそのまま残してほしい。
男性	50代	何とか今のスタイルの公会堂を残したい。壊すのは絶対にもったいない。絶対的な米子のシンボルである。
男性	60代	中心の米子の町づくりに新しくするのにいいと思う。
男性	30代	築50年経ち価値が高まってきた建物を、これからも大事に使い、さらに価値を高めてほしい。50年後には英断を評されるはず。
男性	30代	残すべき！！
男性	30代	山陰の中心となれる様に、ビッグシップとは色分けされた多目的ホールとして再建すべき。皆生温泉は人気なし、大山は他県から来てもお金を落として(言葉は悪いが...)いかない。何か米子につくりましょう！

男性	70代以上	市長選が近づくとつれ、この問題を政治利用する勢力があると思う。ぶれないでいづれにしても決断してほしい。野坂市長、この問題で今迄の線の細さを克服してほしい。
男性	60代	昭和32年の建設時の市民の思いを大切にしたい。米子のシンボルであり、貴重な建造物であります。ぜひ残す事を実現してほしい。
男性	70代以上	角盤町に位置するところで公会堂の偉容な姿が見られれば、周囲の活性化につながる。周囲の衰退を見てごらん。がいな祭のように米子の中心をにぎやかにしよう。芸能・文化交流に力入れる場としよう。
男性	70代以上	米子市(及び市出身者)の大資産家に、それ相当の寄附を戴き、市民も三年五年の計画を樹て慈に米子市民の忍耐強さを示す時である。
男性	70代以上	米子市公会堂は市民の集まりであり、なくてはならない。米子市の公民館である。建物を残さないで、新に建てるべき。
男性	50代	娘が吹奏楽をしております、米子市公会堂には十数年お世話になりました。コンクールのホールリハ、定期演奏会等、鳥取県、米子市にとって欠かせない存在であり、多くの米子市民にとっての思い出の場であるように感じております。是非、存続の方向でご検討の程宜しくお願いいたします。
男性	30代	公会堂の前を通る度に小・中・高の思い出が浮かびます。こんな場所は米子にありません。米子市民なら誰でも利用した事があるはず。きっと思い出があるはず。壊したらみんなの思い出もなくなってしまいますのではないかと感じます。時がたてば忘れるかもしれませんが、それはさびしいですね。お金・時間・問題は山積みだと思いますが、ぜひ今の形で残してもらいたい、そう願ってます。
男性	40代	ビッグシップに比べて美しいから。
男性	30代	立地条件がよいので、修繕、存続に関わらず、土地を有効利用してほしい。
男性	70代以上	駐車場の狭小が難点。
男性	70代以上	貴重な文化遺産であり、後世に残すべきと思う。
男性	60代	威風堂々とした建物は存在感があります。
男性	50代	壊すのは簡単ですが、お金がないからといってすぐダメにしないでほしい。公会堂は米子に生まれ育った人には思い出の場所でもあると思う。どうか残す方向で行ってほしい。
男性	30代	現在の公会堂を耐震補強して残すことが出来れば一番良いが、財政的に難しいことも理解する。公会堂は小・中・高校生の吹奏楽の文化的活動の場として大変寄与してきたものと考え。かりに無くすとしても、文化ホールなどの音響を公会堂レベル以上に改善し、こうした場を担保してほしい。また公会堂のある交差点は、米子のシンボリック位置で、目抜き通りである。無くした場合の今後の活用方法を先行して提示してほしい。(せっかくの立地を飲食店の入ったビルのような形にはしたくない)今後の活用方法が早期に決定できなければ、市民が集える公園(広場)として当面活用し、時間をかけてじっくりと、今後の活用策を検討してほしい。
男性	70代以上	市民の思いがこもった建物に非常に愛着を感じます。昨今の状況を考えると現存する古い物を残すことは未来の為にも重要なことではないでしょうか。耐震補強して米子市のシンボルとして残すことを切に望みます。
男性	70代以上	公会堂の魅力は市の中心にあるということ。市民の眼と心を市の中心に向けさせる建造物として活用してほしい。あそこに現代建造物を建てる意味はない。
男性	70代以上	折角の公会堂は残して利用したい。耐震とで設備改修費がやや高い様に思うが、もう工夫はないものか。その費用に当てるための市民募金を大規模に(全市民対象、費用半額以上を目標に)やってはどうか。何となく活気のない市民の間に良い刺激となり活性化しよう。
男性	40代	公会堂の利用についてはコンベンションもあることから不要。米子市役所の借地の問題もあるので、耐震で外観を維持して米子市役所機能を移し、現市庁舎は民間に貸すなりして収入源とする。市役所の近くなることで商店街も少しは人が戻るのでは。(駐車場の位置をうまく考えると良いでしょう。ふれあいの里の含めて検討)山陰合同銀行にお願いして100年ローンを特別に組んでもらえばよいでしょう。
男性	70代以上	その他の欄に記入してしまいましたが、出来得れば存続して欲しいものです。前庭と建物とのコントラスト、市の中心であると感じます。心が休まる様に感じています。現在の市の財政から考えれば無理な事かも?とも思う一面もあります。当局の意向におまかせします。
男性	70代以上	存続は望むものの、利用価値がなく現在のようでは魅力がない。多額な費用の負担はどうするかを始め、箱物をつくりすぎと思う。
男性	50代	民間で維持管理し、運営する手法を考えるべきである。(真の市民の財産とするならば)
男性	50代	米子市公会堂は、村野藤吾先生の設計によるものです。公会堂の使用目的、利用価値・・・等の前に、米子市のシンボル建造物として、米子市の魅力を大きくしているひとつであると信じております。
男性	70代以上	美術館の建築をしないで今のままでよい。その費用を補強補修工事の費用にしてほしい。
男性	70代以上	会場が小さいと思う。新観音寺の広いところを求めて車の置場等考えて新しく建設したほうがよろしいかと考える。
男性	70代以上	米子の中心に所在し、先人の労苦を無にせずに必要な経費は予算のやりくり(優先順位)をして、官民一体となって早急に推進すべきである。又、市全体について、町づくりのプロジェクトを立ち上げる事が急がれる。(米子市の地盤沈下は目に余る)
男性	60代	現在地は多少狭いので市営のイベント広場(青空市場)、(野外コンサート広場)、(市民いこいの広場)、(解体して更地にしてから)が良いと思います。
男性	60代	米子市は他の都道府県市に比較して文化レベルがかなり低い!!市民は無論、県市行政はもう少し努力してほしい。お金が必要であろうが、市行政のむだ使いを徹底的に無くすれば、多少の年数をかけても再建できる。

男性	50代	私どもは大ホール使用を予約しておりましたが、検査不合格の知らせを受けて、別の会場でイベントを実施した経緯がございます。私個人としては、今の場所で地下とか、バスの駐車も含めてたくさんの駐車台数が確保できるのであれば新築を希望します。しかし、多額な費用ですから移転しても結構です。私は、場所とか歴史面についてのこだわりはありません。また、ニーズに対し、公会堂が無くて問題がないのであれば新築の必要もないと考えます。
男性	30代	若いころにコンサートにいたりしていたので愛着があります。
男性	60代	存続するにしても、廃止するにしても必ず賛成、反対の意見は出る。野坂市長が「ぜひ残したいので協力してほしい」といわれればその方向に進む。時間ばかりかけて議論しても皆が混乱するばかりか、無駄な経費もかかる。リーダーシップを発揮してほしい。トップがおろおろしているようではまとまらない。
男性	30代	私が小さいころからずっとあそこに建っていたのでなくなってしまうと思うととてもさびしく感じます。市民の大切な集いの場としても公会堂は必要であると強く思います。
男性	70代以上	私などの年齢では成り立ちから文化事業の中心として深く思い入れがあります。現在、駅前へとその比重が増し、それはそれでいいのですが、それでなくても旧市街の中心的シンボルの衰退は市の為にもマイナスではないかと考えます。存続は望ましいですが、市、市民全体の盛り上がり欲しいですね。
男性	60代	ホールはいいですが、駐車場がせまいし、出入口に九号線があり出入時少し不便である。米子にはシンボルと云う物がないのでほしい。
男性	60代	米子市の中心市街地の活性化拠点の一つとして存続すべき。
男性	70代以上	駐車場のことも考えて頂きたい。
男性	70代以上	回答のとおり公会堂を残すべきと考えますが、一つ理解できない点があります。文化ホールは文化・芸術・社会教育を目的で建築されたものでしょうか、もしそうであれば、どちらかは無駄ではないでしょうか。しかし目的が別であれば論外です。公会堂は歴史的建造物であり、米子市にも何か他に誇れる建造物があっても良いと思います。その為予算的無理がありはの事業に多少の影響が出るとしても仕方ないと考えます。何かを我慢しなければ...
男性	70代以上	市の対応、対策を早く検討し市民に示すべきであると思う。はたしてアンケートの結果が活かされるのか。
男性	10代	私は音楽が好きで、米子市公会堂には愛着があり、小学校の頃演奏したことがあります。なのでよごの宝である米子市公会堂をなくさないで下さい。お願いします。
男性	50代	生まれてから今まで、米子の名所が米子市公会堂だと誇りを持って言えたのに、なくなると有名だと言える所がなくなるし、建物どこを探してもないグランドピアノの形。必ず存続してほしいです。
男性	30代	思い出があり残して欲しい。しかし、設備なども古く改善、補修に多額の費用がかかるのなら、現実的ではないかも、価値、経費、利用頻度などの折り合いだと思います。
男性	20代	米子市の職員及び市議の給与の一部を削減し、米子市公会堂の工事にまわらうでしょうか。さらに、公会堂は音響が良いので壊すのであれば、コンベンションなどのホールを、公会堂と同じくらいの音響にするのが良いと思う。
男性	60代	費用が問題という事はない。他に不要、不急の物がある。もっと知恵を出すべきだ。市長(議)・市職員給与を削減しなさい。
男性	50代	米子市の文化創造街作りにとっても大切なホールである。地域間競争の力になるのでは。松江・米子城を残した、残さないで、今の街の有り様が決まっているのでは。
男性	70代以上	駐車場を作ってください。
男性	50代	歴史を持った物を後世に引継ぎやすい様に整備すべき。若者の楽しめる場所にすべき。コンベンション、文化ホール、だんだん広場の様では、後世どころか、今の若者と共生・育成はできない。
男性	40代	耐震補強の募金を募りたい。ぜひ募金したいです。存続お願いします。
男性	30代	当該アンケート用紙を受け取り、はじめて「公会堂」がなくなるかもしれないということ考えたところ、「公会堂」のない風景を想像して寂しい気持ちになりました。普段意識していなくても、思いのほか自分の中に愛着があり驚きを感じました。是非残して頂き、地元の愛着の気持ちを次世代につなげていって欲しいと思います。
男性	60代	現在の場所で新築と希望しましたが、壊して新築...金がかかりますね。でも、先の事考えると(何十年もすれば)これ以上古くなりますので、やっぱり新築。今の所に敷地が狭いながらもいいアイデアで高島屋、やよい、商店街など活性化できるし(車社会でもやはり町の中心であるので現在の所)駐車場の事もありますね。これが一番かもしれませんね。
男性	50代	公会堂の建物は、米子市の歴史として(シンボル)残すべきだと思います。
男性	60代	米子市は旧市役所の山陰歴史館もあり、公会堂の歴史的建造物としての価値とともに、観光の目玉に出来ないでしょうか。また、公会堂の音響効果(装置)はとても良いので、なくすにはもったいない。
男性	70代以上	最終的には市民の皆さんに募金を募ってでも残したい。
男性	50代	米子市の中心に昔から親しまれる施設があることは大切ではないか。文化芸術活動のためにも米子市として大切にすべきものである。他県、他市に誇れる施設が必要。
男性	40代	14億円の中身を公開すべき、その半分以下で同等以上の仕事ができる会社があるのに、なぜ高い方を選ぶのか。つぶしたいのが本音としかおもわざるを得ない。担当者には「男」を入れるべき。
男性	40代	旧米子市庁舎もそうだが、公会堂はグランドピアノをモチーフとした歴史的建造物であり、残す方向で考えていただきたい。経費がかなりかかるようだが、他の米子市財政内の無駄な部分を洗い出し、必要ない部分は削ってでもこの歴史的建造物を残すべきだと思う。
男性	60代	米子市は文化芸術面で近隣の他市よりも遅れている。それなのに文化芸術面でのシンボルの一つである公会堂をなくすことは遅れをより一層加速する。
男性	40代	耐震補強の方法については、いろいろな意見があり、安い方法を検討できるのではないかと思います。存続の思いを持つ人はどれくらいいるのか、正確な数を知りたいと思います。市民がどうか。市外の人なら注目されることもメリット。

男性	60代	早く対応処置しましょう。
男性	20代	米子市の財布と相談して決めて下さい。
男性	20代	もともとは県外人ですので愛着があるほどではありませんが、先日最後に使用する公演で初めて使わせていただきました。文化ホールや、ビッグシップにはない必要性を感じました。米子市生まれ育っていく方々の文化を通して心が豊かになって頂くためには、必要だと思います。
男性	60代	米子市のシンボル、及び歴史的建造物、利便性など、ぜひとも公会堂を残して下さい。
男性	60代	私は昭和33年に中学を卒業し就職をしたので、よけいに思い出があります。20歳の成人式も公会堂でありました。
男性	40代	14億かけてでも残す価値のある建物だと思います。又、米子市の芸術の発展のためにも必要だと思います。
男性	50代	新築できるなら、できた方が良く、予算有りきと思われるから、補強と新築の兼合いだと思う。
男性	60代	鳥取県西部地震でも軽微な被害にとどまり、構造体はびくともしなかった米子市公会堂である。もし市が耐震診断をより詳しく行わずに廃止の判断をするようなことがあれば、市民はもとより全国から非難をあびるのは間違いない。米子市公会堂は高島屋、やよい、えるもーる商店街など一体となり、中心市街地の集客拠点として、まちなかのにぎわいを作ってきた。もしなくなる事があれば高島屋などの大型店の先行きにも、また中心市街地活性化にも重大な影響が予想される。まちの誇りとなるものが、いとも容易く壊されたとすれば、市に対する不信感など予想される精神的影響は目先の財政難問題以上に深い。まちの誇りとなるものは出来る限り残すよう配慮し伝えていく義務と責任がある。音響性能の評価が高く、脇舞台があることなどから、音楽や演劇の上演にも十分対応できる文化芸術ホールは1100席の公会堂と700席の文化ホールのみである。かつ、人口規模15万都市米子には1100席の中規模ホール米子市公会堂は不可欠である。
男性	40代	米子市での子供時代からのシンボル、思い出の場所。米子市の中心であり続けてほしい。
男性	40代	ライトアップ等でもっと目立つようにした方が市民からも愛着が出てくると思います。改装もしくは新築するにしても市民の募金を中心に市の援助で行って欲しい。
男性	40代	この地区で歴史的な建造物が少ないなかで、自らの資産を無い方がいいと思う方の意識を疑う。米子城さえ圧政の歴史などと言って再建を望まない地域なので(バカバカしい!)こういった建造物は大事にするべきだと思う。
男性	60代	米子市の赤字財政からして14億使用しても赤字は赤字。赤字がもっと増える前に改修または新築した方が良く思う。
男性	70代以上	米子市の将来の発展を見越して、皆生のゴルフ場をやめて、その跡地に市役所、公会堂、美術館、図書館等を建築してはどうか。
男性	40代	是非存続させて下さい。
男性	70代以上	改修費に14億円を要するとありますが、新築1100人収容ぐらいでどの程度かかりますか。10億円以内で出来たら新築を検討されたいかがでしょうか。その理由はコンベンション2000人文化ホール650人そこで、中間1100人収容が必要だから。
男性	30代	市民のたくさんの想いのある場所です。ぜひ残していただきたい。二階席のあるホールが近隣にありません。公会堂のみ。財源確保はむずかしいでしょうが、残すべきものです。文化活動団体の活動の場がなくなる。他のホールではステージの広さ、音響また交通の利便性どれにおいても不便である。小中高校生の発表の場としても多く利用されてきた。思い出を持った市民はたくさんいます。
男性	50代	米子市の歴史的建物です。そして、米子市の財産と考えていますので存続を強く希望します。
男性	50代	駐車場が足りない。研修施設の稼働はどうなのか 必要とは思わない。楽屋の充実が必要。
男性	40代	実施された耐震診断の数値は正しいのか。補強工事費用は14億もかかるのか。新築するなら、その費用はいくらかかるのか。疑問だらけだ。しっかり根拠を示して明らかにしたうえで方針を決定してほしい。
男性	30代	歴史ある建物は簡単になくせるものではないと思う。市民の思いを大事にして下さい。
男性	50代	歴史的建造物であるだろうが、いずれ時が来れば建て替えを要するであろう。今、お金をかけて補強するより、新たに米子市民のシンボルとなる同程度のホールを現在の場所に新築したらよい。(もちろん耐震性のしっかりした、災害の時にも対応できる建物を...) 市長、ガンバッテほしい。
男性	20代	文化財的価値を持つとともに、かつて有名な芸能人が何度も興行を行った米子のシンボルである。また、公会堂でイベントがあると、今、経済的に苦しい周辺の角盤や朝日町がうるおうと思う。よって今の場所に残してほしい。
男性	60代	取り壊すにも金、建てるのにも金であるならば、金額対効果のみならず文化的・シンボリックな建物として残すべく補強工事(耐震と限らず)使用しない、又は記念館的な使用目的での保存も一案かと思う。又、費用については市民及び企業・団体等に募金の強請されたいかが?(強制にあらず)
男性	60代	私は米子市内で、音楽活動をしています。公会堂を無くされると非常に困ります。公会堂は大切な練習場所であり、本当にすばらしいホールです。ぜひとも、公会堂を存続させる方向で、考え直して頂きたいです。よろしくお願い致します。
男性	50代	昭和33年の建築後、幾度となく音楽や演劇活動を鑑賞しました。しばらく米子を離れましたが、昨年4月に米子に帰りました。公会堂は米子市のシンボリック存在です。是非とも存続をお願いします。
男性	70代以上	多目的使用に改築される様に願います。(趣味、教養、吹奏楽等)
男性	60代	や市長の横車に負けてはだめだ。
男性	30代	いろいろ大変とは思いますが、頑張ってください。人気のあるミュージシャンのコンサートやミュージカルなどを誘致したら是非見に行きたいと思います。
男性	60代	絶対に残すべきです。

「存続すべきであると思わない」と回答された意見

性別	年齢	記述内容
女性	30代	公会堂・文化ホール・コンベンションセンターと米子市には有り、大きさもみな中途半端で使用しにくい、他の建物とかぶらない物をするべきだと思います。建物に限らず、市の中心市街地にあるなら人が楽しめる場所がいいと思います。
女性	60代	駐車場はないし、何か入りにくいし、もっと文化ホールを利用して公会堂は憩いの場にしたら、建物はのけて広い庭には花が咲いて遊歩道があって大きな木はなく雨よけのベンチがありいいと思う。
女性	40代	多額の費用をかけてまで残す必要はないと思います。
女性	50代	市に貢献するほど利用されていないように思います。文化ホール、ビッグシップで十分なのは、市民が頻繁に利用できる施設を希望します。
女性	70代以上	出来るだけ早く解体する事。これから後、文化的価値のある建物とは思わないから。維持費を使い続けるのは無駄な事です。
女性	70代以上	公会堂は、以前より催しものに利用し、私自身も大ホールの舞台上で踊りました。懐かしく色々思い出がありますが、今後のことを考えると仕方ないことではないかと思えます。
女性	60代	一部の人のみの使用が多く、営業も収入もあまり無いようですので、米子市の税収では維持が難しいと思います。もう役目は終わったのでは。
女性	40代	存続に絶対反対です。図書館や美術館の予算を止めてまでも耐震工事を優先させるなど本末転倒。若者が米子で働きたい、住みたいと思える街にするために、財政赤字を早く止めなければなりません。米子コンベンションセンター、文化ホールがあるので、公会堂を残す意味はないと思います。野坂市長、苦しい決断だと思いますが応援しています。よろしくをお願いします。
女性	70代以上	バス停に隣接していい場所だと思う。更地にしてバス停を利用する人(年配の人が多く様に思う)に魅力のある何かを考えるのもいいかも知れない。
女性	40代	公会堂には愛着がありますが、今のこの時代、不況の風当たりが強く、年々収入が減っています。この事業により、税金がこれ以上高くなるのなら存続は反対です。
女性	70代以上	今、平成の貧困期と言ってもいいと思います。この時期に建てるべきでは無いと思います。しばらくは時期を見据える間、更地にして公・民のイベント会場にでもしてみたらと思いますが...どうですか？現実、私たちの生活をもっと知ってほしいです。住み良い市にしてください。
女性	40代	歴史的建造物であるという点では愛着をもちますが、米子市の財政事情を考えると存続は難しいと思います。近年(文化ホールが出来て以来)の利用率はいかがですか？それも低いようなら尚更存続はムリかと思えます。
女性	30代	現在閉鎖中であり、そのことによって実際どのような影響があるのか、不便、不都合があるのかよくわかりませんが、必要ない施設だと考えます。文化ホール、コンベンションなどを利用すれば公会堂の必要性はないと思うし、お金の無い米子市が無理にお金を費やしてまで存続させるのは強く反対します。子育て事業、予防接種への補助など、もっとお金をかけるべき所が沢山あると思います。
女性	40代	公会堂跡を公園にしたらどうでしょう？
女性	40代	歴史的に価値のある建物であるということは分かるが、建築物として取り立てて美しいとは思わない。公会堂の存続問題で図書館周辺の整備が遅れているのなら、さっさと取壊しを決めてほしい。読書や美術に日常的にふれて憩うことのできるエリアを早く作って下さい。
女性	70代以上	65才以上の人が多くなったこの時代に合った事に使ってほしいです。
女性	50代	私は米子市で生まれ育ちました。公会堂にはたくさんの思い出があります。でも、どうしても残したいとは思いません。時は流れ、変化してゆくものですから。多額の費用をかけて存続するよりも、終わりにした方が美しい思い出として心に残る気がします。
女性	50代	だいたいと同じ様な施設はいらないと思う一つの施設を維持するののもすごい経費がかかるのに...。こう言った施設を利用する人は限られると思う。ちなみに私はこういった施設を利用したことがない
女性	60代	建築費に市民の募金が含まれており、愛着がありますが、多額の費用がかかるそうですので、弱者の生活がしやすい米子市にする為にお金を使ってほしいと思います。
女性	20代	現時点で閉鎖しており、他の施設で賄うことができているなら、14億円をかけてまで修復して維持していく意味があるのかと思います。
女性	30代	14億円をかけるほど利用されているとは思えない。お金のムダ使い!!
女性	60代	現在地では駐車スペースが無く利用しにくいと思う。
女性	20代	公会堂には愛着がありますが、改修に14億円もかけるということには賛成できません。改修以外の活用方法を考えるべきだと思います。米子中心部は商店街なども含めて活性化しつつあると感じています。公会堂のある場所が有効活用されれば、さらに中心に人が集まると思います。今後の米子市にとって重要な問題だと思うので、他の地域の成功例などを十分に研究し、市民全体で考えていくべきです。わかりやすい説明と提案をお願い致します。
女性	30代	現在の公会堂のある場所はいい所なので、もっと市民がにぎわうようなことをしてほしい。公会堂は歴史があるものだけど、一度こわして若者がにぎわえるようなものを新築してほしいです。(補強・補修する費用にするなら...)
女性	30代	文化ホールを作る前に、公会堂の補強・補修工事をするか、別の建物を立てるかもっと議論したら良かったと思います。米子市に同じような施設が2つも必要とは思いません。
女性	60代	形ある物は、いずれ壊れます。当初の建設にかかわった人々にはいろいろの思いがあると思いますが、ここは冷静に長い眼で将来を見据えるべきだと思います。愛着はありますが、それとこれとは別問題です。

女性	40代	米子市には、文化ホール、さなめホール、コンベンションがあり、公会堂の役割は終わったと思う。もう少し、学校教育に予算をかけて欲しい。この問題について、市長にリーダーシップをとって欲しい。
女性	50代	文化ホール、ビッグシップもあるし、耐震補強しても駐車場がせまいのでやめた方がよいと思います。
女性	50代	時代の流れには勝てないようです。
女性	70代以上	美術館などの利用がしたい。米子の美術館のあまりに小さくて良くないため。
女性	40代	昔は公会堂しかなかったので、よく利用していて愛着はあるが、現時点で多額の費用をかけてまで存続すべきとは思わない。商店街のアーケードがなくなっていく寂しさと同じだが、仕方がないと思う。
女性	30代	今度は地元の設計の人に、カッコいい、ずっと残したい建物を建ててもらいたい。
女性	40代	米子市に転居して16年、一度も公会堂の中に入った事はありません。近年、成人式も文化ホール(?)ですし、芸能にも興味ありません。血税を使って改修する金額で、もっと他の事で米子をよくする方法がないでしょうか。
女性	40代	今は米子に住んでいますが、元々米子の人間ではないので、正直言ってピンときません。同じようなホールもありますし、市民の税金を使ってまで補強工事する意味があるのか？仮に修理をする事になり存続するのであれば、「米子市公会堂」ではなく親しみやすい名前にしては？ 関係ないかもしれませんが、約14億もかかるのであれば、中学校に給食をお願いしたいです。せっかくおいしいものがたくさんある環境なのに。残念。
女性	50代	公会堂は古くからある建物ですが、今の段階では、色々な面で難があると思います。
女性	50代	駐車等がしにくい場所にある。
女性	70代以上	公会堂跡地については、米子市美術館は狭いと思いますので、もっと充実した美術館が出来て美術振興になればよいと思います。
女性	70代以上	米子市は大赤字の市だから…。
女性	30代	確かに文化団体の中には公会堂が無くなると不便な思いをする方々もおられるでしょう。でもそれは、市民全体から見ると少数です。市の財政状況からして、今後莫大なお金で改修し、毎年維持費をかけることは将来の米子市を担う子供達に負担を強いるという観点からも反対。それより保育園や小中学校のハードにお金をかけた方がよいと思う。古いところは本当、地震で倒れるのでは？公会堂跡地と市の庁舎敷地を等価交換する、と地主が納得すれば、公会堂をとりこわしやすいのになぁと思う。財政的にもかなり有利ですよ。
女性	20代	多額の費用がかかるなら、もっと子育て等の支援の方にお金を使ってほしい。インフルエンザの助成(子供のいる家庭も助成など)など、お金を使う事は沢山あります。今日明日必要な事に市のお金は使ってほしい。
女性	40代	残念ながら米子市の財政を考えると、多額の費用のかかる工事は無理ではないかと思います。将来的に市の財政破綻などに繋がれば、子供達世代にも大きな負担になります。
女性	70代以上	取り壊して街の活性化のため、跡地を活用するべきである。
女性	40代	私たちの税金は、日々の生活を我慢して支払っています。他に大切な事に使ってください。
女性	30代	補修に多額の費用をかけて存続したところで、利用者が増えるとは思えず、今ある文化ホール等を活用する方がよいと思う。市民としてこれ以上財政を圧迫してほしくないで、存続に賛成できません。
女性	60代	歴史的建造物であるという意見をいろいろと聞いております。しかし、今の米子市の財政で無理をして存続するよりも、学校保育園の耐震補強及び改築、新築に予算をまわして下さい。文化ホールなどの施設を利用すれば充分だと思います。
女性	60代	有名な設計士で屋根の形がグランドピアノになっていると聞いても、下からはわかりません。運転をしない方が存続の声が多いように思います。エルモール駐車場が暗いイメージで、新しい公会堂が出来たにしてもイメージダウンです。松江の県民会館によく行きますが、お年寄りを含め利用者の多いのに感心します。周辺もすっきりしてます。コンベンションホールを建てる時のあの騒ぎ何だったのでしょうか？じっくり検討して米子の街づくりががんばってください。
女性	50代	私も子供も吹奏楽の演奏でよく利用し参加し、思い出はありますが、時代の流れだと思えます。
女性	70代以上	特に無い
女性	70代以上	公会堂へ車で来て無料駐車場もなく、バスを利用すれば千円弱のバス料金がかかりますのでここ十年ほど公会堂へは行った事ありません。いろいろ費用をかけて存続する必要はないと思う。
女性	40代	旧1円募金など、米子市民の思い出がつまった施設だとは思いますが、今は同じような施設がほかにあり、多額の費用をかけ、工事をする必要があるようには思えません。
女性	60代	公会堂は壊した方がいいと思います。跡地は市民が憩える場所兼地震のような災害があった時の避難場所に使えます。公会堂を建てる前にあった重厚な建物を再現するのもいいと思います。話は違いますが、湊山球状の跡地を鳥大医学部を充実させた方がもっといいと思います。駐車場に入れない車が道路にあふれて危険です。以上。
女性	60代	募金活動等行ってそれからの議論。
女性	50代	文化ホール、コンベンションが出来たので必要なし。存続する事により又ムダな税金が使われる。
女性	40代	明日の生活ができない人が沢山いるのに、公会堂の改修はそれからだと思う。借金まみれの米子市が、また借金して一部の人のために市民が負担するのはナンセンスである。文化団体は比較をコンベンション、文化ホールとするが、淀江文化センターの事は言われないのは、便利が悪いだけだからと思う。
女性	40代	優先すべき事業として美術館、図書館の整備があると思う。公会堂は歴史的建造物であるかもしれないが、費用の面を考慮するとやむを得ない。募金などでは一時しのぎであり、定期的なメンテナンスを考えておらず無理。
女性	60代	車社会となり利便性が悪い。公園にすると良いと思う。
女性	40代	50年もの長い間鳥取県西部の中心建造物としてやってきたのだからかなり老朽化していると思います。私個人の意見としては、公会堂はもう米子に必要ないと思います。

女性	70代以上	ピックアップをもっと活用したらいい。なお、自動車道はこれ以上必要なく、自転車道を作っては?シャレた町にしてほしい。
女性	60代	私は13年前から米子に住んでいるので良くわからないが、公会堂の建物がなくなったとしても跡地を公園にしてほしいと思います。
女性	30代	広くて豊かな環境の中(緑地帯があり大山が見える。駐車場あり)に建物があることを望みます。中心市街地にこだわるのがいいのでしょうか?
女性	50代	残す必要ない
女性	40代	歴史的建築物と聞いていますが、私には、そのすごさがあまりピンときません。ただでさえ米子市の財政が厳しい時、そればかり(公会堂)にお金をかけてよいのでしょうか?と疑問です。
女性	60代	今後、ますます高齢化社会になるにつれて、公会堂利用が減って来るように(少子化傾向)思います。
女性	60代	米子に昔からあるホールでなつかしい存在ですが、 の理由(補強、補修工事に多額の費用がかかるから)からしたら存続は難しいと思います。
女性	30代	外観からでも古いだけで歴史的な建物に見えません。あんな暗いイメージの建物は必要ないと思います。コンベンションセンターだけで十分だと思います。
女性	30代	あまり関心がなく返答がつかなくなってしまったように思います。すみません。
女性	40代	催しものを公会堂でしていることさえ知りませんでした。県外から嫁いできて、図書館の狭さ、他びっくりしました。お粗末ですよ。公共施設にもっとお金をかけるべきです。市民のためにもっと有効に予算を使って下さい。
女性	70代以上	あまり利用されてないと思いますから、多額の費用をかけてまで、新築など必要ないと思います。
女性	70代以上	場所がもっと郊外でもよいと思う。駐車場がない。東山とか弓浜地区に移転してはどうか?
女性	60代	今までは米子の中心に位置して良かったが、現在車で移動することが多く、駐車場が広くないと利用がしにくい時代になっている。
女性	20代	あまりにも工事費がかかり、賛同できません。
女性	40代	現在の財政状態で存続の費用を捻出するのは困難ではないか。どの市民サービスを削減すれば存続できるのか、例示して欲しい。しかしながら、児童・生徒数の多い学校や、米子市単位での小・中・高校の文化行事を行うため、公会堂のような中心街にあるホールは必要不可欠と考える。ゆくゆくは施設を新築するするという構想でいて欲しい。また、1円募金をされた方々は愛着があると思うが、50代後半以降の方と思う。もっと将来を見据えてほしい。
女性	40代	東京歌舞伎座ですら、新しくビルになるのに、公会堂にいくら思いがこもった施設でも、文化ホールがある。利用もされていない公会堂に税金を使っても、今後ものすごく集客力のある施設になるとは、全く思えない。
女性	50代	文化ホール、コンベンションがあるので、公会堂の経費は、他の予算に持って欲しい。介護施設など不足しており、100~200人待ちとも言われています。福祉の充実を願っています。
女性	50代	米子に財政的余裕が無いと思われる。駐車所のスペースが少ないので使いにくいと思われる。ただ、公会堂が残らないのは、さびしいとも思う。
女性	30代	中心地で駐車場などなく不便
女性	30代	かつて(昭和の頃)の公会堂の役割は、とても重要です。町の中心、米子のシンボルでした。車社会になり、町の中心が消え、公会堂も倒壊の可能性が高い今、あの場所には、米子の町を再活性する施設というより、米子市民の利便性を考慮した支援センターや、毎日市民の利用できる所にして欲しいです。もう一度、人の流れを作り直す意味でも、高島屋や商店街のことも含めて。
女性	40代	速やかに方向性を示して下さい。
女性	70代以上	10代より公会堂にはたくさんの思い出があります。ウィーン合唱少年団の際停車で一人一人ローソクを持って、またそれがすごく良かったです。「 Coppélia」「立川澄人のオペラ」等など、存続したい一面、いつも駐車場が不便でした。移転、新築し例えば米子城近くになれば、と思います。
女性	60代	公会堂を解体し、市民の広場とか、無料駐車場とか、市民がよるこぶ事を考えたらいいと思います。
女性	30代	ホール自体のすばらしさはわかるが、その他の設備(控室、リハーサル室、トイレなど)の使いにくさ、古さは使用者の低下の要因にもなっていると思います。(交通の便についても)
女性	70代以上	私は後期高齢者ですが、若い人たちは大いに利用して文化方面に活躍して欲しいと思います。
女性	60代	50年に亘り米子市の発展に活躍してきた貴重な惜しい建物ですが、高齢化、人口減少、財政等々今後のことを考えると両手あげての賛成はいたしかねます。
女性	40代	何にお金を使っていけばよいのかを考えて欲しい。
女性	70代以上	文化的催しがあっても駐車場が狭いから有料駐車場を使用しなければならず、入場料と車代で金額がかさばります。せめてふれあいの里にでも駐車できるように配慮下さればいいと思います。(催しものがある時だけでも、特に夜)
女性	50代	米子に帰ってきて13年。しかし公会堂を利用したのは、たった2回。残念ではあるが、これ以上残しておく必要がないと思う。
女性	50代	公会堂でなく、がいな祭りのときに思ったことですが、この場所に3F、4Fの車パーキングをとりました。米子市の市民であれば、安く、祭りの時はせめて3時間1000円くらいとか、いろいろ有り大きな車を入る所がないため、あったらいいなと思う。
女性	50代	有名な建築の方の設計と聞いていますが...残したい気持ちもありますが、明日からまた時を重ねていく上でそれ以外にも考えていかなければならない問題点も出てくるかも...。私は子どもの合唱コンクールに出かけたくらいです。芸術関係に縁遠くですいません。

女性	60代	補修工事に14億円を要すると報じられていますが、他に優先すべき事業はいくらでもあるし、このようなアンケートを実施すること自体ナンセンスではないでしょうか？
女性	70代以上	新築したらどれくらいのコストがかかるのか？知りたかった。
女性	30代	もっとあの土地を有効利用するべきだと思う。
女性	60代	費用が潤沢にないのだから、現在ある施設(コンベンションも含む)を十二分に利用することで良いのでは。県と市の垣根を取って文化事業は1本にしたいと利用する側は便利。費用は施設利用料を低くするとか、文化事業の助成(人に)に力を入れていただきたいです。
女性	30代	工事に14億円もかかり、他の事業に影響を及ぼすのなら公会堂はなくなっても仕方がないと思う。もっと大切な事業がたくさんあるのではないのでしょうか。
女性	70代以上	建設当初、公会堂中心に市街地が賑わっていたように思います。公会堂を壊すということになれば今停滞ぎみの米子市街地の賑わいの戻るような施設が造れたらいいなと思う。
女性	50代	公会堂必要ありません
女性	50代	何のためにいる施設なのかもっとみんなに知ってもらうことが大事だと思います。
女性	50代	公会堂に付随する駐車場がないし、いつもどこに停めようかと思ってしまう。
女性	10代	14億円もかけてまで存続建築物とは思いません。米子市民にとっては昔からあるなじみの建物で、愛着もあると思います。では、全国的に見た場合、どうですか？全国に誇れるほどの歴史があると思いますか？14億もかけて守る価値がある建物だと思いますか？私は思いません。そしてその14億にはもっと適した使い道があるはず。歴史的価値はわからないが、現実問題、米子市の財政では維持は困難ではないでしょうか。他にももっと税金を使うところがあります。
女性	20代	歴史的価値はわからないが、現実問題、米子市の財政では維持は困難ではないでしょうか。他にもっと税金を使うところがあります。
女性	70代以上	当設問では、外面的な判断に頼るしかない。改修工事費の14億円が、市予算に対する規模比較ができない。存続にこしたことはない！利用頻度の対比等を提示してほしい。
女性	30代	県外から転居してきたので公会堂についてほとんど知りません。このアンケートをとるなら、もっと公会堂の歴史や利用状況、コンベンションとの使い分け方、新築費用、維持費などの具体的な情報を提供してほしいです。
女性	50代	年配者にとって愛着がある公会堂であるが、文化ホール、ビッグシップ等同様の施設に愛着を持っているであろう若者にとって財政難を更に厳しくすることは将来を暗くする。
女性	20代	米子市に引っ越して1年程であり、正直あまり知りません。長年移住している方にアンケートすべきだと思います。
女性	60代	15万人口に5施設は財政上負担が多いと思う。コンベンションをもっと使いやすくしたり活用方法はあると思う。公会堂の付帯施設も早々と欠陥工事が見つかり補修しており、あの屋根のコンクリートも耐用年数も短いのは…。息子たちの意見も不要です。新たな負債を若者に負担は酷なことですし、他に必要な事業を優先するべしです。一部の文化人には申し訳ないですが、他施設の有効活用を思いだして頂きたい。
女性	40代	米子市民にとって愛着のある建物だとは思いますが、多額の維持費をかけてまで残す必要はないのではないかと思います。
女性	70代以上	本心は残したい気もあります。私たちの過去いろいろな事に使用して使ってきたから...でも現在いい建物も出来大変便利になっています。ここで多額の費用を使うより他に使うところがあると思いますので...
男性	60代	文化ホールもあるし、代替えるにしても敷地が狭い。何か別な多目的ホール等、公共のものが良いと思う。
男性	70代以上	公会堂は存続すべきではない。 1.費用対効果考えた場合、14億円は他の事業に有効に使いたい。 2.文化芸術活動施設は、米子市中心市街地だけで考える必要はない。境港市、島根県東部などの施設を広域で相互に活用することが、地域の活性化に有効な手段だと考える。
男性	50代	多額の補修、補強、維持経費をかけて運営しても成果は見えず、今後ますます負担が増すのではないかと。
男性	60代	今後、多額の経費を注入して施設を維持するなら新築にすべき。古い建物にいくら資金を注ぎ込んでもいろいろの欠点のある公会堂は良くなりません。
男性	40代	成人式を公会堂で行ったので、多少の愛着はありますが、今後施設の維持の面を考えると、経費で厳しいのではないかと考えています。
男性	50代	市財政が赤字が続いている状況下で、多額の費用をかけてまで公会堂を存続させる必要はないと思います。我々の血税より産み出された大切な予算です。我々が安心して生活するために必要な事、物(福祉、教育)にしっかり支出してほしいと思います。
男性	60代	米子市はとて大変です。これ以上税金を使って欲しくない。少ない給料から税金を払っています。市民に負担が来る。生活もやっていけない。血と涙のお金を払っています。
男性	50代	土地を移転して大きな物に建てかえる事。 今の文化ホールも中途半端で要らない。 広い土地(使用していない土地)が沢山あるので、その土地を有効利用するのが良いと思う。
男性	70代以上	米子市財政破綻に近い状況の中、公会堂は他の施設で代替えを行い、耐震補強工事、設備改修の実施には反対します。また、公会堂の建物を解体し土地が市の所有地であれば売却を考え財政の負担を軽減していただきたい。
男性	70代以上	公会堂の代わりは他にもあるので、立地の良さをもっと活かした市民がいつでも誰でも利用できるようなコミュニティを作してほしい。
男性	50代	公会堂の役目は終わった。市街地の真ん中に、現代に通用しない建物が存在することの意味はない。ましてや多額のお金をかけて旧物を残そうとすることなどバカバカしい。ノスタルジーにひたっている場合ではない。あっさり壊して広場にでもしたらよい。(いざという時の集合場所等に活用できる)

男性	70代以上	経済の国際化への対応の遅れ、過疎化、高齢化、財政の悪化など先の見通しのつかない大変な時代です。他に同じような目的のある施設があるのに14億円もかけて存続させるよりは、もっと他に優先させる事業があるのではないかと思います。
男性	70代以上	当局と市議会が結論を出さないのは必要ないと思っているから。現在将来共に交通の便利さ、駐車場の有る所が必要と思う。公的な設備は必要ない。人口の少なくなる米子市で負担になる。
男性	70代以上	今の公会堂は車社会の時代、駐車場も無い場所での公の場所としてはふさわしくないと思う。市外から利用するには市内一番不便な所である。
男性	50代	駅前施設で十分に文化活動は対応可能。公会堂が存続できればそれが良いが、費用対効果上ムダの部分と考えます。市街地の活性化は別事業で頑張って下さい。
男性	70代以上	現在の公会堂は音響効果(設備)が良くない。(改修では改善できない)と思う。
男性	40代	問6がすべてです。未来を見据えて下さい。
男性	40代	米子市は財政難であるのに、公会堂に税金を使うのはどうか。確かに公会堂は貴重な建物だと思うが、今のこのご時世、公会堂より市民の生活(税を安くするか)を守る事が大事ではないでしょうか。
男性	70代以上	現在の公会堂に補強費が14億もかかるようであれば、取り除き、跡地に借地料を毎年数億円支払っている市役所を移転させて、地下とふれあいの里の余白地を駐車場にして5~6階建てを検討されてはいかかでしょうか。人口13万人程度の市であれば文化ホール一つで結構だと思う。
男性	60代	公会堂の跡に米子市役所を建設したらどうか。
男性	60代	本来は歴史的建造物を残すべきものと考えますが、耐震等保存、維持管理費の費用対効果を考えるべきもの。そもそも米子市文化ホール建設に当たって同等の利用価値ある建造物を建立した趣旨と併せて考える必要もある。いずれにしても多額の資本を投入することなので、市の活性化、文化事業にして、将来を見据えて有効に活用できることを第一に考慮するべし。
男性	70代以上	補強、補修工事費用の目先の費用のみでなく、維持管理費用等を考えた場合、存続する価値が無いと思います。
男性	60代	利用者にとって使い勝手が悪い。駐車場がなくて不便。
男性	50代	公会堂を、音楽や演劇の会場として多額の費用を投じて補修する必要はない。山陰歴史館のような歴史的建造物として、あまり予算を使わず残すのは賛成。しかし多額の費用を使ってコンサートホールとしてリニューアルするのは反対です。安い費用で「米子観光センター」的なコンサートホール以外の用途で再利用できるなら支持します。
男性	40代	14億もかけるなら、もっと福祉など、市民全体に役立つ事業を進めてもらいたい。
男性	60代	思い出だけでは市の財政には重すぎる
男性	70代以上	建て替えるメリットがない。駐車場のスペースが物足りない。鳥取・境港に比べ、米子市独自の発信力がない。
男性	40代	駅前に文化ホール、コンベンションセンターがあり、同様の目的の施設は不要と思います。米子の今後を見据えた都市計画をしてほしい。
男性	60代	米子市民の心意気で募金により耐震工事するか、解体して駅前のコンベンションでイベント会議を消化すればいいと思う。
男性	70代以上	米子市中心市街地であり、活性化上では必要と思うが、駐車場が無く補強補修しても遠くの人たちは利用度は少ない。補修等するならせめて300台の駐車場が前提になる。活性化は市外地より自家用車で不自由無く集まれる事が前提となります。
男性	70代以上	空間、憩いの場所等にしたら
男性	60代	跡地を市民公園にすべきだと思います。
男性	20代	1.他に優先すべき事業がある。 2.この不景気な時期には公会堂は廃止。
男性	50代	米子の中心地はもっと他の活用策があるのでは？
男性	60代	建物をとりこわして土地を売却すること
男性	40代	建物としてはその役割を終了したと思う。ただし、市民の集う公会堂の役割は、今後も、市民にとって必要性が財政との調整を踏まえて維持費は市税より入場者(市民)料金負担相当を明示され可・否の早期決着が望ましい。
男性	60代	使用しない建物に多額の費用をかけて保存するよりも、現在はコンベンション等で十分機能していると思うので、現在社会に於いては利便性も悪いし、撤廃して他の事に利用したほうが良いと思う。記念のオブジェを残して置くくらいで良いと思う。
男性	30代	米子のランドマーク的な建物だと思うが、今後の維持を考えると多額の費用を要すると思われる。現在ある建物が無くなるのはさみしいと思うが、それも仕方ないのでは、と考える。
男性	30代	公会堂存続に14億円を使用するくらいなら子育て支援等に費用を使って欲しい。公会堂が存続したからといって中心市街地の活性化にはつながらないと思う。費用対効果が無い!!
男性	60代	公会堂が米子のシンボルとは思わないし、耐震補強をすれば多額の費用もかかる。もし施設の建築が必要ならば、他の場所に今後のことも考えて移転新築すべき。
男性	50代	築50年経過した建物に14億を投じて耐震補強工事を実施しても、倒壊はまぬがれるかもしれないが、床、壁、天井といった部位に関してはかなりの被害がでるはずだ。これでは緊急避難施設とは言えない。
男性	60代	公会堂を存続させるのなら、存続希望者が費用を全額負担すべきであり、存続反対者も負担している市税を投入すべきでない。
男性	60代	財政難の折り返ちに解体すべし。
男性	50代	補強工事に多額の費用をかけるなら、同様の施設(文化ホール等)を有意義に利用し、体育施設を充実させてほしい。米子市には全国レベルの大会の出来る施設がない。

男性	60代	お金(税金)もないのに、色々の施設はいりません。今ある施設をしっかりと利用しましょう。
男性	70代以上	新築・補強等多額の金を使ふなら米子市のシンボル・米子城を生かすべきです。旧市内は大半を住宅地にするべきです。自然とマーケット街はにぎやかに成ると思います。周辺の町は優先事業がたくさんあります。小、中学の改築地区の公民館の改築等々々
男性	70代以上	コンベンション 文化ホール 淀江文化センターなどもっと活用すればよい。駐車場のない公会堂は行きにくい。多くの費用かけて修理しても無駄だ。淀江文化センター もっともっと利用して下さい。
男性	60代	跡地は駐車場にして大型バスが2～3台程度止められるようにし、団体の観光客に来てもらう。<市街地に観光資源があればの話だが?>その場合、今ある管理棟は残すか建て直し、観光客がみやげ物を買えるようにする。余談だが、R431号線は休日には県外車が多数境港方面に向かうのを見ると悲しくなる。米子はただの通過点。補強して残す場合は、署名した人には少なくとも1人10万円程度は寄付してもらいたい。署名だけ集めて寄付をしないというのは無責任だ。 どうしても建てる場合は、別の場所がいい。米子市民だけが利用するわけではないから近隣の市町村にも寄付をお願いするべきだ。(米子市民でも一生に一度も利用しない人は多数いると思う。ちなみに私も数年に1回くらいしか利用しない。) 5年後ぐらいをかけ、毎年積立と寄付をしてもらう。
男性	60代	市街地で交通上使用するときには危険な状態がある。駐車場も不便。老化ひどく外観も悪いし耐震経費等 存続すべきでない。
男性	50代	公会堂維持に多額の費用を使うなら学校施設の耐震化や冷房設備を行う方が優先と思う。
男性	70代以上	世の中はインターネットの時代へと変化してきている中、米国のサブプライム問題の飛び火も手伝ったこのデフレ不況の最中、市民の生活第一に考え、減税を断行してほしい。そのためには、歳出削減が重要課題になると思うが、そのひとつとして、公会堂は解体し、跡地を大企業に売却して戴きたい。
男性	70代以上	文化ホールなど同様な目的の施設が他にあるから。
男性	40代	立地条件を考えただけでも、イベント事があるとたいへん車が混雑し迷惑。米子市は税金が高い!
男性	30代	米子市が中心となって一流のホールは造れないでしょう。
男性	60代	必要性があれば補強補修工事してもよいが、他にビッグシップ、文化ホール、淀江にも文化センター等があるので必要なし。多額の費用をかけても施設を維持していくのが難しいと思う。
男性	60代	昔から(出来た時より今まで)稼働率が悪い事実を知っていますか?地元だけの使用のみではなりたなかつたのではないですか?(事実大きいイベントは鳥取、鳥根県民会館に取られていたのではありませんか!経費をかけ維持をかけ、これからは無理な事です。新しい施設の稼働率を上げるべきです。前回音響の工事をすべきでなかった!何の意味もなかった!!(工事屋優先的は大反対!!)
男性	60代	市民の憩いの場にするか社会の福祉関係、賃貸して市の税収にする様な有効に使う事が必要。公会堂を存続希望の方は、買取か又は金徴収すべき。市民の血税つかうべきでは無い。
男性	60代	跡地の有効利用を考える方がよい。
男性	30代	県立図書館並みの新設米子市立図書館をつくるべき。現市立図書館の場所は、美術館をあげれば良い。
男性	60代	控室が狭く、出演者より苦情の多い建物と理解していますことと、駐車場、周辺の道路事情等々、これまでは観客の立場を中心に改修されてきておりますが、不十分なこと、又、市民に好評であった催物のレポートが取れない原因を考えれば、他の場所での新築が適切と考えます。
男性	40代	文化ホール、コンベンションセンターなど同様の施設がある現状で、限られた一部の市民の芸術活動のために、多額の税金を投入してまで公会堂を存続させる事は納得できない。中高校生の練習場所がなくなるという意見もある様だが、それぞれの学校で練習すれば良い事である。今年は酷暑で熱中症になる人も多かったが、小中学校などではエアコンはおるか、扇風機さえない所がほとんどであり、校舎自体の耐震対策もできていない状態で、児童の健康・生命に関して心配している。市長は、市の財政が非常に厳しいという事を市民に説明した上で、本等に優先されるべき事業に税金を投入すべきと思う。また、美術館・図書館の整備事業と公会堂の存続は全く関連のない事である。公会堂の件を人質にとった形で、美術館・図書館の整備事業の予算を凍結している事に関して、納得できない。
男性	50代	市役所の借地料とか議員定数の削減問題とか基本的な財政難の問題を解決していく方が優先しなければならぬ。一部の人の愛着心は全員の意志ではない。大局的な見地で問題を考えてほしい。
男性	70代以上	補強するとみにくくなる。(カッコわるい)
男性	60代	全てのものには限りあり。全体を欠。優先順位を決め道理に基づいた計画を立て行うものは何百年経ようと施行すべし。公会堂の事のみではなく、TOPは米子の行く先を考えて行動すべし。まず、自分の考えを表すべし。失敗は必ず有る。
男性	50代	14億円かけるなら、より有意な事業に使うべき。
男性	60代	このような施設は他にある。耐震補強等必要ない。早く取り壊すこと。
男性	60代	存続に値する建物とは思えない。(地震への危険性・駐車場の確保・市の中心にある建物のわりには有効利用されていない・使い勝手が良いとは思えない)
男性	50代	公会堂はよいホールだと思うが、小中学校にエアコンをつけるなど、他に大切な事業があると思う。
男性	70代以上	中心部では駐車場の利用等利便に問題もあり経済的な負担もあります。駅前文化ホール及びコンベンションの機能を活用することも重要ではないかと思います。
男性	60代	駐車場も周辺になく利用しにくい。中心街にあるべき施設とは思わない。改修しても市民に効果的に活用される見込みもない。米子市の中心にふさわしい建物とは思わない。跡地を有効利用した方がよい。一部の老人のノスタルジーの感情に流されるべきでない。

男性	30代	公会堂が歴史的なものなののはわかるが、他に代替え出来る施設があるわけだから、もう歴史的役割を終えてもいいと思う。14億を使うなら、もっと必要なことに使った方がいい。維持費のかかる箱モノはなくす。出来るだけなくしていく方向がいい。
男性	60代	昭和33年、小学生の時、写生に行った思い出等より、愛着はありますが、ここ数十年は用もなく、入っていません。他施設もあり、役割を終えた印象です。米子の核となる中心地ですので、有効な活用を願います。(跡地利用となった場合)
男性	60代	大ホールがあって1,100人収容出来ると言っても、この車社会において駐車場はないに等しい。先の見えない不景気な時に多額の税金をかけて市民が満足出来る効果、効用があるのか？事業にばかり税金を使わずに市民の生活に目を向けるべきだ。
男性	50代	取り壊して桜の木を植えて公園にすればいい!!!
男性	50代	多額の費用がいる事で、今後、税金の使い方をもっと考える必要があると思います。
男性	70代以上	今のままでは、駐車場が狭いから行きたくない。
男性	70代以上	若い頃より4~5回位しか入ったことはないので愛着もない。
男性	30代	市民の税金を投入してまで維持していく必要はないと思います。文化ホール、コンベンション、公会堂にしても、生かされてない現状があると思います。まずは、今あるものを利用してから考えていただけたらうれしく思います。
男性	50代	公会堂に対する市民の思いは立場、利用の有無等により異なって当然です。改修して文化活動に活用できれば最良ですが、米子市の抱える問題は多く、又予算を考慮した優先順位もある訳ですから、(それがないと芸術活動が不可能ではないという。)大局の見地から判断することが重要と思います。
男性	40代	周りに駐車場が少なく利便性が悪い。いまや米子市の中心部(人の集まる)場所とはいえない。
男性	60代	費用対効果で考えれば、補強中止が当然。ポートピアの設置反対、公会堂を残すべきだと声高に叫ぶ議員がいるが、まず財政を考え、入るを計って出づるを制する方向で考えて貰いたい。
男性	60代	同じ用途の文化ホール、ビッグシップがあるのに14億円の多額のお金をかけてまで存続する必要はない。市の財政を圧迫するだけで建物自体が古いのでまた何年後には工事が必要になってくると思う。それよりもそんなお金があったら市役所の土地を購入してはどうか？
男性	60代	私は当公会堂完成時の「こけら落とし」に参加し、ステージで演技をした一人です。今、当時を思い出しく思っています。その後、米子市に住みながら約50年間、当公会堂に出入りしたのは数回しかありません。最近ですが、ビッグシップ・コンベンションへは数え切れないほど入っています。近くに駐車場があり、行きやすいからでしょうか。素人の考えですが、思い切って撤去し、芝生だけの公園(避難所)にしてはどうでしょうか。小型の模型を造り片隅に置き、米子市の中心に「何も無い贅沢な空間」があってもいいのではないのでしょうか。
男性	40代	財政にゆとりがあるならば良いのですが、この時代に14億円を投じて行う事業ではないと思います。愛着や情で判断しないようお願いいたします。
男性	60代	公会堂が中心市街地のため駐車場も少なく、建物の老朽化しており、今後、施設の維持費が大変だと思われます。当面は、文化ホールまたは県の施設のビッグシップなどを使用し、米子市の経済が回復した時点で建て替え等検討すべきだと思います。
男性	70代以上	多額の耐震費用を費やした結果、維持管理費が重くのしかかってくることは明白。公会堂建築の歴史、その構造に一市民としては存続に希望を持つが、これらの歴史を一たん絶ち、この名誉ある歴史に終止符を打つべきと思う。
男性	40代	吹奏楽やコンサート鑑賞で公会堂には格別な愛着があります。しかし、老朽化で米子市に財政的ゆとりがあるのならば建て替えを望みたいところですが、市の現状ではそれも酷と考えます。しばらくは駅前の施設での回転で間に合わせた方が得策でしょう。ただ、公会堂規模の席数のある施設もやはり必要と考えます。
男性	70代以上	プロの芸能人が来てやれるような公会堂ではない。また収容出来る人員数(客席)も少ない。
男性	20代	子どもの数が減ってきていて、福祉の面でも住民が心配される事...、古い建物がいつまでも残り、事故でもあったら誰が責任を持つのか。これがほかの物件であれば、とくに壊していただろうと思う。無駄使いを控えて欲しい。市議会議員の削減が一番最初にする事だと思う。もちろん公務員の削減が最優先の件案だと思う。
男性	20代	米子市の施設として重要なものであるかどうかは、一部の利用している人の声は反対だと残すべきだと言われるでしょうが、他に優先すべきことがあると思います。14億円を他のことに使えば公会堂を残すより米子市に大きな力を与えることが出来ると思う。
男性	40代	施設が老築化し存続に必要な以上の金が掛かると想像する。これまでで充分役割を果たした。他に文化ホール、コンベンションセンターなどの施設があるので、譲って公会堂はやめるべきと考えます。
男性	30代	時代とともに消えていくものもあると思います。シンボル、概念だけで、税金等無駄は避けるべきでないでしょうか。それこそ1円募金を再度募って14億円有志で集められるのなら存続を考えても良いでしょう。一部の利用者・関係者のための市税の増税や使用は、あってはならないと考えます。米子市の財政は困難な情勢で、優先すべきを考慮すべきです。
男性	50代	米子市の財政を考えると多額の費用をかけて維持する必要なし。ただし、音響の良い施設も必要であるので、改修でなく新築すべき。
男性	50代	公会堂にこだわる必要ない!!
男性	50代	公会堂を取り壊して近代的な何かを建設すれば、米子の発展につながると思います。
男性	30代	子供の頃利用させてもらいましたが機能等時代遅れに思います。壊して新しい命をふきこむべき。
男性	60代	公会堂に限らず市役所、美術館、ガイナレサッカー場等々...など、中心市街地との表現が本文にもあるが、なぜ中心市街地でなければならぬのか。周辺部に土地がある。ムダな干拓事業、和田までこなかった下水道事業、旧市内だけのバス、西伯郡和田村で覚えた住所、合併後何がどれ程よくなったのか。

男性	70代以上	このまま放置すれば崩壊して危険であるので、解体するに如何なるコストが要るか分かりませんが、出来れば住民の憩いの場として活用したらどうか。又は、野外ステージ的なものとか。
男性	30代	米子の中心の場所なので、一部の人が利用する施設ではなく様々な人が利用できる用途の方がいいと思う。普段は、公園のような形で開放して、休日にはイベントをエルモールの駐車場一帯を開放して行ったり。一部の人が利用するのは、文化ホール等ですればいいと思う。市民全員が集う場所にして欲しい。
男性	40代	土地の有効利用として、スポーツ広場にして欲しい。ランニングコート、バスケットコートなど、気軽に使えて、健康増進のサポートとなる場として提供して欲しい。
男性	30代	金がかかることは必要なし。今は雇用問題を先決すべき。
男性	10代	米子にはコンベンション、文化ホールも有るのにムダである。現在補強にかかる費用、今後維持していく費用が米子市にない。米子市が財政的に余裕の有る都市ですか。家庭で赤字であればムダを省くでしょ。何でも残せばいい訳ではない。米子市の中心の土地をもっと有効活用すべきである。改修しても施設として有効利用されるのか疑問です。
男性	60代	街の中に公園がないので、公園を造る。
男性	40代	文化芸術活動はおろそかにしてはならないと思うが、他の施設をうまく利用して今後活かせば良いと思う。他に優先すべき事業が米子には山積しているように思う。例えば、中学校給食の実施や、鳥大医学部の敷地拡大問題等。
男性	40代	公会堂には小さいころからなじみがあり、愛着があるが、予算も限られる中東山陸上競技場の改修をして、ガイナレが試合できる、陸上大会の応援がしやすくなるなど、他に今必要な事があると思う。
男性	60代	米子コンベンションをもっと身近に感じる様に努力して下さい。
男性	30代	公会堂にお金を使うならもっと使うべき所、たとえば、保育料や福祉、市民税などそちらを少なくして欲しい。そもそも公会堂を生まれてから3回ほどしか使用したことがなく、14億も出してとなると、もったいない。他に使うべき所があるだろうと思います。
男性	30代	公園化して地方から米子中心部に移動しやすくして、中心部の活性化につながると思います。
男性	60代	公会堂を存続する必要なし。
男性	70代以上	将来米子が山陰の中核都市として発展していくには、中海圏域(松江市、安来市、境港市)さらには出雲市を含む出雲圏域の中でどの様に行動すべきかを考えたらどうか。文化施設(いつまでも公会堂ではない)についても連携できるのではないかと。
男性	50代	ホールとしての役割は終わっているような気がします。米子が元気な時代(日本がそうであった)のシンボルなので愛着はありますが、廃止を決断する時期だと思っています。米子の発展(再出発)のために避けて通れない気がします。行政としてリーダーシップ(決意)が必要ではないでしょうか。
男性	70代以上	市財政赤字121,248,104千円(約806千ノ/当年間)現状中、将来人口は大幅減少を超高齢化社会が到来する。H17年度旧淀江町と対等合併したが旧淀江町庁舎(特に役場)を町民へ解放すると15万人、市に公会堂を入れると4館公用施設がある。全国でも例が少ないということ。耐震工事一式13億かけても15~30で廃止することになる。(補強しても外見が悪く、建築価値ゼロ化する。)結論は、廃止したうえで市民参画で跡地活用等時間をかけて検討し結論をだすべきです。
男性	40代	公会堂は確かに米子の歴史を語る上で重要な建物です。しかし、今現在の利用実態から考えると、代用可能な別の施設があるのだから、現敷地は別の有効な利用方法を考えるべき。解体費用もかなりかかるとは思いますが、米子市の将来を進める上では公会堂は必要ない。
男性	50代	今の場所は市民の「公会堂」であって今後もなくなっても「元公会堂」前という形で残るであろうから、現在の場所は動かしがたい所だと思います。何らかの形で市民の役立つものを計画願います。
男性	70代以上	補強、補修工事が14億円はあまりにも高すぎる。見積もりについては信頼のおける建設業者で。
男性	60代	利用が少なく、建物が古く、維持に沢山の費用がかかるので、存続すべきではない。
男性	60代	問6で全項目に をしましたが、まさにその通りであります。仕事をしようと思っても、思うような仕事のない貧乏市です。米子市をこの先どのような市にしようと思っておられるのか全く先が見えません。14億もかけるのなら現在の米子市役所をどこか米子市の土地に建てかえる方に考えを変えて下さい。未だまで借地料を払っていくのですか。回りの皆さんの意見を代表して述べておきます。バカじゃないかと、もっばらの話です。
男性	20代	廃止にした場合の跡地利用に課題がある。中心市街地に長く空地をおいておくべきではない。
男性	60代	花と緑の多い公園にしたら良いと思う。その際、是非ユニバーサルデザインを考慮して頂きたい。予算はかかるかも知れないが米子市は緑と花の公園が少ない。米子駅横のコンクリートづくめの広場なら要らない。
男性	30代	あの一等地をもっと有効に使ってほしい。公園とか。
男性	20代	公会堂を作り直すよりも色々な学校を作った方がなんぼかいいと思います。高校卒業後、同世代の人はみな県外へ行き、このままでは寂しい米子になってしまうと思うからです。町おこしになるものを1つ作っていただきたいと思います。
男性	50代	耐震補強工事を実施して、残したいと思っている現在のデザインが保てるのか疑問に思います。
男性	40代	普段利用しないのに廃止が決まると反対する。それならば通常から公会堂の活性化をきちんと考えて運用すべき。「なくす」から「さわぐ」という意見はどうか。経費の多額さを考えているのか。他にすべきことは何か考えて話し合う事が重要。やめる勇気を。
男性	30代	コンベンションセンターの稼働率を上げた方がよい。あの土地は交通渋滞解消の場所としたい。
男性	60代	残すのであれば、市民の寄付で全額負担すべきである
男性	30代	公会堂の跡地にロボット(二足歩行)の販売や大会を開ける施設を作ったらいいと思う。

男性	50代	公会堂には愛着を持つものですが、そろそろ引退する時期だと思います。中心市街地の賑わいづくりには、公会堂跡地に建つであろう他の施設でも役立つでしょう。歴史的建造物かどうかは設計者の名前で決まるのではなく貴重さ希少さによるもので、世界中の村野建築がすべて当てはまるとは考えていません。市民の愛着といっても、建設当時の募金が建設費の10分の1程度だったことや、減免の数を除いた稼働率ではおそらく不確かなものでしょう。当然ながら、稼働率より収入率が問題になります。総じて、できればあったほうが良いという結論になりがちですが、15万人の市に必要なホール規模は、もう少し考えてほしいと思っています。もちろん、決意があれば世界一のホールにしてもいいですが、公会堂に限らず、美術館や図書館も同じことです。米子や周辺の文化は、どちらかというとホールに頼らない方々の方が頑張っておられます。市議会議員や市の方々が、もし、本当に文化を築く決意があるなら、もっと深く文化について討論し、方策を立てられることをお勧めします。施設だけでは文化はうまれません。可児市のことをテレビで知りましたが、ご参考まで。公会堂は本当に長い間ご苦勞様でした。新しいシンボルが10年20年の熟考の末に生まれることを期待しております。
男性	40代	山陰では鉄道、飛行機のアクセスが一番いいのにコンサートなどは特に少ない。キャパがなく、音も悪い。二階席などは最悪です。がいな祭り以外使われているイメージがない。小さいホールは、もういらない。思いっきりデカイの建てて人を集めて金をガッポリかせごうよ!!
男性	60代	跡地利用について考え、米子市中心市街地の活性化について連なるように。
男性	50代	旧淀江町の施設を利用したほうがよい。
男性	40代	今まで芸術文化、社会教育的に大きな役割を果たされてきたことは、伝えられたことで知りましたが、費用効果面から考えても、新しく歴史をスタートすべきと考えます。
男性	20代	小学校時代でも利用したこともあり、思い出の多い公会堂だが、補強工事のことを考えると、現実的に存続は難しいのではと、と思う。愛着のある公会堂なので残念なことではあるが、仕方のないことだと思う。
男性	40代	私が利用し、子供が利用し、愛着はありますが、多額の費用をかりてまで工事をし、どれだけ利用回数があるか。中高生の吹奏楽ぐらいしか利用されず、ビッグシップコンベンションを利用がいいかと思う。(安くね!)
男性	40代	利用実態が甚だ疑問。政治家の決起集会程度・・・というのが率直な感想。ビッグシップや文化ホールといった代替施設があり、むしろそちらの利用頻度が高いのでは?プライオリティが低い事業に固執するのは、既得権益者のみ。
男性	30代	米子市役所の土地は現在、借地料を支払い使用していると聞きました。そうであれば公会堂の跡地に市役所を移転してはいかがでしょうか。
男性	70代以上	米子市にあまりお金を使ってほしくない。まだ沢山に困ってる人を助ける方をお願い。市の方、県の方は、余りお金をもらいすぎもっと少なくすることで払え
男性	30代	14億円をかけて工事をする必要はないのではないのでしょうか。
男性	60代	複合ビルを建築をし、その中にポートレース、ポートピア米子を作る。場外発売を作る希望する。
男性	60代	憩いの場として公園などがいいと思います。
男性	50代	公会堂はすでに役割を終えていると思う。公会堂は交通の便も悪く、駐車場もないので今後も役割を果たせるとは思えない。文化ホールがあるので公会堂は必要ないと思う。
女性	50代	私のような年になると、懐かしく公会堂の存続は?といわれると残った方がよいと思っていました。(か×だけで考えると)しかし、設備改修費14億円などいろいろな面から考えると、そこまで修理費をかけてまで存在すべきなのか?改修してもそのままの形はのこのるのか?公会堂の音響の良さを言われるが文化ホールとコンベンションでさらに設備投資でさらに音響をよくすることはできないのか?公会堂のあとを図書館とか、美術館に移転し、作品や本でいっぱいにするオアシス的な建物にはならないのだろうか?このアンケートをいただいてから、私なりにとても考えました。人が集まる米子にするにはどうすればいいのか?なかなかむずかしく大変ですが、がんばってください。
男性	50代	まず第一にこの建物に歴史的文化的価値はほとんど感じません。建物は構造体だけでなく、設備的な老築化も著しく、使い勝手も相当悪いはずである。このような問題は修理を行っても完全に解消できるはずもない。よって多額の費用を投じて修理して使いつづけるなら新築にした方がしいては安上がりだと思う。

存続について「わからない」と回答された意見

性別	年齢	記述内容
性別不詳	年齢不詳	市民で独立して維持していく気概があるかで決まる。おんぶに抱っこでは地方は地方(認知)症になると思う。地方の自立が本質の問題である。
女性	70代以上	住民投票で決めたら良いと思うが、存続した場合と、壊す場合との金額を明記してランニングコストを含め市民に公開してからが条件ですが。
女性	50代	現在の場所周辺で活性化ができればと思うが、多目的ホールは他にもあるので、公会堂としての維持は難しいと思う。
女性	40代	子供の頃から音楽教室の発表会や夏休み子ども大会などのイベント、演劇や音楽など晴れの舞台のイメージであり、あるのが当たり前の公会堂でした。存続してほしいのは山々ですが、しかし米子市の財政からしてもその余裕もないでしょうし、市民募金を呼びかけても「思い出」を維持するためにどれだけ集まるか、今の時代では難しいと思います。現実、ホールとしての役割は文化ホール、コンベンションがあります。形を変えて中心市街地での芝生広場に一部屋根のある屋外ステージを作り公会堂の名残(記念碑)として噴水を残して、市民のイベントスペースにしてはどうでしょうか。
女性	60代	本当は残してほしいと思いますが、米子市の財政を考えるとこれ以上の市民の税金等の負担になると思い、迷いがあるのが事実です。
女性	40代	幼老複合施設など子どもとお年寄りのための施設を作ってください。
女性	50代	財政難の米子市がすべての事業をやり続ける事には無理が有ると思います。何を選択して何を中止するかは市長の考え方で大きく変わると思います。はっきりした方針を出して、市政を進めて下さい。
女性	30代	数年前に米子にきましたが、公会堂で催しが行われていることすら記憶にありません。しかし、米子の人にとって思い出深い場所なら、耐震補強などして新たに利用できるようすれば、昔から住んでいる人、新しく来た人どちらにも良い事だと思います。
女性	40代	私自身が公会堂を使って発表した事はありませんが、子供が小・中学校の音楽発表をしました。残して欲しいと思う反面、市の財政を圧迫すると聞いて、複雑な思いをしています。
女性	20代	中学高校と、私は吹奏楽部だったので公会堂は何度も利用させてもらい、たくさんの思い出が詰まっている場所なので、現在閉鎖していると知って、とてもおどろきましたし、残念に思いましたが、現実問題、他に優先すべき事業は沢山あると思いますし、改修費の14億円は、米子市にとって、ものすごく大きい金額だと思います。存続してほしい思いはありますが…本当に難しいところです。
女性	30代	文化ホールがなかった頃は、コンサート・発表の場として公会堂が利用されており、大変愛着があり、できれば残してほしいと思いますが、改修に14億円かかるということなので、今の米子市の財政状況を考えると厳しいのかな…と、思い、大変複雑だし、答えが出せませんでした。
女性	60代	建築されてから50年もたっており、耐震補強工事や設備改修費を含めると多額の費用がかかり、新築するほどかかるのではないのでしょうか。
女性	40代	米子在住期間が短く、公会堂の利用もなく、ニュースで存廃問題を知りましたが、存続するに関して、維持費用等よくご検討され、市民にとっての位置付けが必要であるかいなかを判断してほしいものです。
女性	30代	基準に満たない(耐震)建物を利用するのに不安を感じます。
女性	70代以上	補強補修工事に多額の費用がかかるでしょうね。
女性	30代	引っ越してきて8年目ですが、一度も利用したこともありませんので良く分かりません。
女性	30代	昔から公会堂は「外に音もれる」「音響が悪い」等々言われていたが、実際はどうなのでしょうか?もし建物を残し補強の工事をするなら音響効果の見直しもすべきでは?(外側のみ残すことに意味はあるのか?)
女性	60代	その当時としては画期的な工事でした。今の時代に合わなければ、いつまでもひきづらない方が良いと思いますが、よくわかりません。
女性	50代	公会堂の外観は素晴らしいと思いますが、耐震補強してまでも残すべきかは、判断に迷います。利用度を考えたら新築までする意見には反対です。
女性	50代	最近米子へ引越して来たばかりなので、この問題についてよく理解しておらず、申し訳ありません。
女性	60代	本当に倒壊するのですか。私にはそうは思われません。他に優先すべき事業をやってもらいたい。
女性	70代以上	昔の思い出の場所ですので生きていく限り消えないでほしいと思う気もします。時々米子に出てきて通る時まだあるんだ一懐かしく思います。
女性	70代以上	存続して欲しいと思いますが、多額の費用の事を思うと無理も言えません。
女性	30代	子どもが通っている幼稚園で、毎年公会堂を利用していますが、公会堂がなくなった場合どうされるのかと思います。実際公会堂を利用している団体等にどれくらい困るか、どうして欲しいか、その意見を尊重してあげたらどうでしょうか。
女性	40代	米子に在住して10年余りです。市民として愛着はないものの、公演等で出向くことはあり、存続の意見にも納得はします。しかし、実演事業以外に日常的に足を向けることはありません。補強にせよ、新築にせよ、ハード(建物)ではなく、ソフト(イベント・サービス・情報提供の場)が充実しなければ、「米子の顔」にはなりえないでしょう。このままであれば、中心地活性化のためには大駐車場を兼ねた複合施設を新設する方がよいのかもかもしれません。
女性	30代	もともと島根に住んでいたため、公会堂の思い出などが全くありません。知人に聞けば、思い出のあるという方も多いので、よく検討して決めて頂けたらと思います。
女性	50代	公会堂にはとても愛着はあります。もし残すとしても今のままではなく内部をもっと充実させないと現状ではアーティストも呼べるのでしょうか?外見はそのまま内部をもっと費用をかけてバージョンアップできれば残して欲しいです。(今のままではだめ)

女性	30代	米子市の地域活性化に役立つのであれば、残していきたいです。
女性	30代	50年間も米子市のシンボルとして役割を果たしてきたと思いますが、今現在、耐震問題で存続の危機にあります。米子市の財政を考えると14億という大金での補修は難しいと思います。解体にも莫大な費用が発生すると思いますが、解体しておいた方が震災時に安全ではないでしょうか。
女性	50代	財源がないのなら、多額の費用をかけてまでこだわる必要はないと思います。他に重要な、優先する事業がいくらでもあると思うのですが...
女性	50代	最終的にはお金！！でしょう。ですが、存続！新築！あの場所に何もなくなると中心地がさびしいです。
女性	20代	公会堂がみんなの協力で存続できればうれしいと思います。中学のとき米子市の合唱コンクールなどで利用したことなど思い出されます。
女性	40代	歴史的に見ても価値のある建築物だと思うし、米子の文化的にも公会堂の存在は大きかったと思います。でも、現在、コンベンション、文化ホールがある中で現状の公会堂の役割がどの程度なのかは正直わかりません。建築物として残ってほしいとは思いますが、文化ホールでまかなえるのなら公会堂の今後の利用価値としてはどうか？という気がします。
女性	20代	小学生の頃使わせてもらった事もあるので、全く愛着がないというわけではありません。しかし、古くなって廃れているように見えるので、耐震補強をして色も塗り替えた方がいいと思います。ピアノの形ということなので、いっそピアノらしい色にしたら、米子のシンボリックな建造物になるのではないのでしょうか。
女性	70代以上	補強工事も新築も多額の費用がかかるので、どのようにすればよいか返答に困る。建物があつた方にこしたことはないが。
女性	30代	中学高校と吹奏楽の演奏会などで利用し、思い出深い建物です。なくすのはさみしいと思いますが、多額の費用がかかるのであれば仕方ないことなのかと思います。でも、私の時にも学生がいっぱいいてにぎわっていたので...。存続すべきかどうかはわかりません。
女性	30代	約11年ぶりに米子に帰って来て公会堂を見て、なつかしく思いました。幼少から学生時代の思い出が詰まっています。ただ、時代は移り変わるのも仕方ないことかとも思います。いづれにしても市民の意見を熟慮し、決定していただけたら、と思います。もしも存続されないのであれば、跡地を有効的に活用してほしいと思います。
女性	30代	米子市に住んで10年以上ですが地元の間ではありませんので、正直あまりよくわかりません。ですが、とても素晴らしい建物だと人に聞きます。残したほうがよい気もしますし、費用や維持費に14億もかかるとなれば子供を育てる親としては、ただでさえ色々なところにきびしい米子市ですので考えてしまうところでもあります。もっと子育て世代によい米子市であってほしいです。
女性	30代	米子に住んで4年くらいなので、公会堂について特に何も思いません。ずっと住んでいる人の意見を参考にされたほうが良いと思います。
女性	20代	公会堂が存続してほしいと思うけど、補強や今後の補修工事費はとても多額なので、今後、何年もかけて税金を使って直していくことにすぐに返事は出来ません。一部を歴史的無形文化財のように残しておくのはどうでしょうか。
男性	40代	鳥根県民会館や鳥取の会場にしか大物アーティストのコンサートが来ないのは残念です。多額な改修費を掛けての改修、更に多額な費用を掛けての新築...。どの選択肢が良いのかは私にはわかりません。
男性	60代	公会堂の敷地が市有地であるなら、いずれ近い将来に老朽化に伴い取壊すことになると思う。敷地は売却し、コンベンションや文化ホールをより利用しやすい方法に充てるべきと思う。(駐車場の整備等)
男性	70代以上	子供の吹奏楽を楽しみに聞かされていた頃音響がとても良かった当時がなつかしく思い出となっていますが、存続についてはむずかしいのでは、とても複雑です。
男性	70代以上	現在の場所で耐震補強し高令者等のグループホームなどに当てる。改造を含めて。
男性	50代	転勤で米子に来た人間ですので公会堂の歴史や思いが伝わらなく「わからない」項目が多いのですが、公会堂が建築学や伝統などの分野で重要であれば14億かかるうとも利用できるようにすべきと考えます。
男性	60代	駐車場のスペースが少ない為あまり利用出来るとは思えない。
男性	40代	4月から米子に来たので公会堂の価値はわかりませんが、あの場所と設備は補強するにせよ新築するにせよ、放置しておくには勿体ないと思います。しかし結論を急ぐことがないよう最善の策をとって頂きたいです。
男性	50代	補強、補修工事に多額の費用が必要ならば廃止にいたし方ないと思いますが、跡地については、市民が集える場所、色々な表現が出来る緑の多い公園にしてほしいと思っています。もともと高校生など若い人が多く集っていたところですので、是非賑やかな米子の中心地にしていきたい。
男性	60代	駐車場が狭く利便性がない。市公会堂ならもっと市民が使いやすい大きな駐車場が必要。
男性	70代以上	補強をしないで新しく建てたほうが良いと思う。
男性	60代	耐震補強をして残すのは基本的に全体が老朽化に進行中との事なので先々不安が残ります、かと言って、このままでは、衛生、防災、安全、維持、管理等が気になります。建て替えにしろ、解体にしろお金が必要です。不況の中、民は困窮しています。市の財政は順調ですか？市民も苦戦ならどうしましょうか？「ハコモノは縮小しましょう。ムダを省きましょう」の声がありますが、必要なのか、そうではないのかは判断が難しいです。今後、人間と働く場所が増え、衣食住が足り、健康、金、生き甲斐を満たす活気がある環境なら「ホールを」となりますが、現状では先がわかりません。よって、ここは、ひとまず、いったん更地にし、そこから多角的視野で再度の議論をされたらと思います。
男性	60代	公会堂を存続するのであれば、現在の駐車場、公園等が小さいので、それを考慮して建設をお願いしたい。
男性	60代	今後、公会堂を補強し使用する場合には、駐車場(無料)を考える必要があると思われる。
男性	30代	新築なり補強してホールが賑わうかが疑問です。歴史的建造物は知っているが、元々米子市民でないの、その想いの深さや、貴重な建物だという意識はそれほど強くないかも知れません。

男性	30代	米子市公会堂単体でどうこうではなく、公会堂も含めたまちづくりができないのか。あるいは、公会堂周辺地域をこう変えていくから、公会堂ではないものにするとか、米子の未来図を検討したうえで判断してもいいのではないかと、米子市にはそんなリーダーシップを期待しています。
男性	70代以上	存廃を素早く決めるべし。
男性	50代	結論ありきではなく、解体する場合はその後の利用方法を、存続する場合は利用状況予測と収支を提示して議論すべきである。
男性	60代	米子市中心部が商店街のように今でも衰退している感があるのに廃止をしたらいいと思いますが、何か中心部とし、再生出来るようにしてもらえたらと思います。
男性	40代	歴史的建造物であることは認めますが、税金を投入しての補修、維持は疑問に思います。若い人や老人の住みやすい米子市になる法が良いと思います。
男性	60代	以前は文化施設として市の中心街にあり相当の役割を果たしてきたものと思いますが、現在は他に文化施設もあり近年までどの程度利用されてきたのかわからないので存続の是非へのコメントはできません。
男性	40代	必要であれば現在のデザインを(設計そのまま)そのままに建て直した方が良いと思う。公園にすると近隣が歓楽街であることから汚くなりそうでやめた方がいと思う。
男性	30代	存廃問題については、知っているが何も興味もないので、特に意見はありません。しいて言うなら税金を大切に使うほしい事です。公会堂を利用する一部の人のために、税金を使うべきかどうか問題だと思います。
女性	70代以上	現在の場所では車の駐車場もない。狭い米子市でコンベンション、文化ホールとそれ以上に必要ですか。私達は1年に1回程度しか出向く事はありません。
女性	70代以上	昔は時々行っていましたが年齢を重ねるにつれ行かなくなりました。
女性	40代	公会堂は建築物としての価値があり、米子のシンボリックな物なので、現在の形のままなんとか残していただくようお願い致します。
男性	60代	以前から、今日の車社会の中で、駐車場が大変狭く、施設として利用し辛くなってきた。近年は主として音楽関係者だけの利用に終わっているのではないかと。永年、公会堂としての機能を果たし、ここらあたりで終了させてもよいと思う。ノスタルジーは要らない。立地条件の良い場所であるから、将来的にはもっと幅広いジャンルに於いてスムーズに利用でき、真の米子の活性化に寄与する何らかの施設等を検討、設置して欲しい。